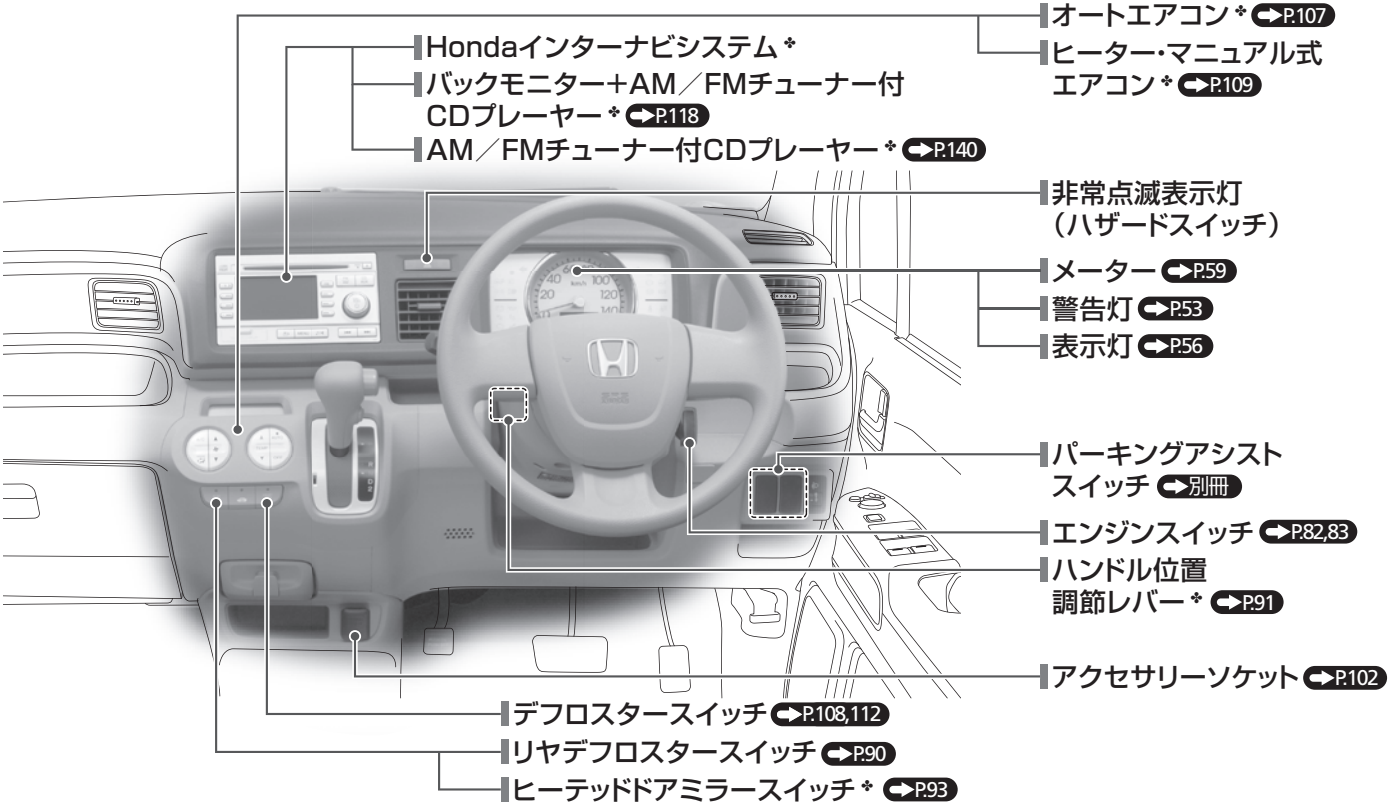
HONDA

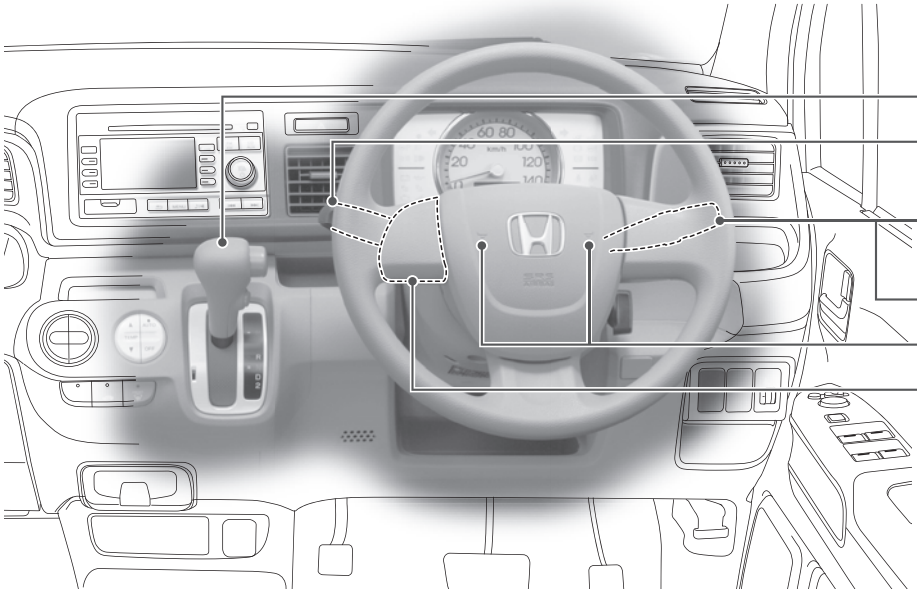
Life

オーナーズマニュアル

クイックガイド
安全なドライブ
計器の見かた
各部の操作
オーディオ
運転
メンテナンス
万一の場合には
資料
索引

ビジュアル目次


オートエアコン＊ P.107
ヒーター・マニュアル式
エアコン＊ P.109
Hondaインターナビシステム＊
バックモニター+AM／FMチューナー付
CDプレーヤー＊ P.118
AM／FMチューナー付CDプレーヤー＊ P.140
非常点滅表示灯
（ハザードスイッチ）
メーター P.59
警告灯 P.53
表示灯 P.56
パーキングアシスト
スイッチ 別冊
エンジンスイッチ P.82,83
ハンドル位置
調節レバー＊ P.91
アクセサリーソケット P.102
デフロスタースイッチ P.108,112
リヤデフロスタースイッチ P.90
ヒーテッドドアミラースイッチ＊ P.93



セレクトレバー P.161

ワイパー／ウォッシャー
スイッチ P.87

ライト／方向指示器（ウィンカー）
スイッチ P.85,86

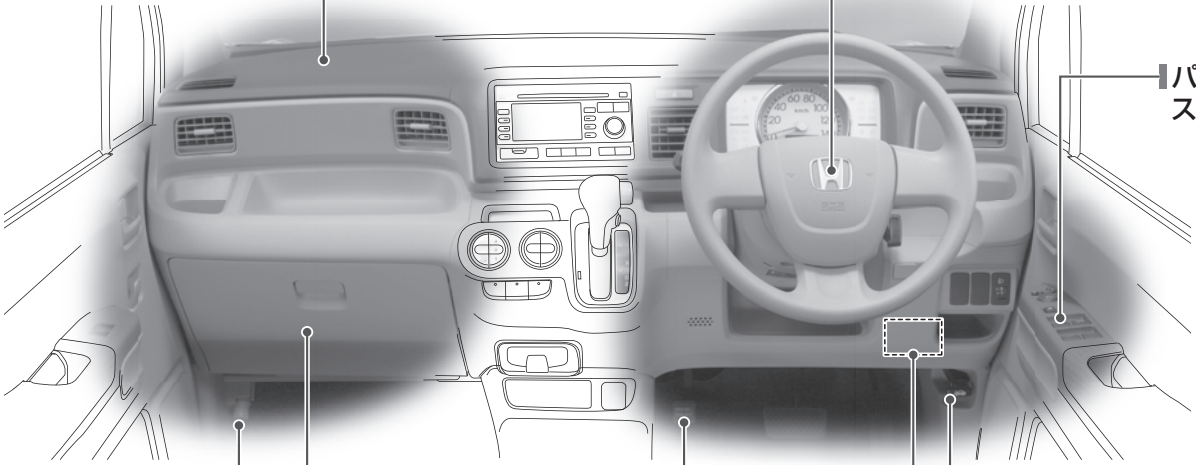
フォグライトスイッチ ✤ P.86

ホーンスイッチ

オーディオリモートコントロール
スイッチ ✤ P.149

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

ビジュアル目次



SRSエアバッグシステム（助手席用）P.27

SRSエアバッグシステム（運転席用）P.27

パワーウィンドースイッチ P.80

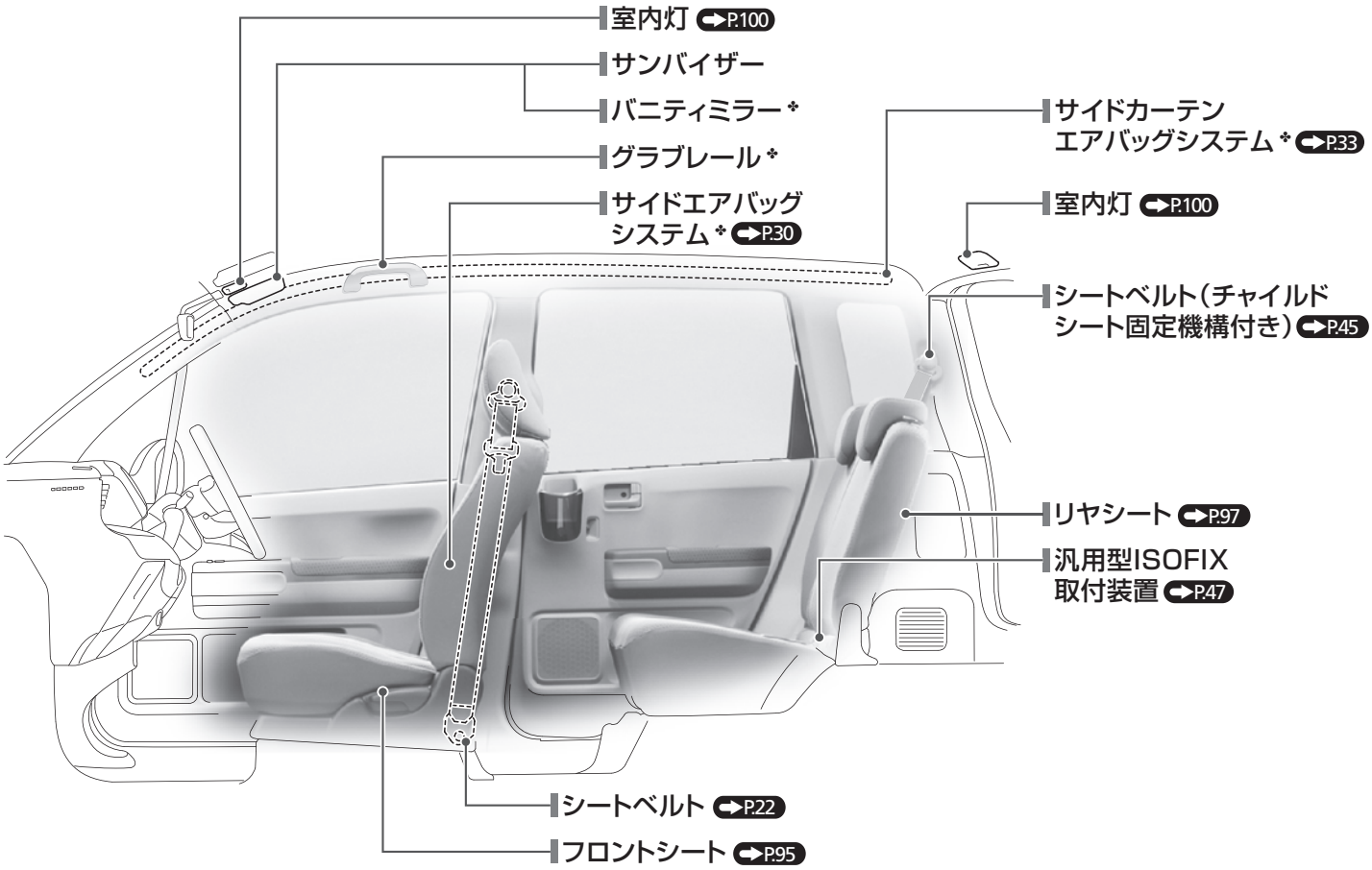
ボンネット解除ノブ P.181

運転席側ヒューズボックス P.228

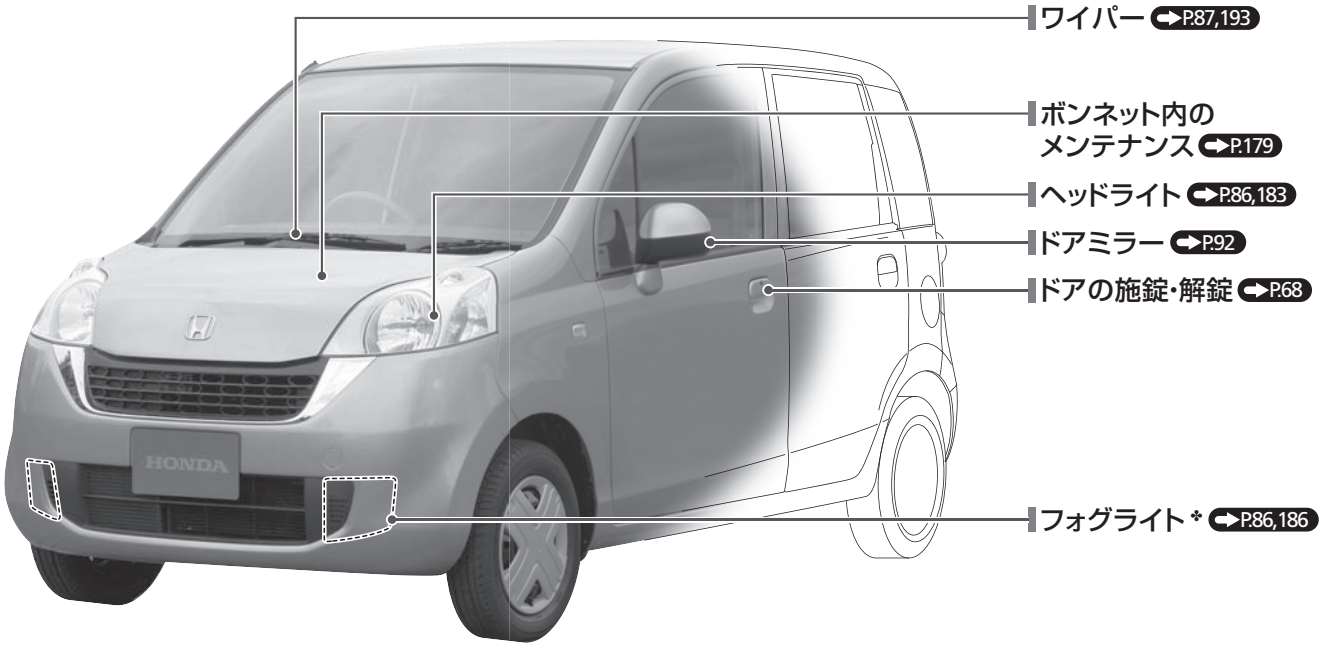
パーキングブレーキ P.164

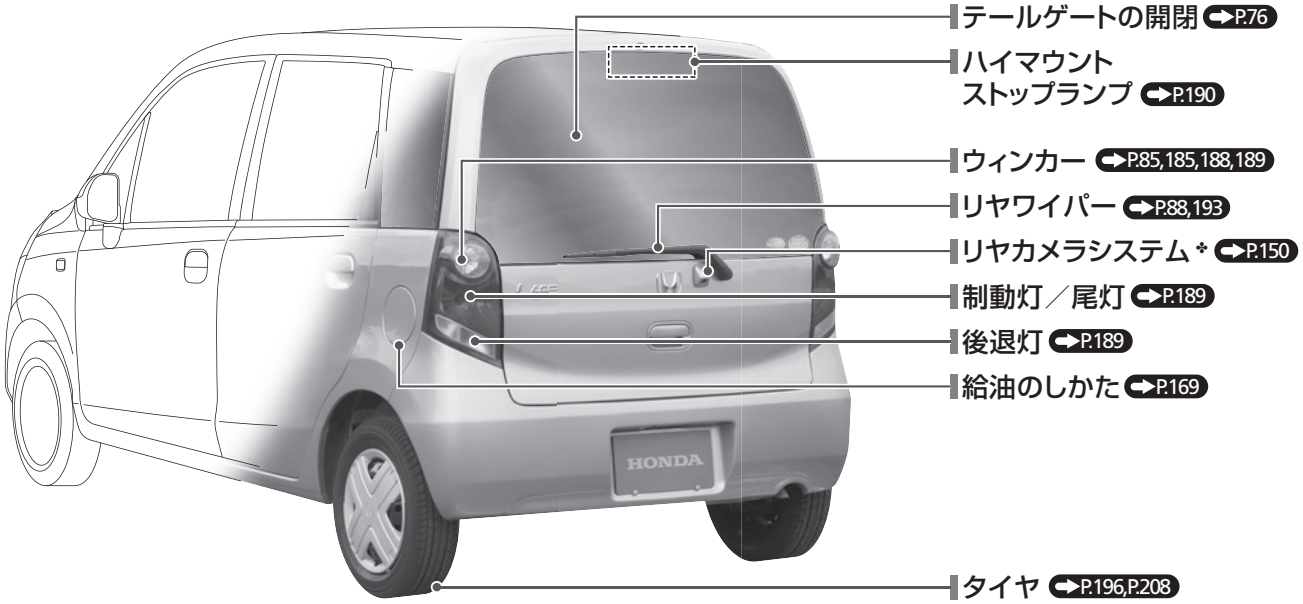
グローブボックス P.101

発炎筒 P.207

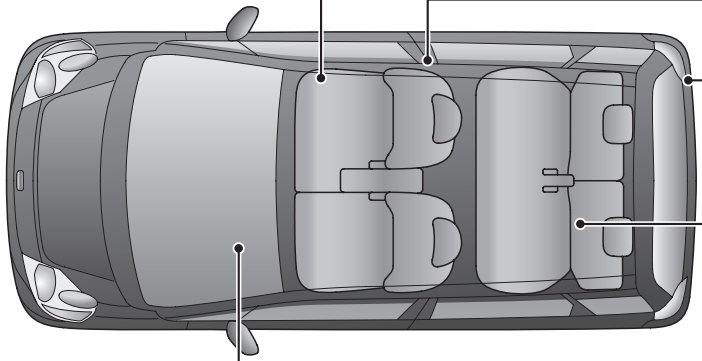

室内灯 P.100
サンバイザー
バニティミラー*
グラブレール*
サイドエアバッグシステム* P.30
サイドカーテンエアバッグシステム* P.33
室内灯 P.100
シートベルト（チャイルドシート固定機構付き） P.45
リヤシート P.97
汎用型ISOFIX取付装置 P.47
シートベルト P.22
フロントシート P.95

ビジュアル目次


ワイパー P.87,193
ボンネット内の
メンテナンス P.179
ヘッドライト P.86,183
ドアミラー P.92
ドアの施錠・解錠 P.68
フォグライト* P.86,186
HONDA


テールゲートの開閉 P.76
ハイマウント
ストップランプ P.190
ウィンカー P.85,185,188,189
リヤワイパー P.88,193
リヤカメラシステム* P.150
制動灯／尾灯 P.189
後退灯 P.189
給油のしかた P.169
タイヤ P.196,P.208
HONDA

安全なドライブ P.20



運転を始める前の確認 P.21

●運転前にフロントシートの位置、ヘッドレスト、ハンドルの位置*、バックミラーの角度を調節します。



●正しい姿勢でシートベルトを着用してください。
●同乗者にも必ずシートベルトを着用させます。
●妊娠中のかたは腹部を圧迫しないようにシートベルトを着用してください。

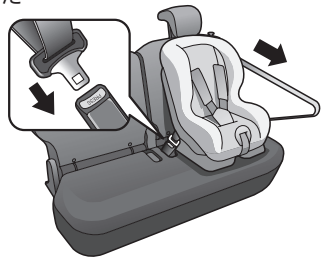
シートベルト P.22

排気ガスについて P.51

●車の排気ガスには有害な一酸化炭素が含まれているため、ガレージなどの密閉された場所ではエンジンをかけないでください。

お子さまの安全 P.38

●シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、チャイルドシートをお使いください。お子さまの安全のために、チャイルドシートはリヤシートに取り付けてください。
●正しいチャイルドシートを使用してください。



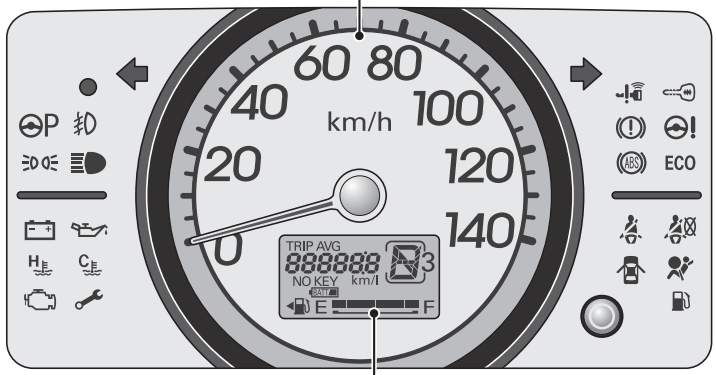
エアバッグ P.27

●万一の衝突の際に、乗員への衝撃を緩和するために、エアバッグが装備されています。

計器の見かた P.52

警告灯 P.53
表示灯 P.56
メーター P.59

スピードメーター



燃料計

警告灯 / 表示灯

- 方向指示器表示灯
- Honda スマート パーキングアシスト システム警告灯 / 表示灯
- 充電警告灯
- 高水温警告灯
- PGM-FI 警告灯
- 油圧警告灯
- 低水温表示灯
- エンジンオイル メンテナンス表示灯
- セキュリティ アラームシステム 作動表示灯
- トランスミッション 警告表示 （セレクト ポジション表示）

ライト表示灯

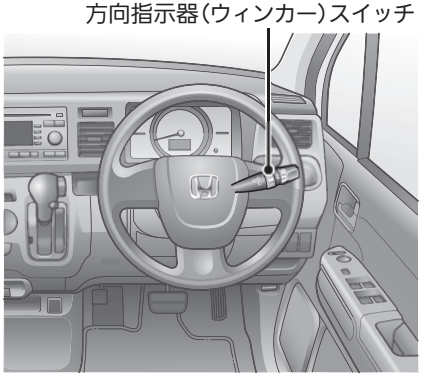
- ライト点灯表示灯
- ハイビーム表示灯
- フォグライト 点灯表示灯

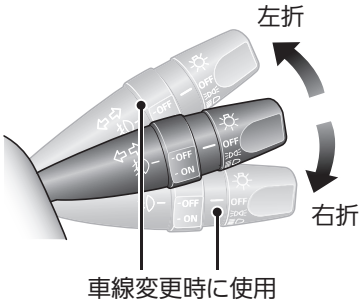
警告灯 / 表示灯

- Honda スマートキー システム警告灯
- ブレーキ警告灯
- ABS 警告灯
- シートベルト 非着用警告灯
- ドア／テールゲート 開閉警告灯
- イモビライザー システム表示灯
- EPS 警告灯
- ECO（エコ）表示灯
- サイドエアバッグ 自動停止表示灯
- エアバッグシステム 警告灯
- 燃料残量警告灯

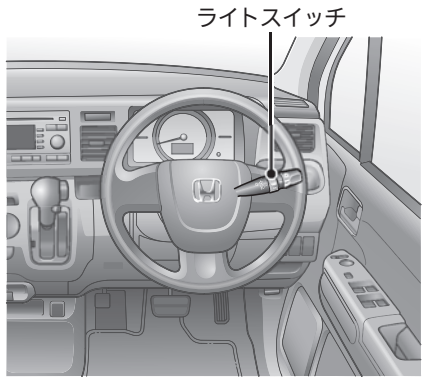
各部の操作 P.64

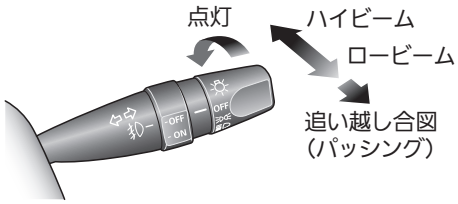
ウィンカー P.85



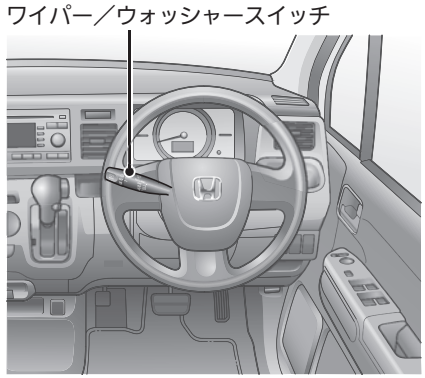


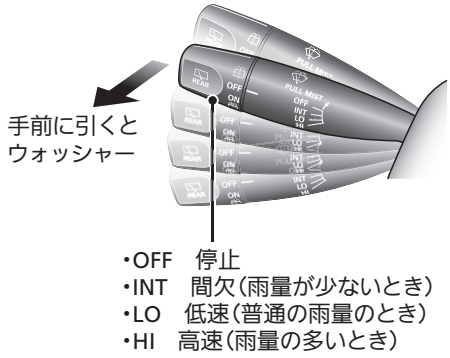
ライト P.86





ワイパー P.87

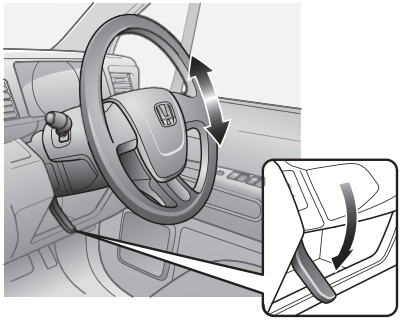




ハンドル位置の調節 *

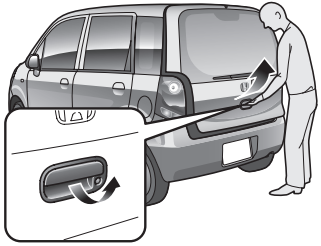
P.91

●ハンドル位置調節レバーを押し下げ、ハンドルの位置を調節します。



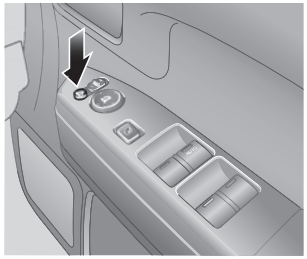
テールゲート P.76

●テールゲートは、テールゲートハンドルを引いて開きます。

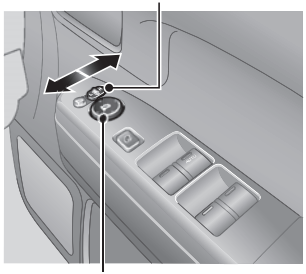


ドアミラー P.92

●エンジンスイッチがIIのとき、左右のドアミラーを格納することができます。*

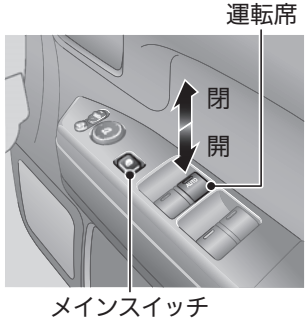


●エンジンスイッチがIIのとき、ドアミラーの角度を調節できます。*



パワーウィンドー P.80

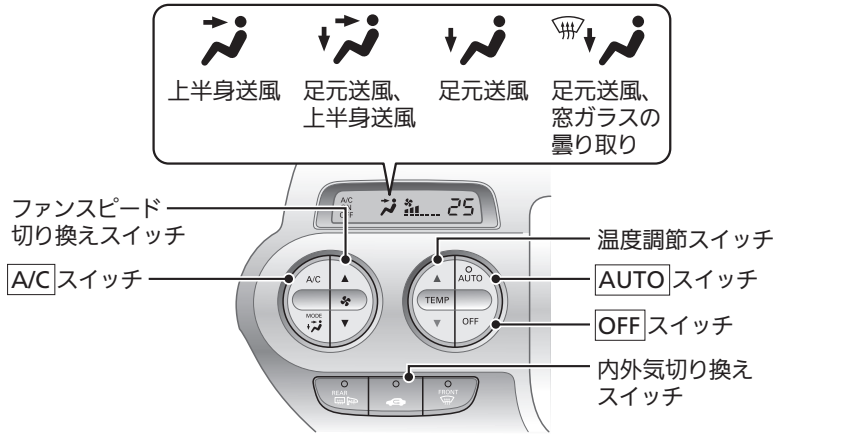
●エンジンスイッチがIIのとき、ウィンドーの開閉ができます。
●メインスイッチを ON にすると、全てのウィンドーの開閉が行えます。
●メインスイッチを OFF にすると、運転席以外のウィンドーは動かなくなります。



エアコン P.105

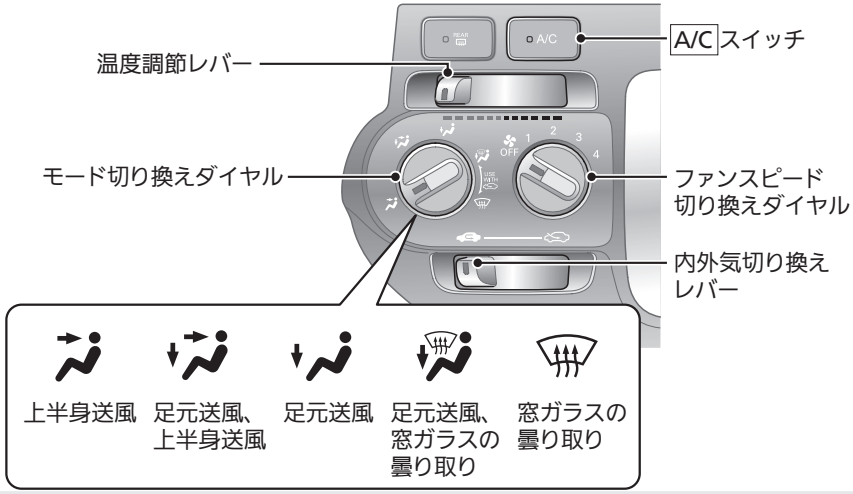
オートエアコン装備車 ❖

- AUTO を押すと、オートエアコンが作動します。
- OFF を押すと、止まります。
- 前面ガラスの曇りを取るには、FRONT を押します。



ヒーター・マニュアル式エアコン装備車 ❖

- ファンスピード切り換えダイヤルで風量を調節します。
- モード切り換えダイヤルで吹き出し口を選びます。
- 温度調節レバーで吹き出し風の温度を調節します。
- ファンスピード切り換えダイヤルを OFF にすると、止まります。
- 前面ガラスの曇りを取るには、モード切り換えダイヤルを にします。



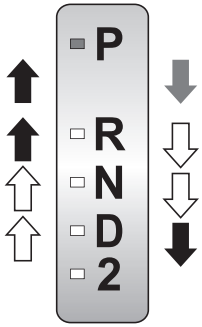
運転 P.154

オートマチック車 P.160

●セレクトレバーを P に入れ、ブレーキを踏みながらエンジンを始動します。

セレクトレバー

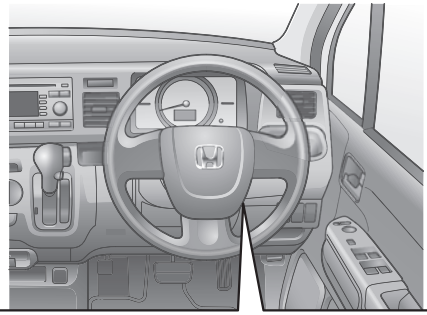
セレクトレバーの操作



ブレーキペダルを右足で踏み、ボタンを押して操作

ボタンを押して操作

ボタンを押さずそのまま操作



エンジンスイッチ





Honda
スマートキーシステム
装備車



P パーキング
駐車またはエンジンの始動

R リバース
車を後退

N ニュートラル
アイドリング状態

D ドライブ
通常走行

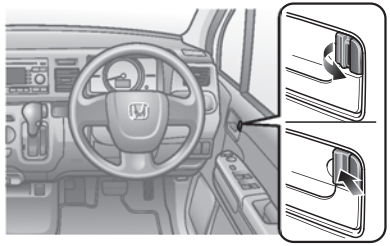
2 セカンド
2速固定

D_3 D3
D のときにD3スイッチを押す
（1速から3速まで自動変速）

ガソリンを入れる P.169

指定燃料 ：無鉛レギュラーガソリン
タンク容量：
2WD車 30リットル
4WD車 31リットル

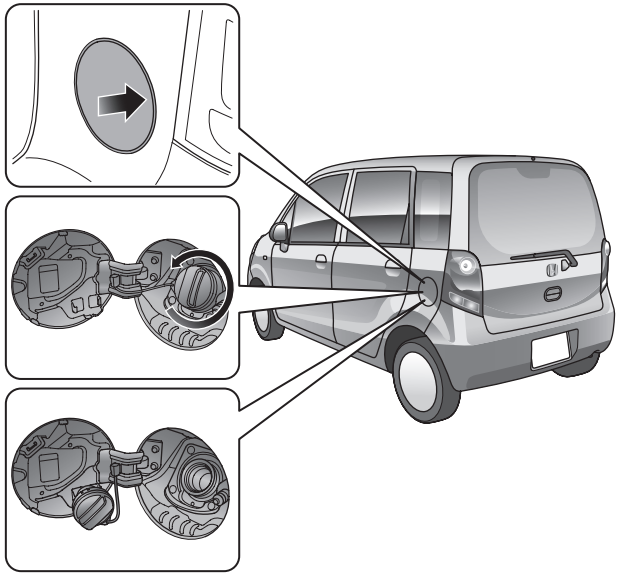
1 運転席のノブで解錠する。



2 フューエルリッドの右端を突き当たるまで押して離し、リッドを浮かせる。

3 ツマミをゆっくり回してキャップを開ける。

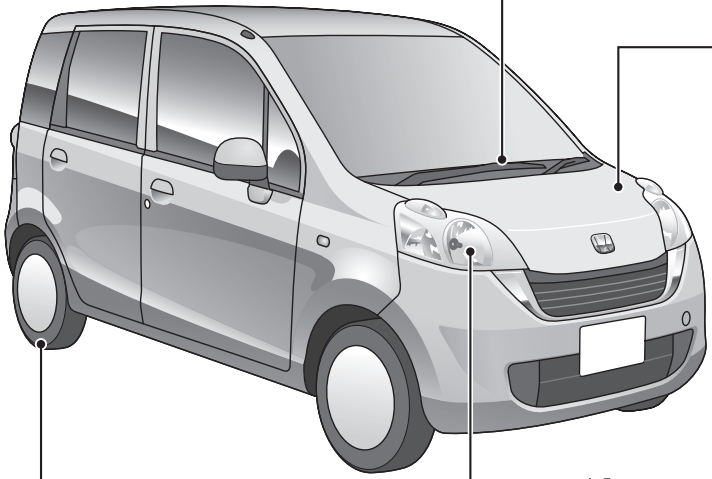
4 キャップをホルダーにかける。



メンテナンス P.176

ワイパーブレード P.193

●拭きムラがある場合は、ワイパーブレードラバーを交換します。

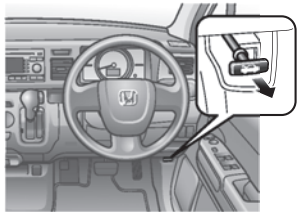


ボンネット P.181

●冷却水、ウォッシャー液の補給を行います。

●バッテリーを点検します。

1 運転席足元のボンネット解除ノブを引く。



2 レバーを上げボンネットを開ける。



ライト P.183

●ヘッドライト、フォグライト電球*、テールライト電球などの点検または交換を行います。

●電球の交換については、「メンテナンス」を参照してください。

●ヒューズの交換については、「万一の場合には」を参照してください。

タイヤ P.196

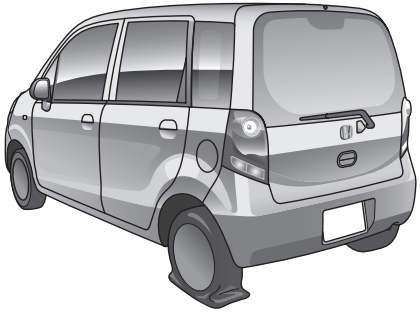
●タイヤ、ホイールを点検します。

●降雪地域では、スノータイヤ、タイヤチェーンが必要です。

万一の場合には P.206

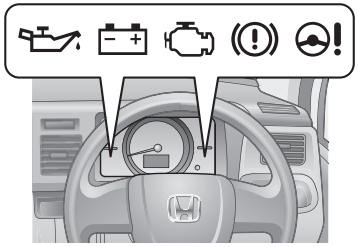
パンクした P.208

●安全な場所に停車し、パンク修理キットで応急修理します。



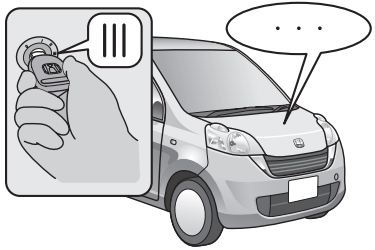
警告灯が点灯した P.224

●詳細を確認し、取扱説明書にしたがってください。



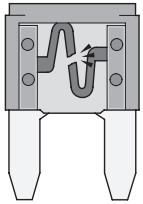
エンジンが始動しない P.218

●バッテリーあがりが考えられます。救援車のバッテリーを利用してエンジンを始動します。



ヒューズが切れた P.227

●運転席の足元とボンネット内にヒューズボックスがあります。切れているヒューズを取り換えます。



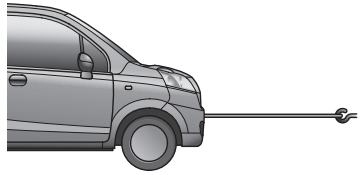
オーバーヒートした P.223

●安全な場所に停車し、蒸気が出ていなければボンネットを開けてください。



けん引してもらいたい P.230

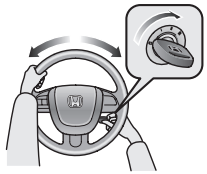
●必ず専門業者に依頼してください。やむをえず4輪を接地したままけん引される場合は、取扱説明書にしたがってください。



こんなときは

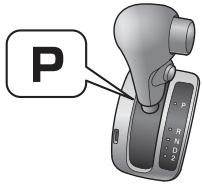
Q キーが 0 から I に回らない

A
- ハンドルがロックされていませんか?
- ハンドルを左右に回しながら、キーを回してください。Honda スマートキー * を使用しているときは、エンジンスイッチノブを回してください。



Q キーが I から 0 に回らない (キーが抜けない)

A
- セレクトレバーが P 以外の位置になっていませんか?

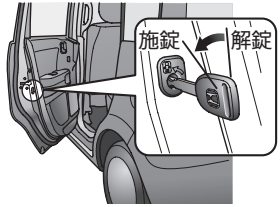


Q ブレーキペダルを踏んだらガタガタと振動した

A
- ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが小刻みに動くことがあります。
これは ABS * が作動しているときの現象で異常ではありません。そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。

Q 後席ドアが車内から開けられない

A
- チャイルドプルーフが施錠の位置になっていませんか?
後席ドアを外から開け、チャイルドプルーフのシリンダーにキーを差し込み、解錠の位置にしてください。



Q キーレスエントリーでドアを解錠したはずなのに施錠されている

A
- キーレスエントリー、Honda スマートキー * で解錠してから、約 30 秒以内にドア、テールゲートを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。



Q 運転席ドアを開けるとブザーが鳴る

A
- 「ピピピピ」と鳴るときはキーをエンジンスイッチに差し込んでいませんか？ Honda スマートキー * を使用しているときは、エンジンスイッチノブを 0（プッシュオフ）以外にしていませんか？
- 「ピー」と鳴るときはライトを消し忘れていませんか？



Q 走行するとブザーが鳴る

A
- 運転席シートベルトを着用していますか？
- パーキングブレーキを完全に戻していますか？

Q レギュラーガソリン仕様車にプレミアム（ハイオク）ガソリンを使用しても大丈夫ですか？

A
- プレミアムガソリンをお使いになることもできますが、この場合、本来のエンジン性能が大きく変わることはありません。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠危険	指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至るもの
⚠警告	指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
⚠注意	指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

アドバイス
お車のために守っていただきたいことや、安全のために守っていただきたいこと。
（車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、安全のためのアドバイス、異常事態の処置方法を記載しています）

知識
知っておいていただきたいこと、知っておくと便利なこと。

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

サービス診断記録装置について

この車には、システムを制御するためのコンピューターが搭載されており、次の内容をデータとして記録します。

- エアバッグシステムの故障診断情報
- エアバッグの作動に関する情報
- 動力伝達機構の状態
- 運転状態

Honda および Honda が委託した第三者は、記録されたデータを技術的な診断やHondaの車両の研究開発のために、取得、利用することがあります。
なお、会話等の音声や映像は記録されません。

データの開示について

Honda および Honda が委託した第三者は、取得したデータを以下の場合を除き、第三者へ開示、提供することはありません。

- お車の所有者または使用者の同意がある場合
- 裁判所命令等、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行う等、使用者や車が特定できないように加工したデータを、研究機関等に提供する場合

目次

安全なドライブ P.20
安全なドライブのために 21　シートベルト 22　エアバッグ 27　お子さまの安全 38
排気ガスの危険性 51

計器の見かた P.52
警告灯と表示灯 53　メーターとインフォメーションディスプレイ 59

各部の操作 P.64
時刻の設定 65　ドア 68　テールゲート 76　セキュリティシステム 78
ウィンドー 80　ハンドルまわりのスイッチ 82　ミラー類 92　シート 95
室内灯 / 室内装備品 100　エアコン 105

オーディオ P.115
オーディオ装置 116　バックモニター＋ AM/FM チューナー付 CD プレーヤー 118
AM/FM チューナー付 CD プレーヤー 140　オーディオリモートコントロールスイッチ 149
リヤカメラシステム 150

運転 P.154
運転の前に 155　運転 157　ブレーキ 164　駐停車 167
給油 169　ターボ車 172　アクセサリーと改造 175

メンテナンス P.176
メンテナンスの前に 177　ボンネット内 179　電球 183　ワイパー 193
タイヤ 196　キーレスエントリー /Honda スマートキー 201　清掃 203

万一の場合には P.206
工具、発炎筒 207　パンク 208　ジャッキアップ 216　エンジンが始動しない 218
ジャンプスタート 220　セレクトレバーが動かない 222　オーバーヒート 223
警告灯が点灯 / 点滅した 224　ヒューズ 227　けん引 230
フューエルリッドが解錠できない 232　テールゲートが開かない 233

資料 P.234
仕様 : ライフ 235　仕様 : ライフ（ターボ車）236

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。



安全なドライブ

この章には、安全運転のために必要な重要情報が記載されています。
運転を始める前に、よくお読みいただき運転者と同乗者の安全を
確保してください。

安全なドライブのために 21
シートベルト
- シートベルトについて 22
- シートベルトの着用 24
- シートベルトの点検 26

エアバッグ
- エアバッグの種類 27
- SRSエアバッグ 27
- サイドエアバッグ 30
- サイドカーテンエアバッグ 33
- エアバッグシステム警告灯/表示灯 35
- エアバッグのお手入れ 37

お子さまの安全 38
- 乳幼児の安全 39
- 大きなお子さまの安全 49

排気ガスの危険性
- 一酸化炭素について 51

安全のための確認事項

安全なドライブのために、走行前に下記の項目を確認してください。

- ドア、テールゲートは完全に閉まっているか？
  - ► すべてのドア、テールゲートが完全に閉まり、正しく施錠されていることを確認してください。
  - **車内での施錠** P.75
- 運転しやすい姿勢にシート位置を調節しているか？
  - ► 正しい運転姿勢がとれるよう、シート位置やヘッドレストの調節をしてください。
  - **フロントシート** P.95
- 同乗者のシートも、安全が保たれるよう調節しているか？
  - ► ダッシュボードからできるだけ離れた位置までシートを下げてください。
  - **フロントシート** P.95
- 乗員全員が正しくシートベルトを着用しているか？
  - ► 運転者と乗員全員が正しくシートベルトを着用していることを確認してください。
  - **シートベルトの着用** P24
- エアバッグシステム警告灯などが点灯していないか？
  - ► エアバッグに関する説明をあらかじめお読みいただき、シートの位置などを調節してください。
  - **エアバッグ** P.27
- お子さまの安全を守るために、チャイルドシートやシートベルトを着用しているか？
  - ► お子さまが同乗する場合は、お子さまの年齢や身長・体重に応じてチャイルドシートやシートベルトなどで安全を確保するようにしてください。
  - **お子さまの安全** P.38
- 坂道で駐車するときは、パーキングブレーキをかけ、セレクトレバーを P にしているか？
  - ► さらにタイヤに輪止めをすると効果があります。
  - **シフト操作** P.161

安全のための確認事項

ドア / テールゲート開閉警告灯が点灯している場合は、完全に閉まっていないドア、テールゲートがあります。

ドア、テールゲートをもう一度正しく閉め直してください。「ドア / テールゲート開閉警告灯」は消灯し、正常な状態に戻ります。



ドア / テールゲート開閉警告灯 P.55

シートベルトについて

シートベルトは、シートに体を固定することで安全を確保するための安全装置です。

■三点式シートベルト

体の動きに合わせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。
フロントシートには三点式シートベルトが、リヤシートにはチャイルドシート固定機構付きの三点式シートベルトが装備されています。

■シートベルトの着用

シートベルトの装着にあたっては、以下の点に注意してください。

- 運転者は正しい運転姿勢で、シートベルトを必ず着用
- 同乗者にも必ずシートベルトを着用
- シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、必ずチャイルドシートを使用
- 1本のシートベルトを2人以上で使用しない
- ベルトにはクリップや洗たくばさみなどでたるみをつけない

» シートベルトについて

⚠警告

シートベルトは乗員全員が必ず正しく着用する。
シートベルトを正しく着用しないと、エアバッグが装備されていても、衝突したときに重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

運転中は正しい姿勢を保つ。
正しい姿勢ですわらないと、衝突したときに傷害を受ける危険性が高くなります。

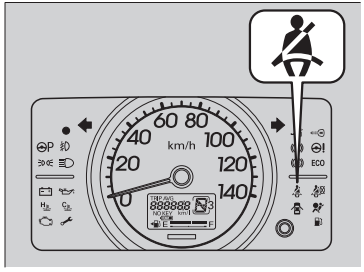
リヤシートにチャイルドシートを取り付けて、使用してください。

知識

リヤシートのシートベルトを着用した状態で、上体を大きく動かすとシートベルトがすべて引き出されチャイルドシート固定機構が作動することがあります。そのときは、チャイルドシート固定機構を解除して、再度着用してください。

➡チャイルドシート固定機構付きシートベルトでの取り付け
P.45

■ シートベルトリマインダー



エンジンスイッチを[II]にしたときや走行したとき、運転席のシートベルトを着用するまでシートベルトリマインダーが作動し、ブザーと警告灯でお知らせします。

■ シートベルトプリテンショナー

安全性をより高めるために、フロントシートにはシートベルトプリテンショナーを装備しています。
シートベルトプリテンショナーは、一定以上の前方向からの衝撃を受けると自動的にシートベルトを引き込み、拘束効果を高めるための装置です。



知識

- 運転席シートベルトを着用せずに走行した場合、停車するとブザーは止まります。また、走行している場合でも一定時間を超えるとブザーは止まります。
- セレクトレバーを[R]に入れたときは後退位置警報装置のチャイムが鳴るため、シートベルト非着用の警告ブザーは鳴りません。

シートベルトプリテンショナー

シートベルトプリテンショナーは、一度作動すると使用できません。
衝突したときは、Honda販売店で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

⚠注意

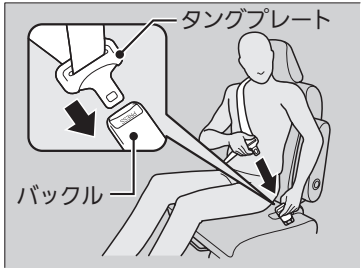
シートベルト引き込み装置の取り外し、分解などはしない。
誤作動や故障の原因となります。

シートベルトの着用

■ 三点式シートベルト



1. 正しい姿勢でシートにすわる。
2. タングプレートをつかみ、ゆっくり引き出す。



3. タングプレートをバックルに差し込む。
► このとき、ベルトにねじれや引っかかりがないように注意します。



4. ベルトを、腰骨のできるだけ低い位置にかかるように合わせる。
5. ベルトを引っ張り、バックルが固定されていることを確認する。

シートベルトの着用

⚠注意

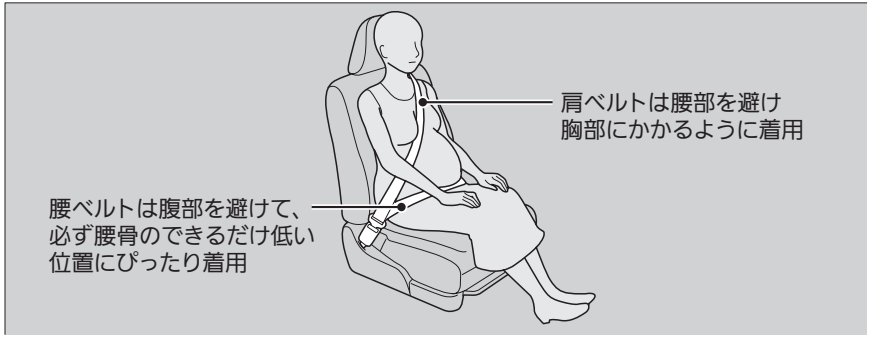
肩ベルトは腕の下に通したり、首の後ろに回さない。
シートベルトを正しく着用しないと、本来の機能を果たさず衝突時などに、けがをするおそれがあります。

シートベルトを外すには、バックルの赤色の PRESS を押してください。
そのとき、ベルトが完全に収納されるようベルトに手を添えてください。

シートベルトを十分に機能させるため、バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。

■ 妊娠中のかたのシートベルト着用のしかた

妊娠中のかたが運転または同乗するときは、ご自身と赤ちゃんを守るために、常に三点式シートベルトを着用してください。



妊娠中のかたのシートベルト着用のしかた

⚠注意

妊娠中のシートベルト着用は、医師に確認する。
万一のとき、腹部、胸部、肩部などに圧迫を受けることがあります。

妊娠中のかたは以下の点を注意してください。万一の衝突時にフロントエアバッグによって、ご自身と赤ちゃんが傷害を受ける危険性が軽減されます。

- 運転するときは上体を起こして、運転に支障のない範囲でシートをなるべく後ろに下げる
- 助手席にすわる場合も、シートはできるだけ後ろに下げる

シートベルトの点検

シートベルトを安全にお使いいただくために、定期的な点検を行ってください。
点検の確認ポイントは下記のとおりです。

- すべてのベルトをいっぱいまで引き出し、ほつれ、破れ、焼けこげ、すり切れがないか？
- バックルが確実に固定されるか？
- ベルトがスムーズに巻き取られるか？

シートベルトの点検

ベルトがスムーズに巻き取られない場合、ベルトが汚れていないことを確認してください。
ベルトが汚れているとスムーズに巻き取られない場合があります。まず、ベルトに汚れがないか確認してください。汚れを落とすと動きが元に戻ることがあります。

ベルトが破損していたり、正しく作動しない場合は、ベルトを交換してください。

エアバッグの種類

エアバッグは、エンジンスイッチがIIのときに車体が衝突による衝撃を受けると膨らみ、運転者および同乗者の受ける衝撃を緩和させます。
エアバッグには下記の種類があり、衝突の方向や条件などにより作動が異なります。

- **SRS エアバッグ**:フロントシートの前方向エアバッグ
- **サイドエアバッグ** *:フロントシートの横方向エアバッグ
- **サイドカーテンエアバッグ** *:窓側の天井部両側についたエアバッグ

SRS エアバッグ

運転席と助手席についています。前方向からの衝突により、SRS エアバッグが膨らんで運転者と助手席の同乗者の頭と胸部への衝撃を緩和します。

SRS :サプリメンタルレストレイントシステム (Supplemental Restraint System) の略で、シートベルトの補助拘束の意味。

■ 格納場所

運転席側はハンドルの中央、助手席側はダッシュボードに SRS エアバッグが格納されています。どちらも「SRS AIRBAG」と表示されています。

■ 作動のしくみ

SRS エアバッグが作動するのは、一定以上の衝撃で前方向から衝突したときです。このとき、センサーが衝突による急激な減速を検知し、コントロールユニットのはたらきにより運転席と助手席の SRS エアバッグが膨らみます。

» エアバッグの種類

エアバッグは非常に速い速度で膨らみます。
エアバッグとの接触により、すり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。

⚠警告

エアバッグ装備車でもシートベルトは必ず使用する。
エアバッグは、衝撃を緩和するためのシステムで、シートベルトの補助拘束具です。エアバッグ装備車であっても、必ず正しくシートベルトを着用してください。シートベルトを着用しないと、衝突時にエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

⚠注意

エアバッグが膨らんだ直後は、構成部品に触れない。
エアバッグの構成部品が熱くなっているため、やけどなどの思わぬけがをすることがあります。

次ページに続く

SRS エアバッグの作動



前方向から衝突すると、シートベルトが乗員の下半身と胴体を拘束し、SRS エアバッグが頭と胸部を保護します。

運転者の視界を妨げたり、ハンドル操作の邪魔にならないように、SRS エアバッグは膨らんだあとすぐにしぼみます。

SRS エアバッグは、次のような場合に作動します。

- 20～30km/h 以上の速度で、きわめて厚い固定されたコンクリートの壁に真正面から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたとき
- 車両の前方左右約 30 度以内の方向から強い衝撃を受けたとき

衝撃を吸収できるもの（車やガードレールのように変形するもの）に衝突した場合、作動するときの車速は高くなります。

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。

- 縁石や地面の突起物に衝突したとき
- 深い溝や穴に落ちたとき
- 高いところから落ちたとき

SRS エアバッグの作動

⚠警告

インストルメントパネルに手をついたり顔や胸を近づけた状態で乗車しない。
SRS エアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

ハンドルやインストルメントパネル上面に、ステッカーを貼ったり、ものを置いたりしない。
SRS エアバッグが正常に機能しなくなったり、エアバッグが膨らんだときに置いたものが飛んで運転者や同乗者がけがをする原因になります。

知識

エアバッグが膨らむときに、空中に粉が舞うことがあります。
この粉は無害ですが、場合によっては一時的に不快感をおぼえることがあります。
安全を確認後、ただちに車外に出てください。

次のような場合、SRS エアバッグが作動しないことがあります。
- 電柱、立ち木などへの衝突
- トラックなどへの潜り込み
- 部分的な衝突や斜め方向からの衝突

車体の部位によって衝撃の吸収度合いが異なりますので、損傷状態の大小とSRS エアバッグの作動は必ずしも一致しません。

シートベルトだけで乗員を保護できるような低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果がないので作動しません。
- 横方向からの衝突
- 後部からの衝突
- 横転または転覆

事故の状況、形態によっては、SRS エアバッグが作動することがあります。

SRS エアバッグの作動

知識

車体が衝撃を十分に吸収できた場合、システムは作動しません。

⚠注意

SRS エアバッグの分解、取り外しはしない。
不適切な取り扱いは故障や誤作動の原因となります。

サイドエアバッグ*

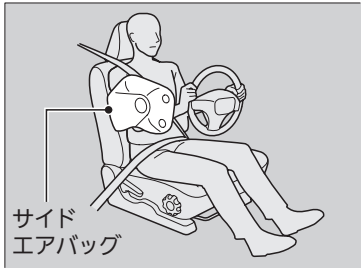
フロントシートの背もたれの外側にあるエアバッグです。側面からの衝突により、エアバッグが膨らみ、運転者と助手席の同乗者の胸部への衝撃を緩和します。

■ 格納場所



運転席、助手席ともにシートの背もたれ外側に格納されています。
どちらも「SIDE AIRBAG」と表示されています。

■ 作動のしくみ



サイドエアバッグは、約30km/h以上の速度で自車と同等の車が真横から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたときに運転席または助手席のサイドエアバッグが膨らみます。

車両側面に斜めから衝突された場合、サイドエアバッグが作動するときの車速は高くなります。

サイドエアバッグ

サイドエアバッグは衝撃を受けた側のみ作動します。
サイドエアバッグは側面からの衝突に対して作動するため、衝撃を受けた側のみ作動します。また、助手席側が衝撃を受けた場合は、助手席側に乗員がいないときでもサイドエアバッグが作動します。

サイドエアバッグは、シートベルトを着用し上体を起こしてシートに深く腰かけているときに保護効果を発揮します。
サイドエアバッグの保護効果を維持するために、シートベルトは正しく着用してください。

⚠注意

ドアやその周辺にアクセサリーなどを取り付けたり、ものを置いたりしない。
正常に作動しなかったり、作動時にこれらのものが飛ぶことがあります。

サイドエアバッグ収納部に衝撃や無理な力を加えない。

知識

サイドエアバッグがシートカバーによっては、正常に機能できなくなります。
フロントシートへのシートカバー装着にあたってはHonda販売店にご相談ください。

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。
- 縁石や地面の突起物に衝突したとき
- 深い溝や穴に落ちたとき
- 高いところから落ちたとき

次のような場合、サイドエアバッグが作動しないことがあります。
- 乗員付近以外の側面への衝突
- 車高の高い車に側面衝突されたとき

サイドエアバッグは乗員の受ける衝撃の大きさによって作動するようになっていますので、車両の損傷状態の大小とサイドエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果がないので作動しません。
- 正面衝突
- 後部からの衝突
- 横転または転覆

事故の状況、形態によっては、サイドエアバッグが作動することがあります。

サイドエアバッグ

⚠注意

ドアに寄りかからない。
サイドエアバッグの格納部に手や顔を必要以上に近づけない。
リヤシート同乗者は、フロントシートの背もたれを抱えない。
サイドエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け傷害を受けるおそれがあります。

サイドエアバッグの分解、取り外しはしない。
不適切な取り扱いは故障や誤作動の原因となります。

知識

エアバッグが膨らむときに、空中に粉が舞うことがあります。
この粉は無害ですが、場合によっては一時的に不快感をおぼえることがあります。
安全を確認したら、ただちに車外に出てください。

次ページに続く

■ サイドエアバッグ自動停止システム

助手席に乗ったお子さまなどを保護する目的で、以下のような状態ではサイドエアバッグ自動停止システムがはたらきます。

- 小さなお子さまや小柄な大人のかたがドアに寄りかかるなどで、サイドエアバッグが膨らむ付近に頭があるようなとき
- 助手席の同乗者がサイドエアバッグの作動範囲に入ったとき
- 大人のかたが前かがみになっていたり、寝そべってドアに寄りかかっているとき

こうした状態になるとセンサーが検知し、サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯します。

サイドエアバッグ自動停止表示灯 P.36

■ サイドエアバッグ自動停止表示灯の点灯

サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯したら、同乗者に体を起こすように指示してください。また、小さなお子さまの場合は、リヤシートに乗せてください。

表示灯が消灯すると、サイドエアバッグは自動停止状態を解除し、通常の状態に戻ります。

サイドエアバッグ

各センサーにより乗員の姿勢を検知して、サイドエアバッグの作動を制御します。



知識

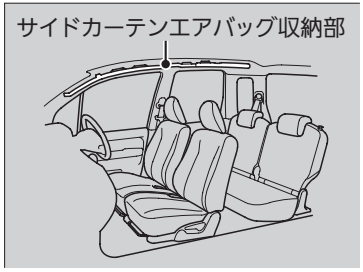
以下のような場合、センサーが正常に作動しないことがあります。

- シートの背もたれがぬれているとき
- 金属など電気を通すものが接しているとき
- シートにクッションなどを置いているとき
- ダウンジャケットなど厚い上着を着ているとき
- 水分を含んだものを助手席に置いているとき

サイドカーテンエアバッグ*

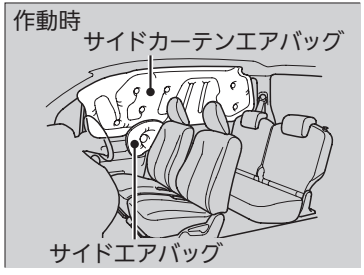
窓側の天井部にあるエアバッグです。側面からの衝突により、エアバッグが膨らみ、乗員の頭部への衝撃を緩和します。

■ 格納場所



運転席側、助手席側ともに窓側の天井部に格納されています。
どちらも「SIDE CURTAIN AIRBAG」と表示されています。

■ 作動のしくみ



サイドカーテンエアバッグが作動するのは、一定以上の衝撃で側面方向から衝突したときに、運転席側または助手席側のサイドカーテンエアバッグが膨らみます。

サイドカーテンエアバッグの作動/非作動は、サイドエアバッグと同じ条件です。

サイドカーテンエアバッグ

サイドカーテンエアバッグは衝撃を受けた側のみ作動します。
サイドカーテンエアバッグは側面からの衝突に対して作動するため、衝撃を受けた側のみ作動します。また、助手席側が衝撃を受けた場合は、助手席側に乗員がいないときでもサイドカーテンエアバッグが作動します。

サイドカーテンエアバッグは、シートベルトを着用し上体を起こしてシートに深く腰かけているときに保護効果を発揮します。
サイドカーテンエアバッグの保護効果を維持するために、シートベルトは正しく着用してください。

⚠注意

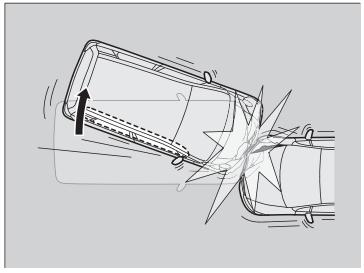
サイドカーテンエアバッグが正常に作動しなかったり、作動時にものが飛んだりすることがあるので、以下のことに注意する。

- フロントガラス、ドアガラス、フロント、センター、リヤの各ピラーまわりにアクセサリーなどを取り付けない
- グラブレールにものをかけない

正常に作動しなかったり、作動時にこれらのものが飛ぶことがあります。

次ページに続く

■前方向から衝突したときの作動



前方向からの衝突時、横方向に一定以上の力がかかると、SRS エアバッグが膨らんだあと必要な側のサイドカーテンエアバッグが膨らみます。

サイドカーテンエアバッグ

⚠注意

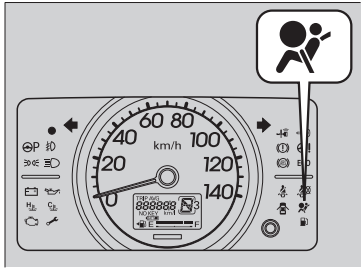
サイドカーテンエアバッグ収納部に衝撃を加えない。
収納部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、Honda販売店で交換してください。

サイドカーテンエアバッグの分解、取り外しはしない。
不適切な取り扱いは故障や誤作動の原因となります。

エアバッグシステム警告灯 / 表示灯

エアバッグやシートベルトプリテンショナーの異常などを、警告灯や表示灯で知らせます。

■ エアバッグシステム警告灯



■エンジンスイッチを II にしたとき

エンジンスイッチを II にすると、エアバッグシステム警告灯が数秒間点灯し、消灯すれば正常です。

■エアバッグシステム警告灯が点灯状態のとき

この警告灯が点灯している状態は、エアバッグシステムまたはシートベルトプリテンショナーに異常があることを示します。

» エアバッグシステム警告灯

アドバイス

エアバッグシステム警告灯が点灯状態のときは、Honda販売店で点検を受けてください。

エアバッグシステム警告灯が常時点灯する状態のときは、SRSエアバッグ、サイドエアバッグ*、サイドカーテンエアバッグ*、シートベルトプリテンショナーに異常がある可能性があります。ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

また、エンジンスイッチを II にしたときにエアバッグシステム警告灯が点灯しない場合も同様です。

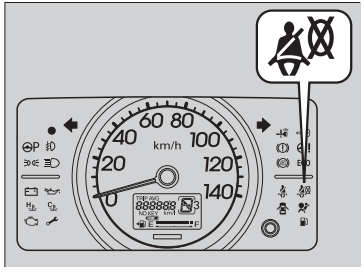
⚠警告

エアバッグシステム警告灯を無視しない。

エアバッグシステム警告灯を無視すると、エアバッグシステム、シートベルトプリテンショナーが正しく機能せず、重大な傷害を受けたり死亡したりするおそれがあります。エアバッグシステム警告灯が点灯する場合は、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

次ページに続く

■ サイドエアバッグ自動停止表示灯 *



■エンジンスイッチを II にしたとき

エンジンスイッチを II にすると、サイドエアバッグ自動停止表示灯が数秒間点灯し、消灯すれば正常です。

■サイドエアバッグ自動停止システムの作動

サイドエアバッグの自動停止システムが作動して、助手席のサイドエアバッグシステムが停止状態になると、サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯します。

この表示灯が点灯していても、異常ではありません。

サイドエアバック自動停止システム P.32

サイドエアバッグ自動停止表示灯

アドバイス

以下の状態で点灯する場合、Honda 販売店で点検を受けてください。

- 走行中、助手席に誰も乗っていないとき
- 正しい乗車姿勢をとっているとき

エンジンスイッチを II にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないときも、Honda販売店で点検を受けてください。

知識

助手席の同乗者が正しい乗車姿勢をとっている状態で、サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯する場合は、下記の項目を確認してください。

- シートの背もたれがぬれていないか？
- 金属など電気を通すものが接していないか？
- 水分を含んだものを助手席に置いていないか？

原因となるものを取り除いても、サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯している場合はHonda販売店で点検を受けてください。

エアバッグのお手入れ

エアバッグシステムは、メンテナンスを必要とせず、部品交換の必要もありません。
ただし、以下の場合はHonda販売店で点検を受けてください。

■エアバッグが作動し、膨らんだとき

一度作動したエアバッグは、コントロールユニットやその他の関連部品とともに必ず交換する必要があります。
また、シートベルトプリテンショナーも同様に、一度作動した場合は新品と交換する必要があります。

■車に中程度から強度の衝撃が加わったとき

エアバッグが作動していなくても、センサーが正しく作動することを点検する必要があります。
Honda販売店で点検を受けてください。

お子さまの安全を守るために

お子さまが乗車するときは、下記の注意点を確認し、お子さまの安全を確保してください。



- お子さまはリヤシートに乗せる
  ► お子さまを助手席に乗せると、不意の動作が気になったり、スイッチ類をいたずらしたりするなど運転の妨げになるおそれがあります。
  また、SRS エアバッグが膨らむ際、強い衝撃があるため危険です。

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させる
  ► お子さまを抱えていても、衝突したときに支えることができず危険です。
  正しい着用方法でお子さまにもシートベルトをしてください。
- 乳幼児にはチャイルドシートを使用する
  ► 乳幼児を乗せるときは、必ずチャイルドシートを使用します。
- 窓から手や顔、ものを出さない
  ► 走行中や一時停止時などに、お子さまが窓から手や顔、ものなどを出さないように注意してください。思わぬ障害物により事故のおそれがあり危険です。
- ドア、ウィンドー、シートなどの操作は必ず大人が行う
  ► 思わぬけがの原因となりますので、お子さまにはドア、ウィンドー、シートなどの操作をさせないでください。
- 車を離れるときは、お子さまを連れて出る
  ► お子さまだけを車内に残さないでください。特に、炎天下の車内は高温になり危険です。また、お子さまのいたずらにより、車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまの安全を守るために

お子さまを助手席に乗せないほうが良い理由は下記の通りです。

- お子さまが助手席のシートに正しく乗車できないと、SRS エアバッグが膨らんだときに重大な傷害を負うおそれがある
- サイドエアバッグシステム装備車は、お子さまの体の一部がサイドエアバッグの作動範囲に入ると、サイドエアバッグが膨らんだときに重大な傷害を負うおそれがある

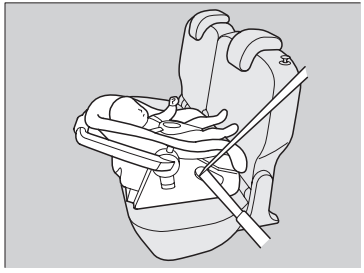
⚠警告

チャイルドシートはリヤシートに設置する。
助手席に設置すると SRS エアバッグが作動したときの衝撃で、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

乳幼児の安全

■乳児のチャイルドシート

首のすわっていない乳児は、乳児用のチャイルドシートを正しく固定し、乗せてください。



■後ろ向きのチャイルドシートの設置場所

リヤシートに設置することができます。

推奨するのは、助手席の真後ろの席への設置です。その場合、助手席には人を乗せず助手席のシートをできるだけ前に出してください。

乳児のチャイルドシート

運転席を推奨する位置まで下げられなかったり背もたれの角度を調節できなかったりした場合は、他の席に設置してください。

⚠警告

後ろ向きのチャイルドシートを前向きにして使わない。

前向きにして使うと前方から衝突したときに、乳児が重大な傷害を負うおそれがあります。

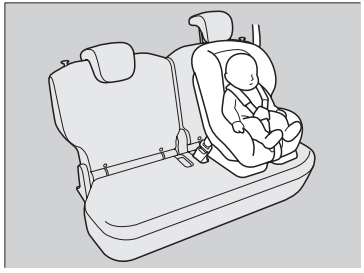
後ろ向きのチャイルドシートは助手席に設置しない。

助手席のSRSエアバッグが膨らんだときに、チャイルドシートの背面にエアバッグが当たり、乳児が重大な傷害を負ったり死亡したりするおそれがあります。

次ページに続く

■ 幼児のチャイルドシート

チャイルドシートメーカーが指定する範囲内の幼児は、前向きのチャイルドシートを正しく固定し、乗せてください。



■前向きのチャイルドシートの設置場所

リヤシートへの設置を推奨します。

幼児のチャイルドシート

⚠警告

助手席に前向きのチャイルドシートを設置しない。

助手席に前向きのチャイルドシートを設置すると、助手席のシートが前に出すぎていたり、衝突したときに乳幼児の頭が前に投げ出されるとSRSエアバッグで強い衝撃を受けるため、重大な傷害を負ったり死亡したりするおそれがあります。

やむをえず助手席に前向きのチャイルドシートを設置する場合は、助手席のシートをできるだけ後ろに下げて設置してください。

■ チャイルドシートの選びかた

チャイルドシートを購入するときは、シートベルト固定タイプチャイルドシートまたは汎用型ISOFIXチャイルドシートをお選びください。
シートベルト固定タイプチャイルドシートは、シートベルトを用いて座席に固定します。
汎用型ISOFIXチャイルドシートは、リヤシートに付属しているロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジで固定するため取り付けが簡単です。

■チャイルドシート選択の条件

チャイルドシートが適切な保護効果を発揮するためには、以下の3つの条件を満たしている必要があります。

- 一覧表に案内されているチャイルドシートであること
  ➔**選択の目安** P.42、44
- チャイルドシートがお子さまに合ったタイプとサイズであること
- チャイルドシートが取り付ける車の座席にあったものであること

次ページに続く

チャイルドシートの選びかた

汎用型ISOFIXチャイルドシートは取り付けが簡単です。

汎用型ISOFIXチャイルドシートは取り付けを簡単にすることで、不適切な取り付けが原因で起きる傷害を減らすために開発されたものです。

■ シートベルトで固定するチャイルドシートについて

この車にはチャイルドシートを固定するために、リヤシートのシートベルトにチャイルドシート固定装置が付いています。様々なタイプのチャイルドシートが利用可能ですが、すべてのタイプが適当であるというわけではありません。
次の表を参照して、それぞれの着席位置で、どのチャイルドシートが使用できるかを選択してください。

■選択の目安

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

ベルト固定タイプ チャイルドシート 重量区分	座席位置		
	前席	後席	
	助手席	外側席	中央席
グループ0 ～10kg	X	U	—
グループ0＋ ～13kg	X	U	—
グループⅠ 9kg～18kg	UF	U	—
グループⅡ 15kg～25kg	UF	U	—
グループⅢ 22kg～36kg	UF	U	—

記号の説明

U ：汎用型チャイルドシートが取り付け可能です。
UF：汎用型チャイルドシートが前向きに取り付け可能です。
X ：チャイルドシートを取り付けできません。

» シートベルトで固定するチャイルドシートについて

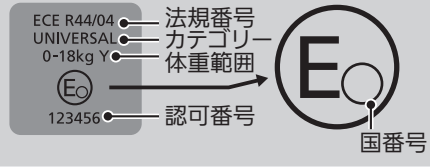
知識

チャイルドシートに関する国連の安全基準であるECE R44に適合しているチャイルドシートには、シートベルトで固定する機構が付いています。
詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

チャイルドシートをご購入する際は、重量グループに一致したものをお選びください。

UとUFのチャイルドシートには、ECE R44認可表示と取扱説明書にUNIVERSAL（汎用）と案内されているものもあります。

EC認可表示（例）



Honda純正のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際してはHonda販売店にご相談ください。

■ 汎用型 ISOFIX チャイルドシートについて

この車のリヤシートには、汎用型ISOFIXチャイルドシートを取り付けるためのロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジを装備しています。
次ページの表を参照して、それぞれの着席位置で、どのチャイルドシートが使用できるかを選択してください。

汎用型ISOFIXチャイルドシートについて

知識

Honda純正のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際してはHonda販売店にご相談ください。

次ページに続く

■選択の目安

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

汎用型ISOFIX チャイルドシート 重量区分	サイズ等級	固定具	ISOFIX位置		
			前席 助手席	後席 外側席	後席 中央席
キャリコット	F	ISO/L1	—	X	—
	G	ISO/L2	—	X	—
グループ0 ～10kg	E	ISO/R1	—	IL	—
グループ0＋ ～13kg	E	ISO/R1	—	IL	—
	D	ISO/R2	—	X	—
	C	ISO/R3	—	X	—
グループⅠ 9kg～18kg	D	ISO/R2	—	X	—
	C	ISO/R3	—	X	—
	B	ISO/F2	—	IUF	—
	B1	ISO/F2X	—	IUF	—
	A	ISO/F3	—	IUF	—
グループⅡ 15kg～25kg	—	—	—	X	—
グループⅢ 22kg～36kg	—	—	—	X	—

記号の説明

IL　：国連の安全基準ECE R44に適合している準汎用型ISOFIXチャイルドシートのみが取り付け可能です。

IUF：国連の安全基準ECE R44に適合している汎用型ISOFIXチャイルドシートのみが前向きに取り付け可能です。

X　：ISOFIXチャイルドシートを取り付けできません。

汎用型ISOFIXチャイルドシートについて

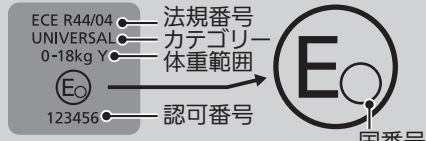
チャイルドシートをご購入する際は、ISOFIXサイズ等級に一致したものをお選びください。

固定具	お子さまの大きさ	使用の向き	形状、大きさ
ISO/L1	乳児	左	寝台式
ISO/L2		右	寝台式
ISO/R1		後ろ	
ISO/R2	幼児	後ろ	小型
ISO/R3		後ろ	大型
ISO/F2		前	低型
ISO/F2X		前	低型
ISO/F3		前	全高

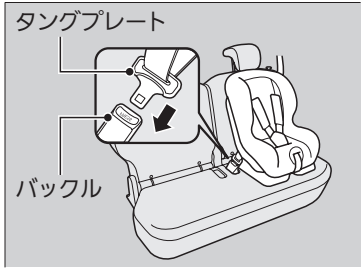
ILはECE R44に適合した、Honda純正 Honda Baby ISOFIXのみ取り付けることができます。ご購入はHonda販売店にご相談ください。

IUFのチャイルドシートには、ECE R44認可表示と取扱説明書にUNIVERSAL ISOFIX(汎用)と案内があります。

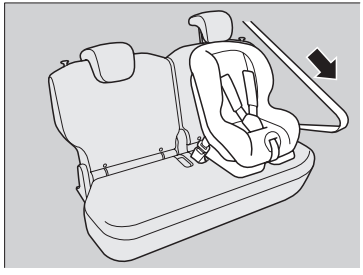
EC認可表示（例）



■ チャイルドシート固定機構付きシートベルトでの取り付け



1. チャイルドシートを座席に置く。
2. シートベルトをチャイルドシートに通し、タングプレートをバックルに差し込む。
► このとき、バックルがカチリという音がするまできちんと差し込んでください。



3. シートベルトをゆっくりすべて引き出す。
4. シートベルトを少し巻き取らせ、その後ベルトを引き出しても動かないことを確認する。

次ページに続く

チャイルドシート固定機構付きシートベルトでの取り付け

チャイルドシート固定機構は、リヤシートにあります。

知識

チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読んでください。

シートベルトが引き出せる場合、固定機構がはたらいていません。もう一度ベルトをすべて引き出し、巻き取らせてください。
固定機構がはたらくと、それ以上ベルトを引き出すことはできません。
引き出せる場合は、もう一度やり直してください。

⚠注意

固定機構を使用するときは、必ずシートベルトが引き出し方向に動かないことを確認する。
固定機構がはたらいていない状態では、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。



5. 肩ベルトのバックル付近をつかみ、上に引っ張って、腰ベルトのゆるみをとる。



6. チャイルドシートに体重をかけて、シートに押しつけながらベルトを巻き取らせ、固定をする。

7. チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認する。

■ チャイルドシートの取り外し

チャイルドシート固定機構付きシートベルトでチャイルドシートを固定した場合の取り外しは、バックルを外し、シートベルトをチャイルドシートから引き抜きます。

チャイルドシート固定機構付きシートベルトでの取り付け

⚠注意

チャイルドシートが確実に固定されているか確認する。

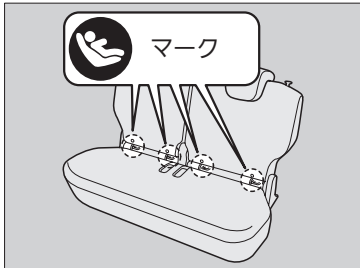
確実に固定されていないと、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

チャイルドシートの取り外し

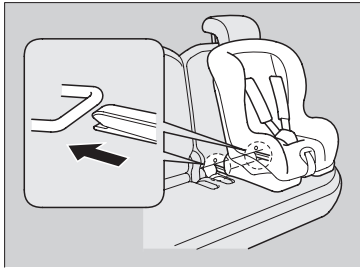
チャイルドシートから外したシートベルトをいっぱいまで巻き取らせると、チャイルドシート固定機構は解除されます。

■ 汎用型 ISOFIX チャイルドシートの取り付け

汎用型ISOFIXチャイルドシートは、リヤシートに設置できます。チャイルドシートは、ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジで固定します。



1. マークの下にあるシートの切れ目からロアアンカレッジを確認する。



2. チャイルドシートを座席に置き、チャイルドシートの取扱説明書にしたがってロアアンカレッジに取り付ける。
▶ 取り付けの際に、異物やシートベルトなどがロアアンカレッジにかみ込まないようにしてください。

▨汎用型ISOFIXチャイルドシートの取り付け

汎用型ISOFIXチャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。

知識

チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読んでください。

⚠注意

ロアアンカレッジ周辺に、異物やシートベルトのかみ込みがないか確認する。
異物やシートベルトをかみ込むとチャイルドシートが確実に固定されず、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

次ページに続く



3. ヘッドレストを持ち上げ、トップテザーストラップをヘッドレストの外側に通す。
► このときトップテザーストラップがねじれないように注意してください。
4. トップテザーストラップをトップテザーアンカレッジに引っかけ、ストラップを締める。
5. チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認する。

汎用型ISOFIXチャイルドシートの取り付け

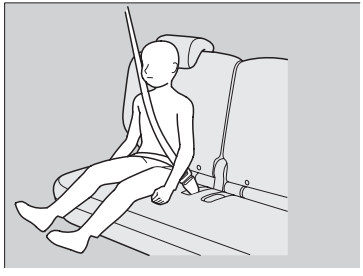
⚠注意

チャイルドシートが確実に固定されているか確認する。
確実に固定されていないと、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

大きなお子さまの安全

■ シートの使用について

幼児用のチャイルドシートの使用条件を超えるお子さまは、リヤシートに乗せて三点式シートベルトを着用させてください。お子さまをシートに深くすわらせ、以下の確認項目でひとつでも適合しない場合、ジュニアシートの使用が必要です。



■確認項目

- お子さまのひざがシートの前端で無理なく曲がっているか？
- 肩ベルトがお子さまの首と腕の間にかかっているか？
- 腰ベルトが低い位置にあり、お子さまの太ももに触れているか？
- 乗車中、無理なくすわっていられるか？

大きなお子さまの安全

⚠警告

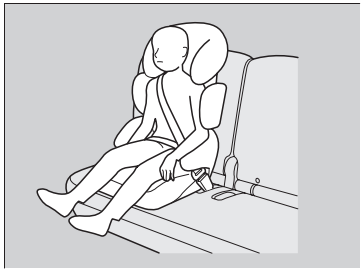
お子さまは助手席に乗せない。
お子さまを助手席に乗せると、SRS エアバッグが膨らんだときに、重大な傷害を負うおそれがあります。
やむをえず、助手席にお子さまを乗せる場合は、できるだけシートを後方に下げ、必要ならばジュニアシートを使用し、適切にシートベルトを着用してすわらせてください。

お子さまをシートベルトで遊ばせない。
固定装置が作動するとベルトがゆるまなくなり、窒息などの重大な傷害を負うおそれがあります。
万一、シートベルトをゆるめることができなくなった場合には、はさみなどでベルトを切断してください。

やむをえずお子さまを助手席に乗せる場合は、次ページの注意事項を厳守してください。

次ページに続く

■ ジュニアシートについて



三点式シートベルトを使用できず、ジュニアシートを用いる必要があるお子さまは、ジュニアシートをリヤシートに設置して使用してください。
安全のため、お子さまがジュニアシートの使用に適した範囲に入っているか確認してください。

■ やむをえず、お子さまを助手席に乗せる場合

正しい姿勢ですわる、走行中にシートベルトを着用するなどの規則をお子さまが守ることができ、お子さまを助手席に乗せても安全と判断した場合、下記の項目を守ってお子さまを乗車させてください。

- この取扱説明書をよく読み、シートベルトに関する指示と安全に関して十分に理解する
- 助手席を一番後ろまで下げる
- 上体を起こし、シートに深く腰かけ、足をフロアーにつけるよう指示する
- お子さまのシートベルトが正しい位置で、しっかり固定されているか確認する
- お子さまの行動を見守る

ジュニアシートについて

ジュニアシートの取り付けについては、ジュニアシートに付属の取扱説明書をよく読み、正しく取り付けてください。

ジュニアシートには、座高の高いものと低いものがあります。お子さまが適切にシートベルトを着用できるものを選択してください。

一酸化炭素について

車の排気ガスには一酸化炭素が含まれています。車をきちんと保守していれば、一酸化炭素が車内に入ることはありません。
以下の場合は、排気ガスのもれがないかHonda販売店で点検を受けてください。

■点検が必要な場合

- 排気音に異常を感じたとき
- 車が衝突し、排気システムが損傷した可能性があるとき

一酸化炭素について

⚠警告

一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業を避ける。
一酸化炭素は有毒です。一酸化炭素を吸い込むと意識不明になったり、死亡したりするおそれがあります。
密閉された場所での作業や、一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業はしないでください。

降雪時や積雪のある場所では、エンジンをかけたままにしない。
周囲に積もった雪により排気ガスが滞留し車内に入ってくると、重大な傷害や死亡にいたるおそれがあります。

ガレージなどの密閉された場所は、一酸化炭素が急に充満するおそれがあります。
ガレージのドアを閉めたままエンジンをかけないでください。ドアが開いている場合でも、ガレージから車を出す直前にエンジンをかけるようにしてください。

計器の見かた

この章では、運転中に使用するスイッチや警告灯・表示灯、
メーター類に関する情報を記載しています。



警告灯と表示灯
- 警告灯 53
- 表示灯 56

メーターと
インフォメーションディスプレイ
- メーター 59
- インフォメーションディスプレイ 60
- カスタマイズ機能 62

警告灯

警告灯	名称	点灯/点滅する状況	知識
	ブレーキ警告灯	• エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯(パーキングブレーキをかけているときは点灯) • ブレーキ液量が低下したときに点灯	• 走行中に点灯したりパーキングブレーキを解除しても点灯するときは、ブレーキ液を点検し、下限より減っている場合はただちにHonda販売店で点検を受けてください。 • ABS警告灯と同時に点灯した場合も、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。 ➡**ブレーキ警告灯が点灯した** P.225
	油圧警告灯	• エンジンスイッチを II にすると点灯し、エンジン始動で消灯 • エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯	• **走行中に点灯**=ただちに安全な場所に車を停車し、対処してください。 ➡**油圧警告灯が点灯した** P.224
	PGM-FI警告灯	• エンジンスイッチを II にすると点灯し、エンジン始動で消灯 エンジンを始動していないときは数十秒後消灯 • エンジンの排気ガス制御システムに異常があると点灯 • エンジン各気筒の失火状態を検知したときに点滅	• **走行中に点灯**=高速走行を避けてただちにHonda販売店で点検を受けてください。 • **走行中に点滅**=枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10分以上エンジンを止めて冷えるのをお待ちください。 ➡**PGM-FI警告灯が点灯/点滅した** P.225
	充電警告灯	• エンジンスイッチを II にすると点灯し、エンジン始動で消灯 • バッテリーが充電されていないと点灯	• **走行中に点灯**=電気の消費量を減らすため、エアコンやリヤデフロスターなどをOFFにし、対処してください。 ➡**充電警告灯が点灯した** P.224

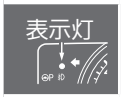
次ページに続く

警告灯	名称	点灯/点滅する状況	知識
	トランスミッション警告表示（セレクトポジション表示）	• トランスミッションが異常のときに点滅	• 運転中に点滅した場合は、急発進、急加速を避けて、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。
	シートベルト非着用警告灯	• 運転者がシートベルトをしないと点灯 • エンジンスイッチを II にしたときや走行中、運転者がシートベルトを着用していないとブザーが鳴り、ブザーが鳴っている間は警告灯が点滅	• シートベルトを正しく着用するとブザーがやみ、警告灯が消灯します。 • シートベルトを正しく着用していても警告灯が点灯する場合は、センサーの誤検知などの要因が考えられます。 **➡シートベルトリマインダー** P.23
	Hondaスマートキーシステム警告灯*	• エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 • Hondaスマートキーシステムが異常のときに点灯	• 下記のような場合、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。 ・運転中に点灯した ・エンジン始動後も消灯しない ・エンジンスイッチが 0 のときに数秒間点灯した
	燃料残量警告灯	• 燃料の残量が少なくなると点灯 • 燃料計に異常があるときは点滅	• 点灯したら早めに給油してください。 • 点滅したときは、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。
	ABS（アンチロックブレーキシステム）警告灯*	• エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 • ABSが異常のときに点灯	• 常時点灯、あるいは全く点灯しない場合は、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。 **➡ABS（アンチロックブレーキシステム）** P.166

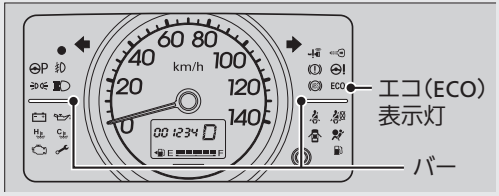
警告灯	名称	点灯/点滅する状況	知識
	エアバッグシステム警告灯	• エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 • 下記の異常を検出すると点灯 ・SRS エアバッグシステムの異常 ・サイドエアバッグシステムの異常 ・サイドカーテンエアバッグシステムの異常 ・シートベルトプリテンショナーの異常	• 常時点灯、あるいは全く点灯しない場合は、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。
	ドア/テールゲート開閉警告灯	• ドア、テールゲートが完全に閉まっていないとき点灯	• ドア、テールゲートを完全に閉めると、警告灯が消灯します。
	EPS(エレクトリックパワーステアリング)警告灯	• エンジンスイッチを II にすると点灯し、エンジン始動で消灯 • EPS (エレクトリックパワーステアリング) システムの機能に異常があると点灯	• 常時点灯、あるいは全く点灯しない場合は、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。 ➡**EPS 警告灯が点灯した** P.226
	高水温警告灯	• エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 • エンジンの冷却水の温度が上がると点滅し、さらに上がると点灯	• **走行中に点滅**＝ゆっくり走行してください。 • **走行中に点灯**＝ただちに安全な場所に車を停車し、エンジンを冷やしてください。 ➡**オーバーヒート** P.223
	Honda スマートパーキングアシストシステム警告灯*	• エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 • Honda スマートパーキングアシストシステムが異常のときに、オレンジで点灯	• 詳細については、別冊の「Honda スマートパーキングアシストシステム」取扱説明書をご覧ください。

表示灯

表示灯	名称	点灯/点滅する状況	知識
	方向指示器表示灯	• 方向指示器と対応し、左右どちらかが点滅 • 非常点滅表示灯スイッチを押すと、左右同時に点滅	• 点滅しない/点滅の周期が速いときは、方向指示器の電球が切れています。ただちに電球を交換してください。 ➡**電球の交換** P.185、188、189
	ハイビーム表示灯	• ヘッドライトを上向きにしたときに点灯	—
	ライト点灯表示灯	• ライトスイッチがOFF以外のときに点灯	• ライトを点灯したままキーを抜く/プッシュオフにすると、運転席のドアを開けたときにライト消し忘れ警告ブザーが鳴ります。
	フォグライト点灯表示灯*	• フォグライトを点灯させると点灯	—
	低水温表示灯	• エンジン冷却水の温度が低いときに点灯	• 暖機を十分にした状態で、表示灯が点灯したままのときは、温度センサーなどの異常が考えられます。Honda販売店で点検を受けてください。
	サイドエアバッグ自動停止表示灯*	• エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 • 助手席のサイドエアバッグシステムのセンサーが作動し、サイドエアバッグシステムが自動的に停止したときに点灯	• 一瞬の点灯は異常ではありません。 • 点灯したときは、上体を起こしてすわってください。小さいお子さまが助手席に乗っているときは、リヤシートに乗せてください。 • 助手席に誰も乗っていないのに走行中点灯するときは、Honda販売店で点検を受けてください。

表示灯	名称	点灯/点滅する状況	知識
	イモビライザーシステム表示灯*	• エンジンスイッチをIIにすると数秒点灯したあと、消灯 • イモビライザーシステムがキーの情報を認識できないと点滅 • エンジンスイッチをIIからIまたは0にしたときも数回点滅 • Hondaスマートキーシステム装備車は、エンジンスイッチノブをIIから0（プッシュオフ）にすると数回点滅	• 点滅しているときは、エンジンを始動することはできません。Hondaスマートキーシステム装備車は、エンジンスイッチを0（プッシュオフ）にしてから、もう一度IIにしてください。 • エンジンスイッチをIIにしても点灯しない場合や、頻繁に表示灯の点滅を繰り返す場合は、システムの異常が考えられますのでHonda販売店で点検を受けてください。 • エンジンスイッチのそばに、別のキーや金属があるとイモビライザーシステムがキーの情報を読み取れないことがあります。
	セキュリティアラームシステム作動表示灯*	• セキュリティアラームシステムがセットされているときに点滅	セキュリティアラームシステム P.78
	Hondaスマートパーキングアシストシステム作動表示灯*	• Hondaスマートパーキングアシストシステムが作動しているときにグリーンで点滅または点灯	• 詳細については、別冊の「Hondaスマートパーキングアシストシステム」取扱説明書をご覧ください。

次ページに続く

表示灯	名称	点灯/点滅する状況	知識
ECO	ECO（エコ）表示灯	• 定速走行時や減速運転時のエンジンの燃費の状態が良いときに点灯	• 停車中や低車速走行中は点灯しません。 • 表示灯の点灯に連動して、メーター内のバーがオレンジからグリーンに変わります。  • バーの色を表示灯の点灯と連動しないように設定できます。 ➡**カスタマイズ機能** P.62
	エンジンオイルメンテナンス表示灯*	• エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 • エンジンオイルの交換時期が近づくと点滅 • エンジンオイルの交換時期が過ぎると点灯	• **約10秒間点滅した後に消灯**＝表示灯をリセットしてから4,500km以上走行したことを示します。 • **消 灯しない**＝表 示 灯をリセットしてから5,000km以上走行したことを示します。すみやかにエンジンオイルを交換してください。エンジンオイルを交換した後は、表示灯をリセットしてください。 ➡**表示灯のリセット** P.173 • この表示灯は、走行距離を積算してエンジンオイルの交換時期をお知らせします。前回エンジンオイル交換後、リセットしてからの走行距離が5,000km未満であっても、6ヶ月が経過した場合はエンジンオイルを交換してください。 ➡**エンジンオイル、オイルフィルターの交換時期** P.172

メーター

メーターには、スピードメーター、燃料計などの種類があります。

■ スピードメーター

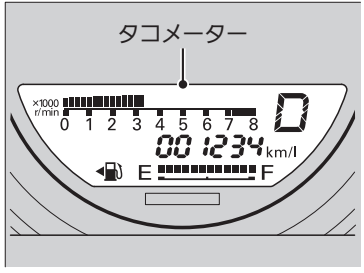
走行速度をkm/hで表示します。

■ 燃料計

燃料タンクに残っている、燃料の量を表示します。
エンジンスイッチがIIのとき表示されます。

■ タコメーター*

1分間あたりのエンジン回転数を表示します。



燃料計

実際の燃料残量と、メーターに表示される量は異なる場合がありますので、ご注意ください。

アドバイス

燃料計がEに近づいたら、早めに給油してください。
燃料がなくなるとエンジンが点火しなくなり、触媒装置を損傷することがあります。

タコメーター

エンジンの限界回転数は、下表の通りです。

タイプ	限界回転数
ライフ	7,500rpm
ライフ(ターボ車)	7,000rpm

アドバイス

エンジン故障の原因となりますので限界回転数以上（レッドゾーン）に入らないよう運転してください。
特に、高速走行時にシフトダウンするときには、注意してください。

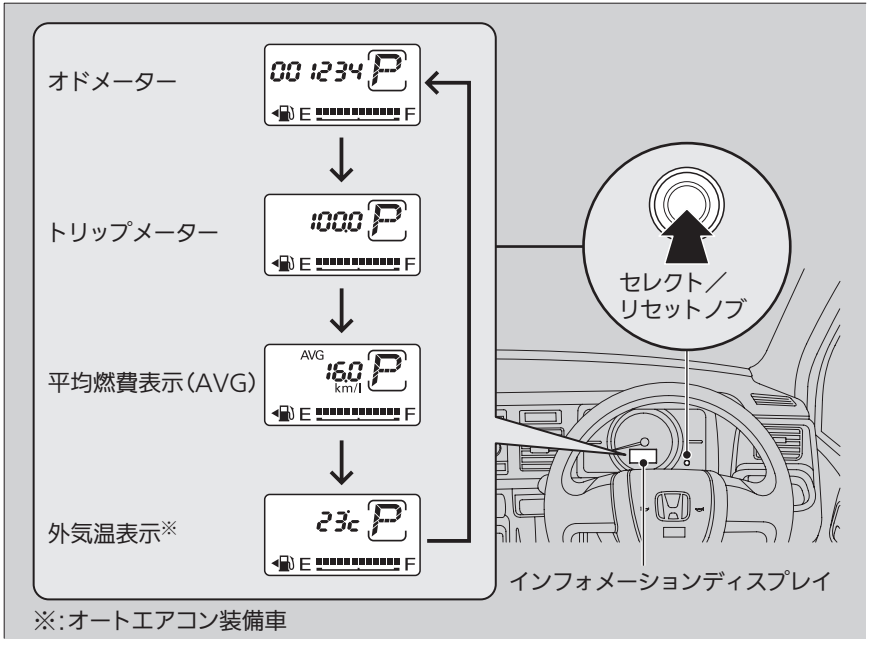
セレクトレバーがRのときや、空ぶかしをしたときにエンジン回転数が下記の回転数になると、トランスミッション保護のため燃料供給が停止されます。
回転数：4,200rpm

インフォメーションディスプレイ

インフォメーションディスプレイには、オドメーター、トリップメーター、外気温表示などが表示されます。

■ 表示の切り換えかた

セレクト/リセットノブを押すごとに、表示が下記のように切り換わります。



※:オートエアコン装備車

■ オドメーター

走行距離の累計をkmで表示します。

■ トリップメーター

リセットしてからの走行距離をkmで表示します。

■ トリップメーターをリセットするには

トリップメーターが表示されている状態で、セレクト/リセットノブを押し続けてください。トリップメーターが0.0にリセットされます。

■ 平均燃費表示（AVG）

トリップメーターと連動し、平均燃費を一定時間ごとに更新してkm/lで表示します。

■ 平均燃費表示のリセット

トリップメーターをリセットすると、平均燃費表示も同時にリセットされます。

■ 外気温表示*

外気温を測定し表示します。

■ 外気温表示を補正するには

外気温とメーターの表示温度に差がある場合、±3℃の範囲で補正することができます。

➔カスタマイズ機能 P.62

トリップメーター

トリップメーターは走行距離が9999.9kmを超えると、0.0kmに戻ります

平均燃費表示

表示される平均燃費は、実際に走行した燃費とは異なる場合があります。

停車時または低速走行中にリセットした場合は、走行を始めてから燃費の計算を開始します。

外気温表示

温度センサーはフロントバンパー付近に付いています。

速度がおよそ30km/h以下のときは、表示される温度が、路面の熱、エンジンの熱、周囲の車の排気ガスの影響を受けることがあります。また、温度の読み取り値が安定するまで更新されないため、温度表示の更新に数分かかることがあります。

外気温表示の補正は、温度が安定してから行ってください。

カスタマイズ機能

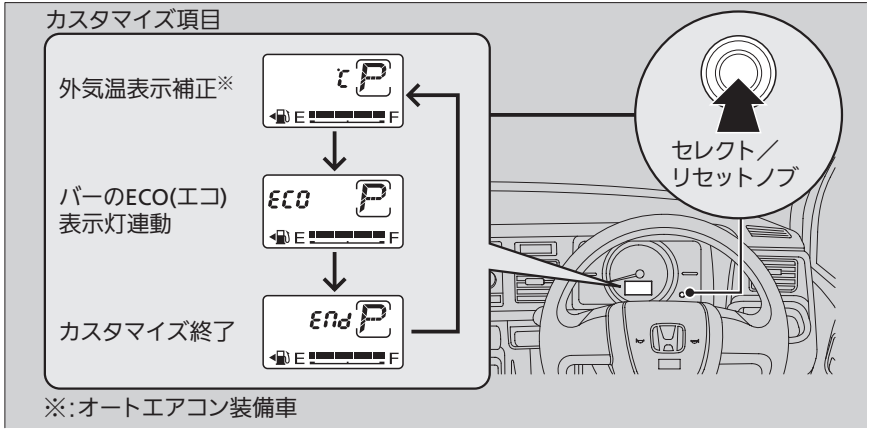
下表の機能をお好みに合わせてカスタマイズ(設定変更)することができます。

カスタマイズメニュー	選択できる設定内容	工場出荷時の設定
外気温表示補正	+3℃～−3℃	±0℃
バーの色の ECO（エコ）表示灯連動	ON（連動） OFF（非連動）	ON（連動）

■ カスタマイズのしかた

エンジンスイッチがIIでセレクトレバーがPのときに、カスタマイズを行うことができます。

1. セレクト/リセットノブを押し続けると、カスタマイズモードに切り換わる。
2. セレクト/リセットノブを押すごとに、カスタマイズ項目が下記のように切り換わる。
► カスタマイズ項目と現在の設定内容が交互に表示されます。



» カスタマイズのしかた

トリップメーターが表示されているときにセレクト/リセットノブを押し、カスタマイズモードに切り換わる前にノブを離すと、トリップメーターがリセットされます。

セレクト/リセットノブを操作せずに約30秒が経過すると、自動的にカスタマイズモードは解除されます。

■外気温表示補正

1.「℃」が表示されているときにセレクト/リセットノブを押し続け、設定したい補正値が表示されたらセレクト/リセットノブを離す。
2. セレクト/リセットノブを離したときの補正値が設定される。

■バーのECO（エコ）表示灯連動/非連動

1.「ECO」が表示されているときにセレクト/リセットノブを押し続けると「ON」（連動）と「OFF」（非連動）が交互に切り換わる。
2. 連動/非連動はセレクト/リセットノブを離したときの表示に設定される。

■カスタマイズモードの終了

1.「End」が表示されているときにセレクト/リセットノブを押し続ける。
2. カスタマイズモードが終了し、通常表示に戻る。

外気温表示補正

外気温表示の補正は、温度が安定してから行ってください。

各部の操作

この章では、運転に必要な各部の操作方法について記載しています。



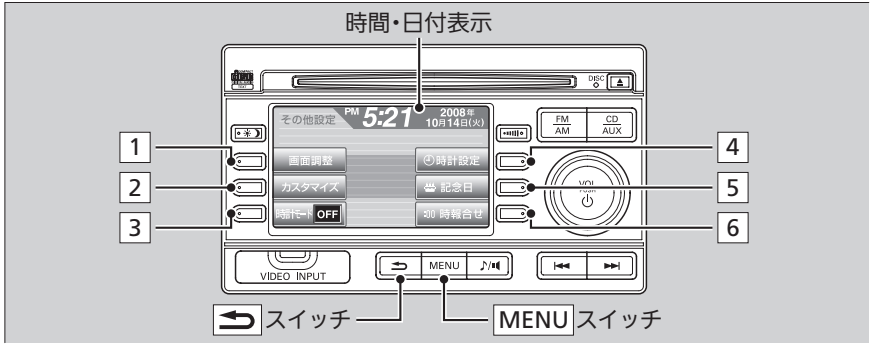
時刻の設定
バックモニター+AM/FMチューナー付CDプレーヤー 66
AM/FMチューナー付CDプレーヤー 67
ドアの施錠と解錠
キーの種類と機能 68
車外でのドアの施錠/解錠 72
車内での施錠/解錠 75
チャイルドプルーフ 75
テールゲートの開閉 76
セキュリティシステム
イモビライザーシステム 78
セキュリティアラームシステム 78
ウィンドーの開閉 80
ハンドルまわりのスイッチ操作
エンジンスイッチ 82
Hondaスマートキー装備車のエンジンスイッチ 83
方向指示器（ウィンカースイッチ） 85
ライトスイッチ 86
フォグライトスイッチ 86
ワイパー/ウォッシャー 87
ヘッドライトレベリングダイヤル 89
リヤデフロスタースイッチ 90
ハンドルの調節 91
ミラー類の調節 92
シートの調節 95
ヘッドレスト 98
アームレスト 99
室内灯/室内装備品 100
エアコン
エアコンの吹き出し口 105
エアクリーンフィルター 106
オートエアコンの使いかた 107
ヒーター・マニュアル式エアコンの使いかた 109
エアコンのお手入れ 113

時刻の設定

時計はオーディオ装置に表示されます。

Hondaインターナビシステム装備車の時計は、人工衛星からの情報を利用していますので、時刻合わせは不要です。

バックモニター+ AM/FM チューナー付 CD プレーヤー*



1. MENUを押す。
► 現在選択中のモードのメニュー画面が表示されます。
2. 6を押して「その他設定」画面を表示させる。
3. 4を押して「時計設定」画面を表示させる。
4. 時刻を合わせる。
時： 1、2 を押す
分： 4、5 を押す
5. 時刻設定が完了し、「その他設定」画面に戻るときは6を押す。
► 続けて日付の設定を行うときは、3を押して「日付設定」画面を表示させる。
6. 4、5を押して、「年」を合わせる。
7. 3スイッチを押して、「月日」を設定する。
月： 1、2 を押す
日： 4、5 を押す
8. 設定が完了したら6押す。(「その他設定」画面に戻る)

バックモニター+ AM/FM チューナー付 CD プレーヤー

時報に合わせて正時に設定するには

左記の操作で、「その他設定」画面で6を押し、「時報合せ」画面が表示されているときに、時報と同時に6を押します。
下記のように表示されている時間に応じた正時に設定されます。
1：00～1：29の場合→1：00に設定
1：30～1：59の場合→2：00に設定

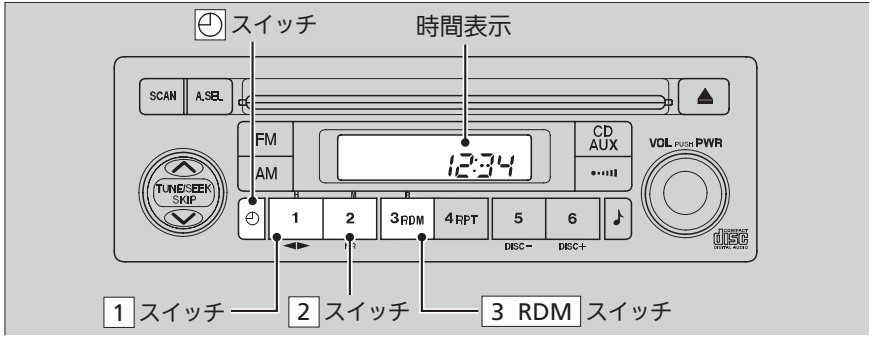
時計表示のON/OFFや時制の切り換え、時計のデザインを変更することができます。

時計表示ON/OFFの設定 P.134
時制の切り換え P.139
時計のデザインを変更する P.139

知識

- 安全上の配慮から、走行中は日付の設定操作はできません。
- 時刻および日付の設定操作中に↩を押すと、前の画面に戻ります。このとき、時刻および日付の設定内容は反映されません。
- 「その他設定」画面が表示されているときや設定操作中にMENUを押すと、設定モードが解除され、メニュー画面に戻ります。

AM/FM チューナー付 CD プレーヤー*



■表示の切り換え

オーディオの電源がONのときに、オーディオ表示から時計表示に切り換えます。

1. ㊀を押すたびに時計表示のON/OFFが切り換わる。

■時刻の設定

1. 時計表示がONのときに、㊀を時計表示が点滅するまで押し続ける。
2. 時刻を合わせる。
時： 1を押す
分： 2を押す
3. ㊀をもう一度押す。

時刻設定が完了しました。表示部に設定した時間が表示されます。

AM/FMチューナー付CDプレーヤー

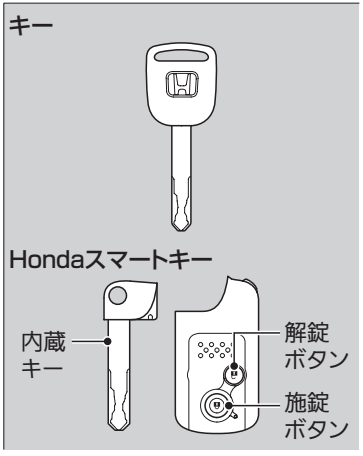
時報に合わせて正時に設定するには

左記の操作で、時間表示が点滅しているときに、時報と同時に3 RDMスイッチを押します。
下記のように表示されている時間に応じた正時に設定されます。
1：00～1：29の場合→1：00に設定
1：30～1：59の場合→2：00に設定

キーの種類と機能

この車には、以下のキーが付いています。キーの組合せは、車両のタイプにより異なります。

■ キー /Honda スマートキー*



エンジンの始動、停止のほかに、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドの施錠・解錠に使用できます。
また、キーについているボタンで、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドの施錠・解錠の操作ができます。

» キー /Honda スマートキー

Honda スマートキーシステム装備車

すべてのキーには、イモビライザーシステムがついています。

イモビライザーシステムは、車両を盗難から守るためのシステムです。

イモビライザーシステム P.78

アドバイス

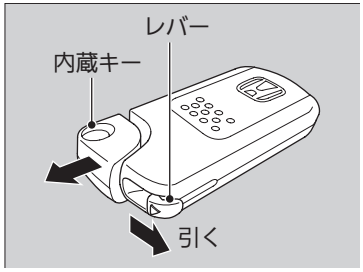
キーには、精密な電子部品が組み込まれています。

故障を防ぐため、下記の点をお守りください。

- 直射日光が当たる場所、高温、多湿の場所に置かない
- キーを落としたり、重いものをのせない
- キーに液体をかけない
- 分解をしない
- 火であぶらない

キーの電子部品が故障すると、エンジンの始動やリモート発信が作動しなくなることがあります。

キーが正常に作動しなくなった場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。



Hondaスマートキーの電池が切れたときや車のバッテリーがあがったときは、内蔵キーを使用してください。
内蔵キーは、レバーを引きながら取り出します。

収納するときは、カチッと音がするまで差し込みます。

Hondaスマートキーの電池の消耗や故障したときのことを考慮して、内蔵キーはHondaスマートキーに収納しておいてください。

キー/Hondaスマートキー

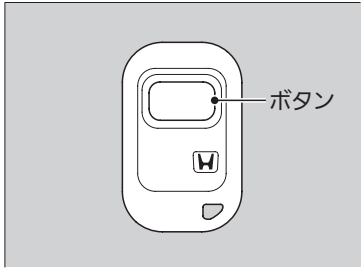
Hondaスマートキーは、特定小電力無線設備の技術基準適合証明を受けています。以下のことをお守りください。

- 日本国内でのみ使用する
- 電池交換時以外は分解しない
- 改造しない
- キーの内部にある技術基準適合表示を故意に消去、改ざんしない

分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。

次ページに続く

■ キーレスエントリー発信器 *



ボタンで、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドの施錠 / 解錠の操作ができます。

キーレスエントリー発信器

キーレスエントリー発信器には、精密な電子部品が組み込まれています。

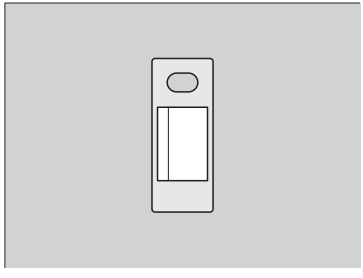
故障を防ぐため、下記の点をお守りください。

- 直射日光が当たる場所、高温、高湿の場所に置かない
- キーを落としたり、重いものをのせない
- キーに液体をかけない
- 分解をしない

キーレスエントリー発信器の電子部品が故障すると、リモート発信が作動しなくなることがあります。

キーが正常に作動しなくなった場合は、Honda販売店で点検を受けてください。

■ キーナンバータグ



キーナンバータグには、キーを購入する際に必要となる番号が記載されています。

キーナンバータグ

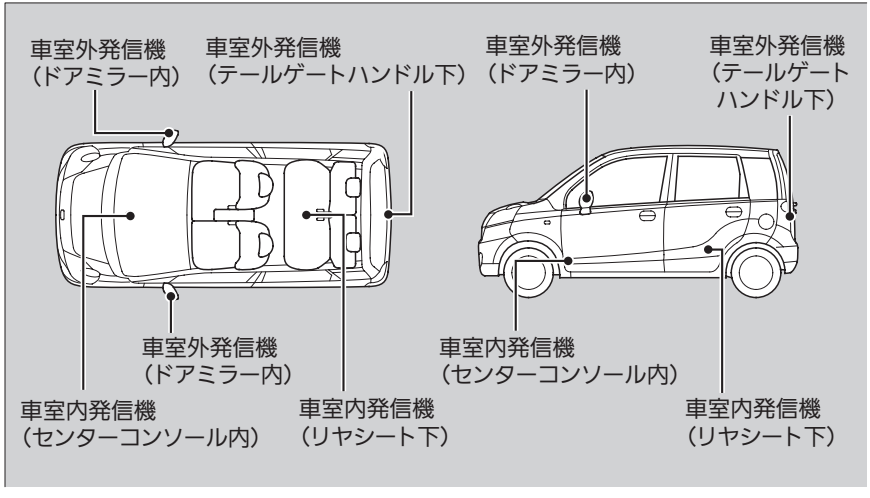
キーナンバータグは、キーとは別に車両以外の場所に大切に保管してください。

キーナンバータグには、キーを購入する際に必要となる番号が記載されています。キーと一緒に保管せず、車両以外の場所に大切に保管してください。キーを紛失したときや、追加購入したいときは、Honda販売店に依頼してください。

Honda スマートキーの微弱電波

Hondaスマートキーを使用してドア、テールゲートの施錠 / 解錠操作をするときやエンジンをかけるとき、Hondaスマートキーとの電子照合を行うために車両から電波が発信されます。
そのため、次のような場合正常に作動しなかったり、不安定な動作となったりすることがあります。

- 近くに強い電波を発する設備があるとき
- 携帯電話や無線機などの通信機器やノートパソコンと一緒にHondaスマートキーを携帯しているとき
- Hondaスマートキーが金属物に触れていたり覆われていたりするとき



⚠注意

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を使用しているかたは、車両に搭載されている発信機から22cm以内に近づかない。

Hondaスマートキーシステムで発信されている電波が、機器の作動に影響を与える可能性があります。医療用電子機器を使用しているかたは、医師や医療用機器製造者に影響を確認してからご使用ください。

知識

Hondaスマートキーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池寿命は、使用状況により異なりますが約2年間です。
また、強い電波を受信し続けると電池を著しく消耗することがあります。テレビやパソコンなどの電化製品の近くには置かないでください。

車外でのドアの施錠 / 解錠

■ キーレスエントリーでの施錠 / 解錠



■施錠

施錠ボタンまたは施錠 / 解錠ボタンを押します。

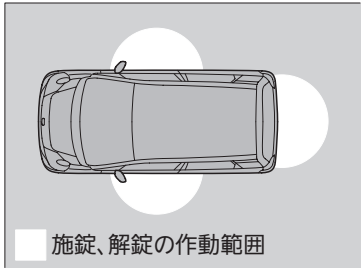
► 非常点滅灯が1回点滅し、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが施錠されます。

■解錠

解錠ボタンまたは施錠 / 解錠ボタンを押します。

► 非常点滅灯が2回点滅し、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが解錠されます。

■ Honda スマートキーでの施錠 / 解錠



Hondaスマートキーを携帯し、ロック/アンロックボタンを操作することでドア、テールゲート、フューエルリッドの施錠や解錠を操作します。

ドア、テールゲート、フューエルリッドの施錠 / 解錠が作動するのは、運転席ドアハンドル、助手席ドアハンドル、テールゲートハンドルから周囲約80cm以内です。

キーレスエントリーでの施錠 / 解錠

30秒以内にドア、テールゲートを開けてください。

キーレスエントリーで解錠操作をした場合、30秒以内にドア、テールゲートを開けないと、再び自動的に施錠されます。

解錠すると、室内灯が点灯します。

室内灯のスイッチがドアと連動する位置にあるとき、解錠すると室内灯が点灯します。

約30秒点灯し、徐々に暗くなります。30秒以内にキーレスエントリーで施錠すると、室内灯はただちに消灯します。

➔室内灯 P.100

キーレスエントリーは微弱電波を使用しているため、周囲の状況により作動範囲が変化することがあります。

次の場合、キーレスエントリーは作動しません。

- エンジンスイッチが 0 以外のとき
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているとき
- ドア、テールゲートが開いているとき（Hondaスマートキーは施錠時のみ）

作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられます。

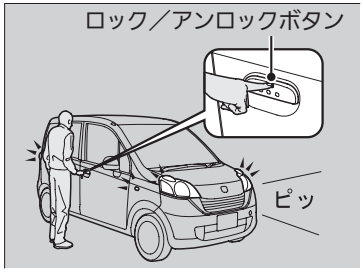
Hondaスマートキーは、ボタンを押したときにインジケーターが点灯しない場合は、電池切れです。

➔電池交換のしかた P.201

Hondaスマートキーでの施錠 / 解錠

30秒以内にドア、テールゲートを開けてください。

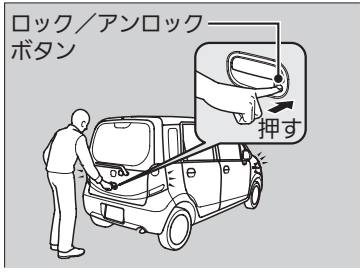
Hondaスマートキーで解錠操作をした場合、30秒以内にドア、テールゲートを開けないと、再び自動的に施錠されます。



■施錠するには

運転席ドア、助手席ドアまたはテールゲートハンドルのロック/アンロックボタンを押します。

▶「ピッ」というアンサーバック音が鳴り非常点滅表示灯が1回点滅し、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが施錠されます。



■解錠するには

運転席ドア、助手席ドアまたはテールゲートハンドルのロック/アンロックボタンを押します。

▶「ピピッ」というアンサーバック音が鳴り非常点滅表示灯が2回点滅し、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが解錠されます。

Hondaスマートキーでの施錠/解錠

知識

- Hondaスマートキーは運転者が携帯し、車内に残したまま降車しないでください。
- 同じ作動範囲にHondaスマートキーを携帯している人がいるときは、携帯していない人でもロック/アンロックボタンで施錠/解錠操作ができます。
- ロック/アンロックボタンを押した直後にドアハンドルまたはテールゲートハンドルを引くと、ドアが開かないことがあります。ボタンをもう一度押し直して、解錠されていることを確認してからドアハンドルまたはテールゲートハンドルを引いてください。
- ドアハンドルまたはテールゲートハンドルより約80cm以内の距離でも、Hondaスマートキーが地面の近くや高い位置にあるときは作動しないことがあります。
- ドアやドアガラス、テールゲートに近づきすぎていると作動しないことがあります。

カスタマイズ機能について

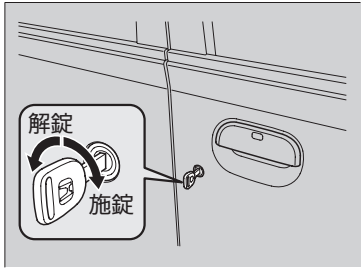
施錠/解錠時に鳴るアンサーバックブザーの設定は、変更することができます。
カスタマイズ機能の詳細はHonda販売店にご相談ください。

カスタマイズ機能	選択できる設定内容
アンサーバックブザー音量	大※、小
アンサーバックブザー作動	作動※、非作動

※工場出荷時の設定

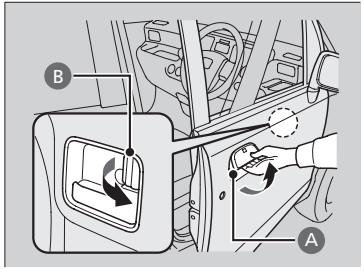
次ページに続く

■ キーを差し込んでの施錠 / 解錠



キーを確実に差し込んで回します。
Hondaスマートキーの場合は、内蔵キーを取り出して操作してください。

■ キーを使わないでの施錠



■運転席のドアの施錠
外側のドアハンドルⒶを引いたまま、ノブⒷを引き出し、ドアハンドルを離してドアを閉めます。

■運転席以外のドアの施錠
ノブを引き出し、ドアを閉めます。

■キー閉じ込み防止装置
キーがエンジンスイッチに差し込まれていると施錠できません。
Hondaスマートキー装備車は、Hondaスマートキーが車内の作動範囲内に置いてあると、施錠できません。

» キーを差し込んでの施錠 / 解錠

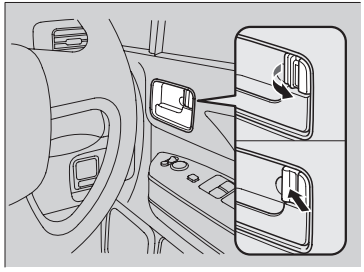
知識
運転席ドアでのキー操作
運転席ドアにキーを差し込んで施錠 / 解錠すると、ほかのすべてのドア、テールゲート、フューエルリッドも同時に施錠 / 解錠されます。

» キーを使わないでの施錠

知識
運転席ドアで施錠すると、
ほかのすべてのドア、テールゲート、フューエルリッドも同時に施錠されます。

キー閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠しましょう。

車内での施錠 / 解錠



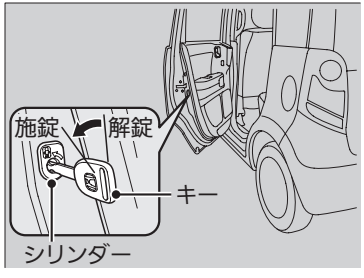
■施錠するには
ノブを引きます。

■解錠するには
ノブを押し込みます。

チャイルドプルーフ

チャイルドプルーフとは、走行中などにお子さまが車外に放り出されることを防止するため、ノブの位置に関係なく、後席ドアを車内から開けることができないようにする機能です。
お子さまをリヤシートに乗せるときなどにお使いください。

■ チャイルドプルーフのセット



後席ドアに付いているシリンダーにキーを差し込み、施錠の位置に回してドアを閉めます。

■ ドアを開ける場合
外側のハンドルで開けます。

» 車内での施錠 / 解錠

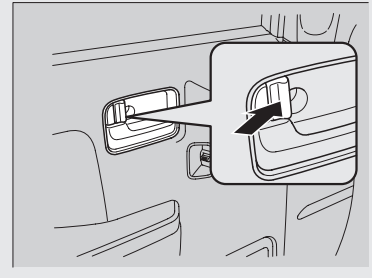
知識

運転席ドアのノブで施錠 / 解錠すると、ほかのすべてのドア、テールゲート、フューエルリッドも同時に施錠 / 解錠されます。

» チャイルドプルーフ

知識

チャイルドプルーフセット時に車内から開けたい場合は、ノブを解錠状態にして後席ウィンドーを下げ、窓から手を出して外側のドアハンドルを引いてください。



テールゲート開閉時の注意

テールゲート開閉をするときは、下記の点に注意してください。

■テールゲートを開けているとき

- テールゲートは上までしっかりと開ける。
  ► 途中までしか開けていないと、自重で閉まることがあります。
- 風の強い日は、風にあおられて閉まらないように注意する。
- テールゲートを開けたまま走行しない。
  ► 車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

■テールゲート閉めるとき

- Hondaスマートキーやキーを、カーゴスペース内に置き忘れないように注意する。

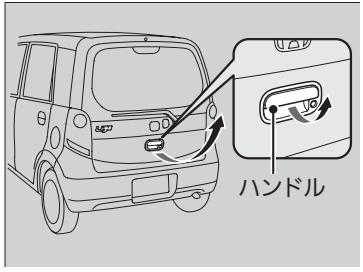
» テールゲート開閉時の注意

⚠注意

テールゲートを閉めるときは、頭をぶつけたり手をはさまないよう注意する。

エンジンをかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後方に立たないようにする。
やけどなどの思わぬけがをすることがあります。

テールゲートを開ける



解錠されているときに、ハンドルを引き上げます。

テールゲートを開ける

施錠されているときにHondaスマートキーを携帯してテールゲートハンドルのロック/アンロックボタン押すと、解錠します。

Hondaスマートキーでの施錠/解錠 P.72

運転席ドアを施錠したあとに、テールゲートを閉めると施錠されます。

イモビライザーシステム*

イモビライザーシステムとは、キーに信号を発信する電子部品が組み込まれてあり、あらかじめ登録されたキーでないとエンジンの始動ができないようにしたシステムです。

イモビライザーシステムでは、車両とキーの電子照合を行うときに微弱な電波を使用します。エンジンスイッチにキーを差し込むときは、下記の点に注意してください。

- エンジンスイッチの近くに強い電波を発するものを近づけない
- キーを金属に触れさせたり、覆ったりしない
- ほかの車両のイモビライザーシステムのキーを近づけない
- 磁気を帯びたキーホルダーなどを付けたり、テレビ、オーディオなど磁気を帯びた機器の近くに置いたりしない

セキュリティアラームシステム*

セキュリティアラームシステムは、キー、キーレスエントリーまたはHondaスマートキーを使わずにドア、テールゲート、ボンネットを開けると、警報装置が作動するシステムです。

■作動すると

ホーンが断続的に鳴り、非常点滅表示灯がすべて点滅します。

■停止させるには

キー、キーレスエントリーまたはHondaスマートキーで解錠してください。システムが停止し、ホーンと点滅も停止します。

» イモビライザーシステム

アドバイス

システムを改造したりしないでください。

エンジンシステムが故障するおそれがあります。

» セキュリティアラームシステム

知識

警報装置はセキュリティアラームシステムを停止させるまで、最大５分間作動します。

ホーンおよび非常点滅表示灯は、1回の作動につき約30秒間作動し、その警報作動が最大10回行われます。

■セットするには

セキュリティアラームシステムは、以下の条件が整うと自動的にセットされます。

- エンジンスイッチを 0 にして、キーを抜く(Hondaスマートキーの場合はプッシュオフにする)
- ボンネットが閉まっている
- キー、キーレスエントリーまたはHondaスマートキーで、すべてのドアとテールゲートが施錠されている

■セットされると

メーター内にある作動表示灯が点滅し、約15秒後に点滅間隔が変わり、セキュリティアラームシステムがセットされます。

■セットを解除するには

キー、キーレスエントリーまたはHondaスマートキーで解錠すると、セットは解除されます。同時に作動表示灯が消灯します。

セキュリティアラームシステム

知識

車内に人が乗っているときやウィンドーが開いているときでも、セキュリティアラームシステムは作動します。警報装置の思わぬ作動を防ぐために、人が乗っていたりウィンドーが開いているときには、セキュリティアラームシステムをセットしないでください。

セキュリティアラームシステムをセットした後にバッテリーがあがり、バッテリーの充電、交換をすると、警報装置が作動することがあります。

そのときは、キーレスエントリー、Hondaスマートキーまたはキーでドアを解錠し、セキュリティアラームシステムを解除してください。

パワーウィンドーの開閉

パワーウィンドーの開閉操作は、エンジンスイッチがIIのときに行うことができます。開閉はそれぞれのドアにあるスイッチで行います。運転席のスイッチでは、すべてのウィンドーの開閉操作を行うことができます。
運転席以外のウィンドーの開閉は、運転席のメインスイッチをONにしてから行います。メインスイッチをOFFにしておくと、運転席以外のウィンドーは作動しません。お子さまを乗せているときなどは、メインスイッチをOFFにしておいてください。

■ 自動開閉機能付きのウィンドーの開閉



■手動開閉
開けるとき：スイッチを軽く押す
閉めるとき：スイッチを軽く引き上げる
希望の位置で手を離すことで、窓の開閉を調節します。

■自動開閉
開けるとき：スイッチを強く押す
閉めるとき：スイッチを強く引き上げる
自動的に全開/全閉します。途中で止めるには、スイッチを軽く上げ/下げします。

パワーウィンドーの開閉

⚠警告

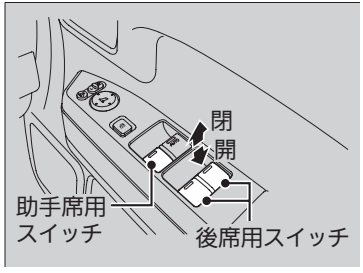
パワーウィンドーを閉めるときは、同乗者が窓から手や顔などを出していないことを確認する。
手や顔などをパワーウィンドーにはさむと、重大な傷害を負うおそれがあります。
特にお子さまには気をつけてください。

自動開閉機能付きのパワーウィンドーを自動で閉めているときに障害物を検知すると、はさみ込み防止機構によりウィンドーの動きが逆転し止まります。

⚠注意

指などをはさみ込まないように注意する。
確実に閉めるため、閉め切る直前の部分に、はさみ込みを検知しないエリアがあります。

■ 自動開閉機能なしのウィンドーの開閉





開けるとき：スイッチを押す
閉めるとき：スイッチを引き上げる
希望の位置で手を離すことで、窓の開閉を調節します。

パワーウィンドーの開閉

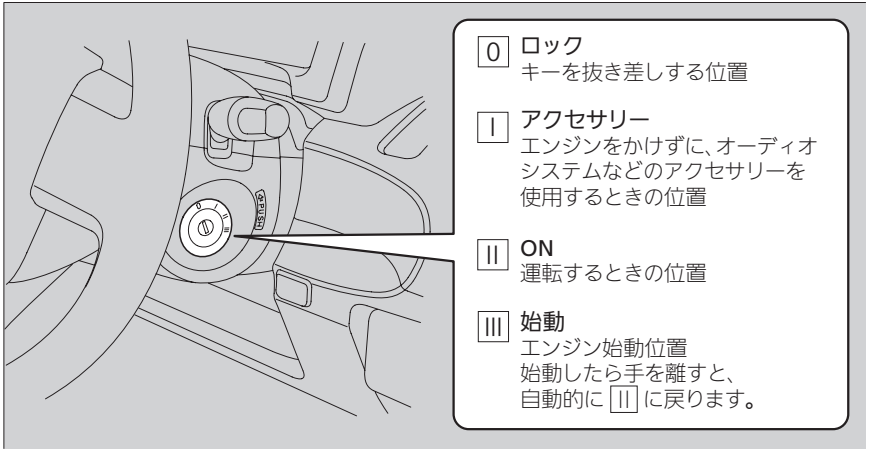
知識

故障などではさみ込み防止機構が作動し、自動でウィンドーを閉めることができなくなったときは、スイッチを軽く引き上げ続けると閉めることができます。
路面や走行条件による衝撃などで、はさみ込み防止機構が作動することがあります。

お子さまが同乗している場合、ウィンドーを開閉できないよう、メインスイッチをOFFにしてください。
メインスイッチをOFFにすると、それぞれのウィンドーの開閉スイッチでの操作ができなくなります。

後席(左、右)のウィンドーは、全開しません。

エンジンスイッチ



0 ロック
キーを抜き差しする位置

I アクセサリー
エンジンをかけずに、オーディオシステムなどのアクセサリーを使用するときの位置

II ON
運転するときの位置

III 始動
エンジン始動位置
始動したら手を離すと、自動的に II に戻ります。

エンジンスイッチ

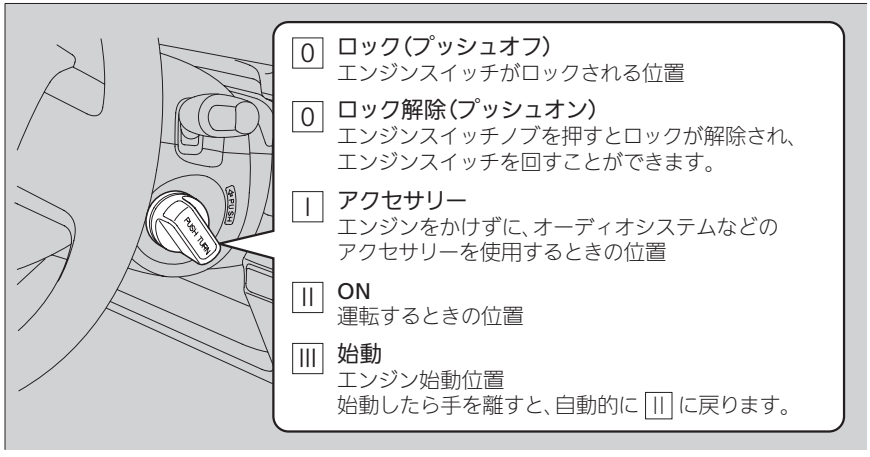
エンジンスイッチが 0 または I のときにキーを差し込んだまま運転席ドアを開けると、キー抜き忘れ警告ブザーが鳴ります。
キーを抜いてください。ブザー音が止まります。

エンジンスイッチが 0 から I に回らないときは、ハンドルロックを解除します。
ハンドルを左右に回しながらキーを回してください。ハンドルロックが解除され、キーが回ります。

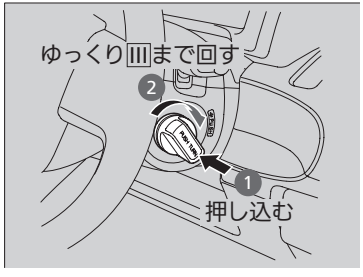
知識

セレクトレバーを P に入れないとキーを抜くことができません。

Honda スマートキー装備車のエンジンスイッチ*



■ 始動方法



Hondaスマートキーの携帯を確認します。

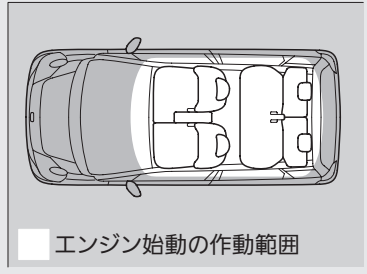
1. エンジンスイッチノブを押す。
▶ エンジンスイッチのロックが解除されると、「ピッ」とブザーが鳴ります。

2. エンジンスイッチを、ゆっくりとIIIの位置まで回す。

始動方法

知識

エンジン始動の機能が作動する範囲は、インストルメントパネル上、カーゴスペースやグローブボックス、ドアポケットなどの各種小物入れを除く車内です。



Hondaスマートキーが車外にあっても、ドアやドアガラスに近づきすぎていると、エンジンの始動ができることがあります。

エンジンスイッチが0からIに回らないときは、ハンドルロックを解除します。
ハンドルを左右に回しながらエンジンスイッチノブを押して回してください。ハンドルロックが解除され、エンジンスイッチノブが回ります。

Hondaスマートキーが作動不良の場合は、内蔵キーを使って始動します。
内蔵キーの差し込みかた P.219

次ページに続く

■ エンジン停止操作の方法

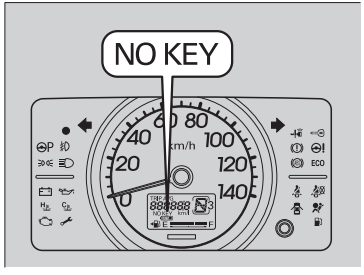
1. セレクトレバーを P に入れる。
2. エンジンスイッチノブを、ゆっくりと 0 まで回す。
▶ エンジンスイッチを 0 （プッシュオフ）にすると、ハンドルがロックされます。

■ エンジンスイッチ警告ブザー

次の状態で車を離れようとして運転席ドアを開けた場合、警告ブザーが鳴ります。

- エンジンスイッチが I のとき
- エンジンスイッチが 0 で、エンジンスイッチノブを押し込んでいるとき

■ Honda スマートキー持ち去り警告



警告ブザーには、車内警告ブザー（ピーッピーッピーッピーッピーッピーッ）と車外警告ブザー（ピピピピピピ）の2種類があります。
警告状態が続くときは、Honda スマートキーの携帯位置を変更してください。

■エンジンスイッチが II のとき
Honda スマートキーを車外に持ち出しドアを閉めると、メーター内に警告を表示するとともに、車内警告ブザーと車外警告ブザーが鳴ります。

■エンジンスイッチが I または 0 （プッシュオン）のとき
Honda スマートキーを車外に持ち出しドアを閉めると、車外警告ブザーが鳴ります。

エンジン停止操作の方法

車から離れるときは、エンジンスイッチを 0 にしてください。

知識

エンジンスイッチが 0 以外では、Honda スマートキーで施錠できません。

Honda スマートキー持ち去り警告

エンジン始動の作動範囲内に Honda スマートキーを戻してドアを閉めると、警告が解除されます。

知識

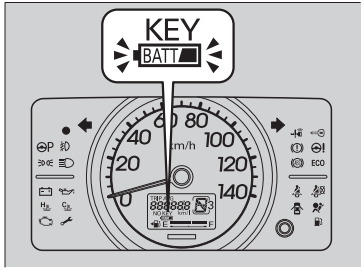
Honda スマートキーを、インストルメントパネル、グローブボックスなどに置いた場合、電波状態により警告ブザーが鳴ることがあります。

Honda スマートキーを持ち出した状態で、エンジンスイッチを 0 にすると、エンジンスイッチの操作ができなくなります。
エンジンスイッチを操作するときは、Honda スマートキーを持っていることを確認してください。

窓からの受け渡しでは、Honda スマートキー持ち去り警告は作動しません。

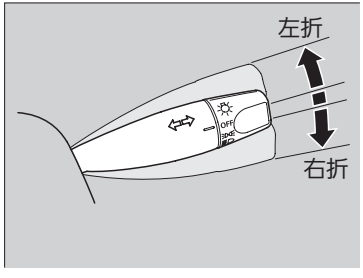
Honda スマートキーがエンジン始動の作動範囲内にあっても、周囲の環境や電波状態により Honda スマートキー持ち去り警告が行われることがあります。
故障ではありませんので、Honda スマートキーを持っていることを確認してください。

■ Honda スマートキー電池消耗警告



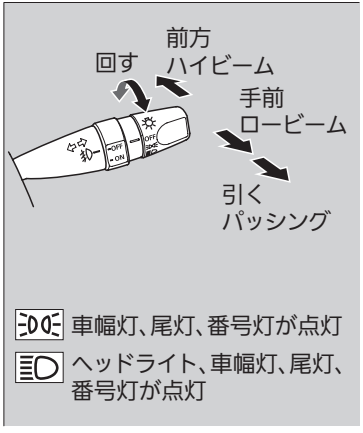
電池残量が少なくなったときに、警告音を鳴らし、メーター内に警告を表示します。
早めに電池交換を行ってください。
➡**電池交換のしかた** P.201

方向指示器（ウィンカースイッチ）



エンジンスイッチが II のときに使用できます。

ライトスイッチ



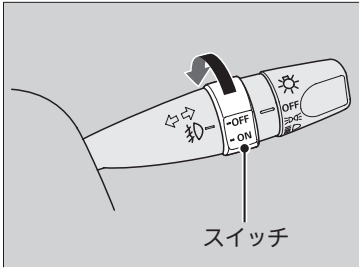
スイッチを回すとエンジンスイッチの位置に関係なく、点灯・消灯します。

■ハイビーム
カチッと音がするまでレバーを前方に押します。

■ロービーム
ハイビームのとき、レバーを手前に引きます。

■追越合図（パッシング）
レバーを手前に引き、離します。

フォグライトスイッチ*



ライトスイッチがOFF以外のときに、フォグライトスイッチを回して点灯することができます。

ライトスイッチ

ライトを点灯したままキーを抜く / プッシュオフにすると、運転席のドアを開けたときにライト消し忘れ警告ブザーが鳴ります。

ライト類が点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。
メーターにライト点灯の表示マークが出ます。
➔**表示灯** P.56

知識
ディスチャージヘッドライト*の電球は、点灯、消灯を繰り返すと電球の寿命が短くなる特性があります。

エンジンが止まっているときにライト類を点灯したままにしていると、バッテリーあがりの原因となります。

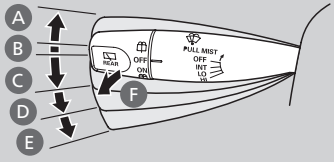
フォグライトスイッチ

フォグライトが点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。
➔**表示灯** P.56

ワイパー / ウォッシャー

エンジンスイッチが II のときに使用できます。

■ フロントワイパー / ウォッシャー



- A MIST:(レバーを操作している間作動)
- B OFF:停止
- C INT:間欠(雨量が少ないとき)
- D LO:低速(普通の雨量のとき)
- E HI:高速(雨量が多いとき)
- F ウォッシャー

■MIST

レバーを押し上げている間、作動します。
霧や小雨のときに使用します。

■ワイパースイッチ(OFF、INT、LO、HI)

雨量に応じてワイパースイッチを切り換えて使用します。

■ウォッシャースイッチ

レバーを手前に引くと、ウォッシャー液が噴射します。
レバーを引いている間はワイパーが作動し、レバーを離すと数回ワイパーが作動して止まります。

ワイパー/ウォッシャー

⚠注意

寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射させない。
ウォッシャー液が凍りついて視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

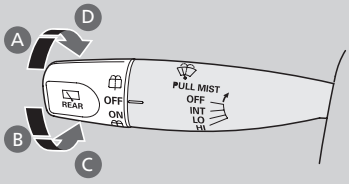
ワイパーを乾拭きさせないでください。
ガラスが傷付いたりブレードラバーを傷めたりします。

ウォッシャー液が出ないときは、スイッチを切ってください。
ポンプ故障の原因となります。

寒冷時、凍結によりワイパーブレードがガラスに張りつくことがあります。
ワイパー故障の原因となりますので、デフロスターでフロントガラスを暖めてから、ワイパーを作動させてください。

次ページに続く

■ リヤワイパー / ウォッシャー*



Ⓐ ON:作動
Ⓑ OFF:停止
Ⓒ ⛲:ウォッシャーのみ作動
Ⓓ ⛲:ワイパーと
ウォッシャーが作動

■リヤワイパースイッチ

エンジンスイッチが II のときに使用できます。

■ウォッシャースイッチ

スイッチを ⛲ まで回すと、ウォッシャー液が噴射します。

Ⓒまで回している間はウォッシャーのみが作動します。

Ⓓまで回している間はワイパーとウォッシャーが作動し、スイッチを離すとそのままワイパーが連続作動します。

ワイパー/ウォッシャー

知識

ワイパー作動中に雪などがたまりワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してください。

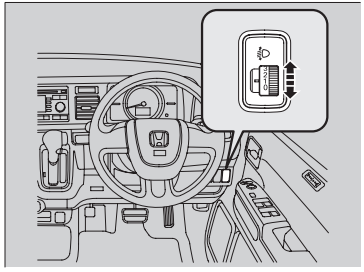
ワイパースイッチをOFF、エンジンスイッチを I または 0 にしてから、ワイパーが作動できるように障害物を取り除いてください。

ワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。

ワイパーモーターの負荷が大きい状態が続いたときなどは、ブレーカーが作動し一時的にワイパーが停止することがあります。

数分経過すると、ブレーカーが復帰し、通常通り使用できるようになります。

ヘッドライトレベリングダイヤル*



エンジンスイッチがIIのとき、ヘッドライトの照らす方向（光軸）を下向きに調節することができます。

ダイヤルの数字が大きいほど光軸は下向きになります。

■ダイヤル位置の目安

乗員の人数や荷物の量に応じて、下表を目安にダイヤル位置を選択してください。

乗員やカーゴスペースの積載状況	ダイヤル位置
運転席のみ乗車時 運転席と助手席に乗車時	0
4名乗車時	1
4名乗車時でカーゴスペース満載時	2
運転席のみ乗車でカーゴスペース満載時	3

ヘッドライトレベリングダイヤル

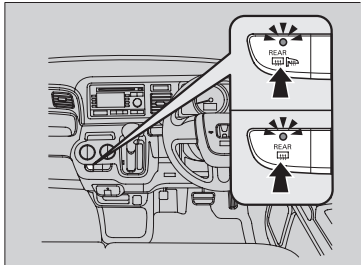
車検などで光軸調節をするときは、ダイヤルを0の位置に戻してから行ってください。

ディスチャージヘッドライト装備車

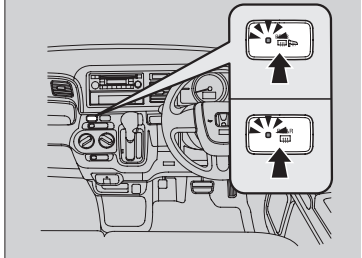
重い荷物の積載時など、車両の姿勢の変化に応じてヘッドライト光軸の上下方向を自動的に調整するオートレベリング機能が付いています。

ヘッドライト光 軸の異 常を感じたときは、Honda販売店で点検を受けてください。

リヤデフロスタースイッチ



オートエアコン装備車



マニュアルエアコン装備車

エンジンスイッチが II のときに、リヤガラスを暖め、曇りをとりたいときに使用します。

スイッチを押すと、リヤデフロスターがONになります。

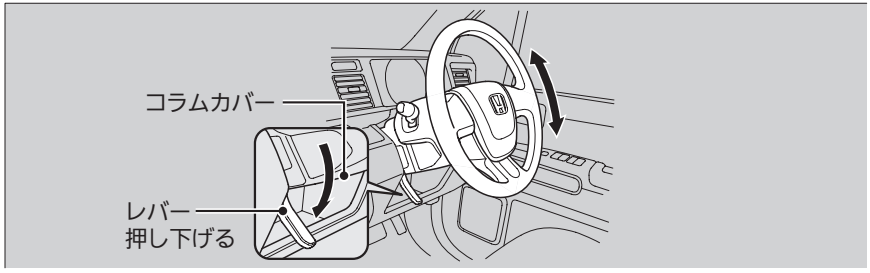
リヤデフロスタースイッチ

リヤガラスの内側を清掃するときは、電熱線を傷付けないよう注意してください。
必ず、デフロスターの電熱線とアンテナ線に沿って左右方向に拭いてください。

この装置は消費電力が大きいので、曇りが取れたらOFFにしてください。
また、エンジンの回転数が低いときに長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

ハンドルの調節 *

適切な運転姿勢で無理なくハンドルを握れるように、ハンドルの位置を調節することができます。



1. ハンドル位置調節レバーを押し下げる。
▶ ハンドル位置調節レバーは、ステアリングコラムの左側にあります。
2. ハンドルの高さを調節する。
▶ 調節した位置で、メーターや表示灯が見えることを確認してください。
3. ハンドル位置調節レバーを引き上げ、ハンドルを固定する。

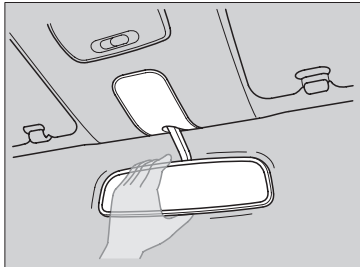
ハンドルの調節

⚠注意

走行中にハンドル位置を調節しない。
走行中に調節すると、ハンドル位置が動き、正確なハンドル操作ができないことがあり、衝突して重大な傷害を負うおそれがあります。ハンドルの調節は、必ず停車中に行ってください。

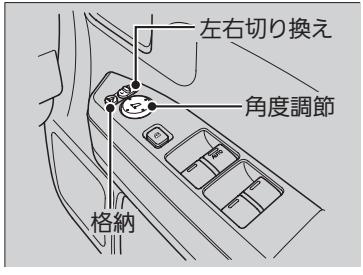
位置調節後、ハンドルに上下方向の力を加え、ハンドルがしっかり固定されていることを確認してください。

ルームミラー



ルームミラーの角度は、正しい運転姿勢ですわった位置でミラーを調節してください。

ドアミラー



	格納スイッチの状態	ミラーの状態
ON		
OFF		

電動格納ドアミラー装備車

ドアミラーの操作は、エンジンスイッチが II のときに行います。

■角度調節

左右切り換えスイッチ: 右か左を選択するスイッチです。角度調節後、中央の位置に戻します。

角度調節スイッチ: 上下左右に鏡面を動かすスイッチです。

■格納

格納スイッチを押すごとにONとOFFが切り換わります。

» ミラー類の調節

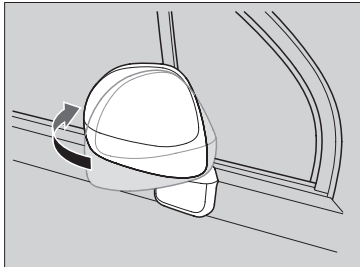
知識

ミラー類の調節は走行前に行ってください。

» ドアミラー

鏡面は、手で調節することもできます。
直接鏡面を動かして、調節します。

エンジンスイッチが 0 または I のときは、手動で格納、開放をすることもできます。



電動格納ドアミラー非装備車

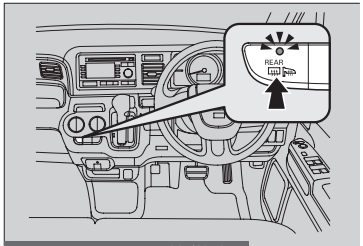
■角度調節

鏡面は、手で直接調節します。

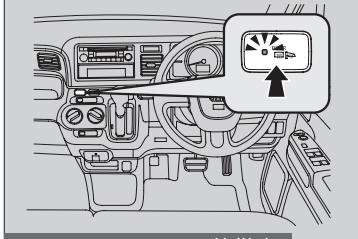
■格納

ミラーを車両後方に折りたたみます。
走行するときは必ず元に戻してください。

■ヒーテッドドアミラー*



オートエアコン装備車



マニュアルエアコン装備車

エンジンスイッチがIIのときに使用できます。
スイッチを押すと表示灯が点灯し、ドアミラーが暖められ曇りが取れます。

次ページに続く

» ヒーテッドドアミラー

ヒーテッドドアミラーはリヤガラスの曇り取りと同時に作動します。

➡**リヤデフロスター** P.90

エンジンの回転が低いときに長時間使わないでください。

この装置は消費電力が大きいため、エンジンの回転が低い状態で長時間使用するとバッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

■ アクアクリーンミラー*

雨天時の視認性向上のため、ミラー表面に付着した雨滴を膜のように広げる親水効果を持つコーティングを施しています。

■親水効果の回復

ミラー表面に汚れなどが付着して親水効果が低くなったときは、以下の手順を行うことにより効果が回復します。

1. ミラー表面を水洗いし、汚れを落とす。

2. 水を含ませたきれいな布で拭き取る。

▶ 汚れが落ちない場合は純正ガラスクリーナーや家庭用中性洗剤を使用して洗浄後、十分な水で洗い流してください。

3. 5～9時間ほどミラー表面に太陽光を当てる。

アクアクリーンミラー

アドバイス

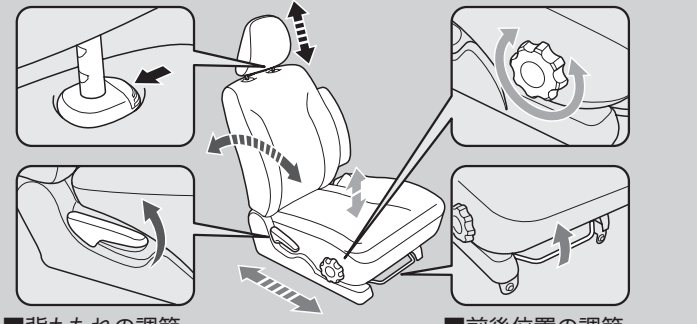
ミラーの親水効果が失われますので、以下の点にご注意ください。

- ミラー表面に撥水剤やワックスを付着させない
- 砂の付いた布や油膜取り剤(コンパウンドなど)でミラー表面をこすらない

フロントシート

運転者は、正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。
正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドル操作が楽にできる姿勢をいいます。

■ フロントシート / ヘッドレストの動かしかた



» フロントシート / ヘッドレストの動かしかた

知識

フロントシートは、エアバッグからなるべく離れた位置に調節してください。

同乗者もシートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。

⚠注意

走行中にシートの調節はしない。
走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行前に行い、確実に固定されていることを確認してください。

シートを操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意する。

フロントシートの下にものを置かない。
ものがはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

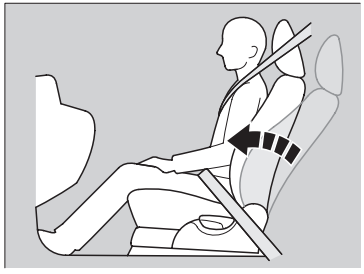
次ページに続く

■ フロントシートの調節



■シート位置の調節

運転者とハンドルとの間に十分な距離をとれるように、シートをできるだけ後ろに下げます。
助手席の同乗者のシートも同様に、ダッシュボードのSRSエアバッグからできるだけ離れた位置までシートを下げます。
シートの位置を調節したら、シートを前後に揺すり、固定されていることを確認します。



■背もたれ角度の調節

シートに深く腰かけ、楽な姿勢ですわれるように背もたれを起こし調節します。
助手席の同乗者のシートも同様に、楽な姿勢ですわれるように背もたれ角度を調節します。

フロントシートの調節

⚠警告

SRSエアバッグからできるだけ離れた位置までシートを下げる。
ハンドルやダッシュボードに近づきすぎると、フロントエアバッグが膨らむ際に重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。

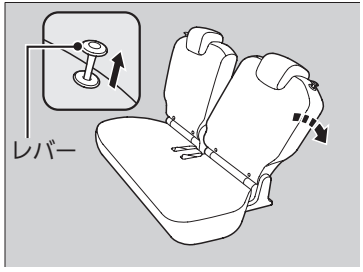
背もたれを必要以上に倒さない。
背もたれを必要以上に倒すと、衝突したときに重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。

⚠注意

背もたれと背中の間にクッションなどを入れない。
正しい運転姿勢がとれません。また、シートベルトなどの効果が十分に発揮されません。

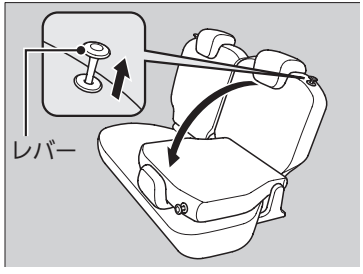
リヤシート

■ 背もたれの調節



背もたれは、左右別々に調節することができます。
レバーを引いて、背もたれの角度を調節します。

■ 背もたれの倒しかた



背もたれは、左右別々に倒すことができます。
レバーを引いて、背もたれを前に倒します。

シートを元に戻したら、シートを前後に揺すり、固定されていることを確認します。

リヤシート

⚠警告

背もたれを必要以上に倒さない。
背もたれを必要以上に倒すと、衝突したときに重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。

⚠注意

走行中にシートの調節はしない。
走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行前に行い、確実に固定されていることを確認してください。

シートを操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意する。

ヘッドレスト

■ フロントシートヘッドレストの調節



後頭部の中心が、ヘッドレストの中心に来るようにヘッドレストの高さを調節します。

高くするとき：ヘッドレストを引き上げます。
低くするとき：ノブを押しながら下げます。

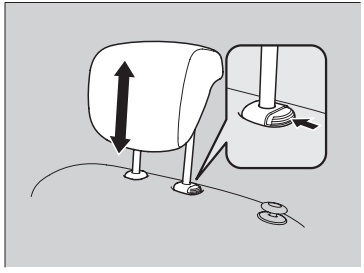
フロントシートヘッドレストの調節

⚠警告

ヘッドレストは必ず正しい位置に調節する。
ヘッドレストの高さが適切でないと、ヘッドレストの効果が低くなり、衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

ヘッドレストを外した状態で走行しない。
衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

■ リヤシートヘッドレストの位置変更



乗車するときは、走行する前にヘッドレストを引き上げて、確実に固定します。

高くするとき：ヘッドレストを引き上げます。
低くするとき：ノブを押しながら下げます。

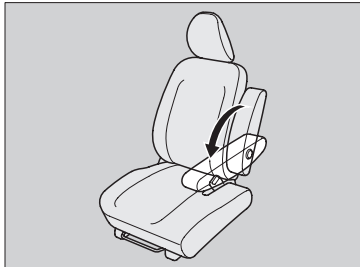
リヤシートヘッドレストの位置変更

⚠警告

ヘッドレストを下げた状態で走行しない。
衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

アームレスト*

■ フロントシートアームレストの操作



前に倒して使います。

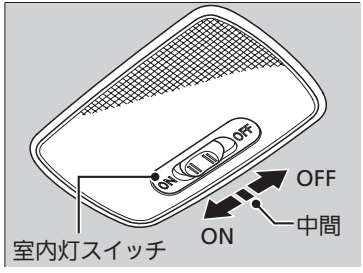
アームレスト

⚠注意

シートベルト着用時にアームレストに引っかけない。
万一のときにシートベルトの機能が発揮できず、重大な傷害を負うおそれがあります。

室内灯

■ 室内灯スイッチ



室内灯の点灯と消灯の切り換えは、以下のようになります。

ON	ドア、テールゲートの開閉に関係なく室内灯を点灯
中間 （ドア連動）	以下のときに室内灯を点灯 ・ いずれかのドアまたはテールゲートを開けたとき ・ エンジンスイッチからキーを抜いたとき ・ Hondaスマートキー装備車は、エンジンスイッチを 0 （プッシュオフ）にしたとき ・ キー、キーレスエントリーまたはHondaスマートキーで運転席ドアを解錠したとき
OFF	ドア、テールゲートの開閉に関係なく室内灯を消灯

» 室内灯

知識

室内灯は、ドアを閉めると約30秒後に消灯します。

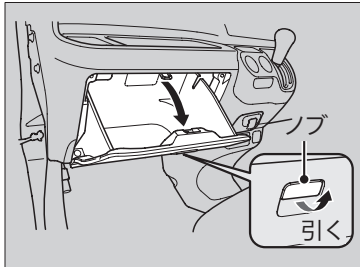
以下の操作を行うと室内灯はすぐに消灯します。

- 運転席ドアを施錠したとき
- エンジンスイッチにキーが差し込まれた状態でドア、テールゲートを閉めたとき
- Hondaスマートキーを使っているときは、エンジンスイッチが 0 （プッシュオフ）以外の状態でドア、テールゲートを閉めたとき
- エンジンスイッチを II にしたとき

キーが差し込まれていない状態、Hondaスマートキーシステム装備車の場合はエンジンスイッチが 0 （プッシュオフ）のときにいずれかのドアを開けたままにすると、約15分後に消灯します。

室内装備品

■ グローブボックス



ノブを引くと開きます。

■ カップホルダー



■ フロントシート用カップホルダー

グローブボックス

⚠警告

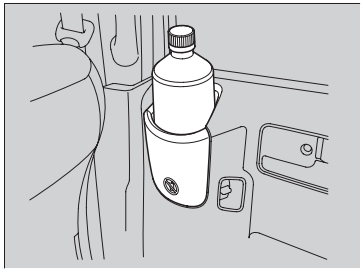
走行中は必ずグローブボックスを閉める。
グローブボックスが開いていると、衝突したときに同乗者が重大な傷害を負うおそれがあります。

カップホルダー

⚠注意

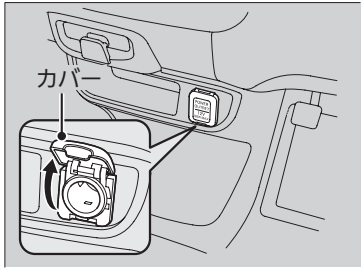
飲みものなどを電装品にこぼさないように注意する。
スイッチなどの電装品に飲みものがかかると故障の原因となったり車両火災につながったりするおそれがあります。

次ページに続く



■ リヤシート用カップホルダー

■ アクセサリーソケット



エンジンスイッチが I または II のときに使用できます。

カバーを開けて使います。

» カップホルダー

お手入れはやわらかい布で拭き取ります。

» アクセサリーソケット

Honda純正の電気製品の電源を取り出すのに使用します。
消費電力120W（10A）以下のアクセサリーに、直流12Vの電源を供給します。

アドバイス

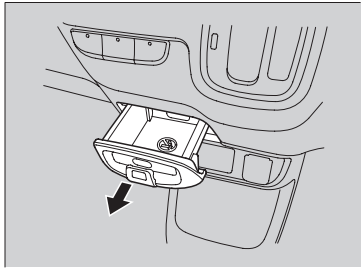
Honda純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。
バッテリーあがりやアクセサリーソケットの破損の原因となります。

シガレットライターは差し込まないでください。
発熱するおそれがあります。

知識

バッテリーあがりを防ぐため、エンジンがかかっている状態でご使用ください。

■ ユーティリティボックス*



引き出して使います。

ユーティリティボックス

⚠注意

灰皿として使用しない。
灰皿として使用すると、タバコなどの火により、車両火災につながるおそれがあります。

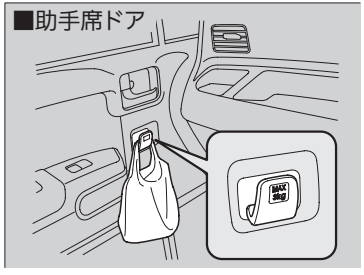
次ページに続く

■ コンビニフック

■センターパネル



■助手席ドア



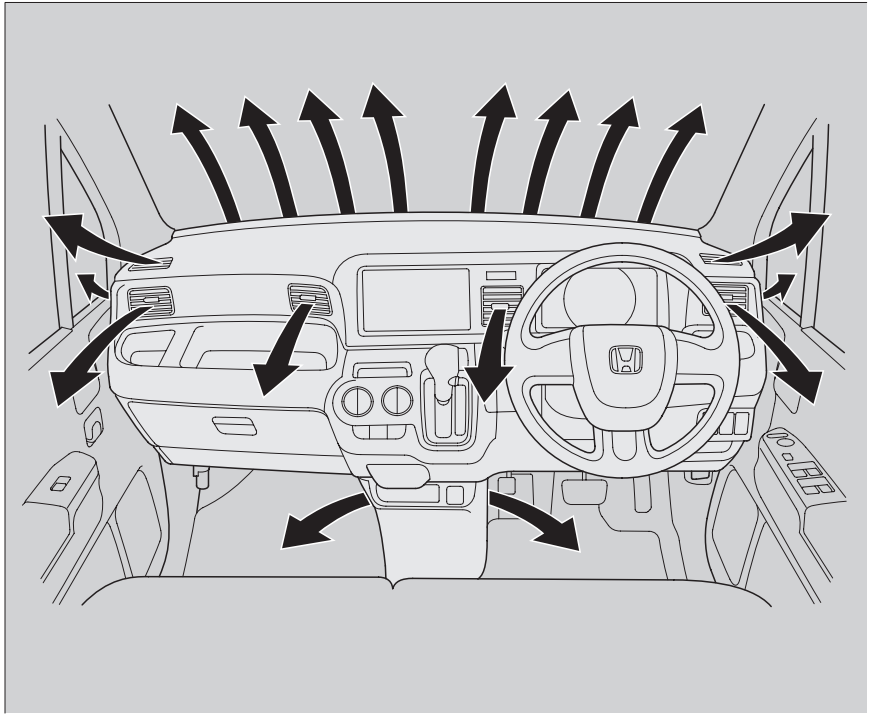
軽い荷物をかけることができます。

コンビニフック

アドバイス

コンビニフックが破損するおそれがありますので、重いもの（約3kg以上）や大きなものをかけないでください。

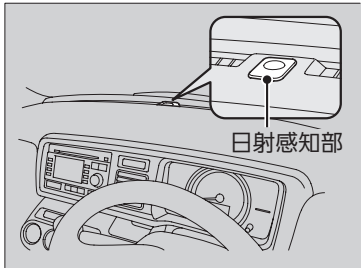
エアコンの吹き出し口

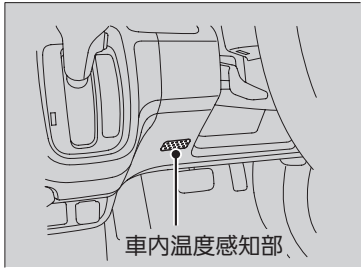


エアクリーンフィルター*

空気中の花粉・ちり・ほこり・粉じんなどを集じんし、アレルゲンを処理、排気ガス臭も低減するエアクリーンフィルターが取り付けられています。
エアクリーンフィルターは、通常1年または15,000kmごとに交換してください。粉じんなどの多い場所で使用される場合は、早めの交換をおすすめします。
エアクリーンフィルターの交換 P.113

オートエアコンのセンサー*





オートエアコンには、センサー(日射感知部、車内温度感知部)が付いています。センサーの上にものを置いたり、水をかけたりしないでください。

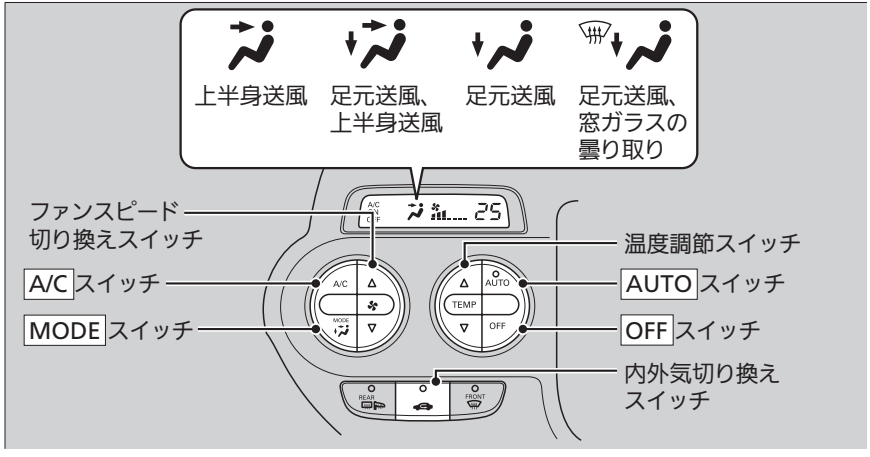
エアクリーンフィルター

エアクリーンフィルターの交換時期は、グローブボックスの内側に記載されています。

芳香剤を使用すると脱臭効果が弱くなり、脱臭寿命が短くなることがあります。

エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときは、フィルターの目詰まりが考えられます。フィルターを交換してください。

オートエアコンの使いかた*



エンジンをかけた状態で使用します。

1. AUTO を押す。

2. 温度調節スイッチで温度を調節する。

3. 停止するときは、 OFF を押す。

■内気/外気の切り換え

状況に合わせて を押して、内気/外気を切り換えてください。

- 内気（表示灯点灯）：トンネルや渋滞などで、汚れた空気を車内に入れたくない場合
- 外気（表示灯消灯）：換気を行う場合

■除湿暖房

暖房中に A/C を押すと、除湿暖房となります。

次ページに続く

オートエアコンの使いかた

オート（AUTO）で使用中いずれかのスイッチを押すと、押したスイッチの機能が優先されます。
このとき AUTO の表示灯は消灯しますが、押したスイッチ以外の機能は自動制御されます。

外気温が低いときは、冷風の吹き出しを防ぐため、 AUTO を押してもすぐにファンが回転しないことがあります。

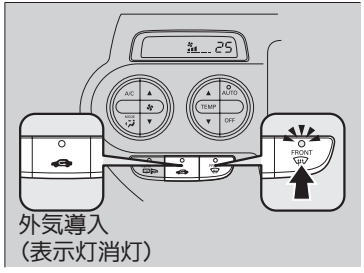
希望温度に設定したら、温度調節スイッチをむやみに操作しないでください。
設定温度への到達時間が長くなることがあります。

長時間、冷風を体に当てないでください。
冷やしすぎは、健康上良くありません。

炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を追い出しながら、冷房を開始してください。

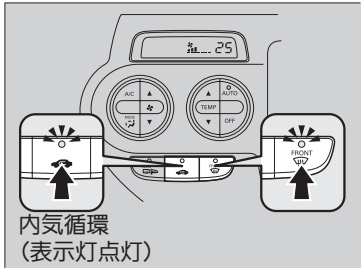
設定温度表示で「LO」は最大冷房を、「HI」は最大暖房を示します。

■ 前面・側面ガラスの曇り止め (デフロスター) の使いかた



外気導入
(表示灯消灯)

FRONTを押すとエアコンが作動し、自動的に外気導入に切り換わります。



内気循環
(表示灯点灯)

■急速に霜を取りたいとき

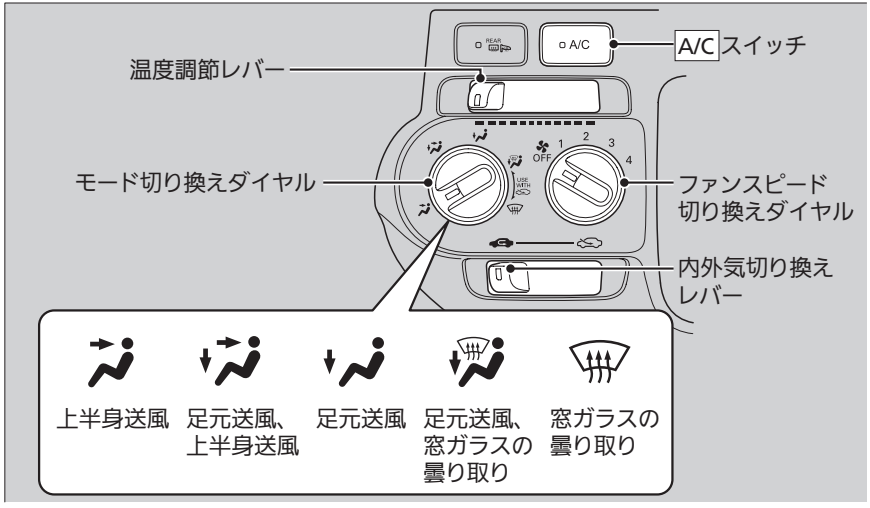
1. FRONTを押す。
2. を押す。

▨前面・側面ガラスの曇り止め(デフロスター)の使いかた

設定温度を最大冷房付近にしないでください。
冷風が前面ガラスに当たると、ガラスの外側が曇ることがあります。

霜が取れたら、ただちに外気導入に切り換えてください。
内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。

ヒーター・マニュアル式エアコンの使いかた*



エンジンをかけた状態で使用します。

1. ファンスピード切り換えダイヤルで風量を調節する。

2. モード切り換えダイヤルで吹き出し口を選ぶ。

3. 温度調節レバーで吹き出し風の温度を調節する。

4. 冷房や除湿暖房をするときは、A/Cを押す。

5. 停止するときは、ファンスピード切り換えダイヤルをOFFにする。

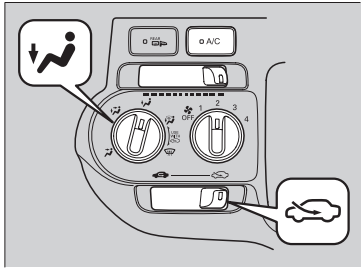
■内気/外気の切り換え

状況に合わせて、内外気切り換えレバーを操作して内気/外気を切り換えてください。

- 内気 : トンネルや渋滞などで、汚れた空気を車内に入れたくない場合
- 外気 : 換気を行う場合

次ページに続く

■ 暖房のしかた



暖房はエンジンの熱を利用して、車内の空気を暖めます。

1. ファンスピード切り換えダイヤルで、希望の風量に調節する。
2. モード切り換えダイヤルを にする。
3. 温度調節レバーで希望の温度に調節する。
4. に切り換える。

■急速に車内を暖めたいとき

1. ファンスピード切り換えダイヤルを最強（4）にする。
2. モード切り換えダイヤルを にする。
3. 温度調節レバーを最大温風にする。
4. に切り換える。

■曇り止め暖房をしたいとき

エアコンをONにすると除湿暖房ができます。外気が除湿され、乾燥した空気で車内を暖めるので、曇り止めに役立ちます。

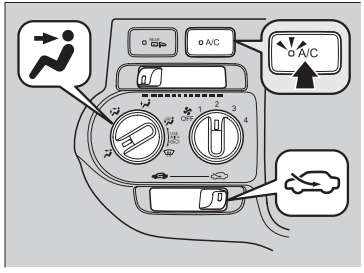
1. ファンスピード切り換えダイヤルで、希望の風量に調節する。
2. モード切り換えダイヤルを にする。
3. 温度調節レバーで希望の温度に調節する。
4. A/C を押す。（表示灯点灯）
5. に切り換える。

暖房のしかた

急速暖房で車内が暖まったら、ただちに外気導入に切り換えてください。

内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。

■冷房のしかた

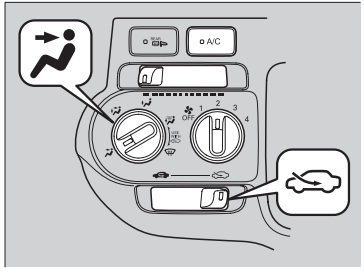


1. ファンスピード切り換えダイヤルで、希望の風量に調節する。
2. モード切り換えダイヤルを にする。
3. 温度調節レバーで希望の温度に調節する。
4. A/C を押す。(表示灯点灯)
5. に切り換える。

■急速に車内を冷やしたいとき

1. ファンスピード切り換えダイヤルを最 強 (4)にする。
2. モード切り換えダイヤルを にする。
3. 温度調節レバーを最大冷風にする。
4. A/C を押す。(表示灯点灯)
5. に切り換える。

■換気のしかた



空気取り入れ口から外気を取り込み、車内の空気を循環させて後部のサイドパネル付近の排出口から排出し、換気します。

1. ファンスピード切り換えダイヤルで、希望の風量に調節する。
2. モード切り換えダイヤルを にする。
3. 温度調節レバーを最大冷風付近にする。
4. に切り換える。

次ページに続く

冷房のしかた

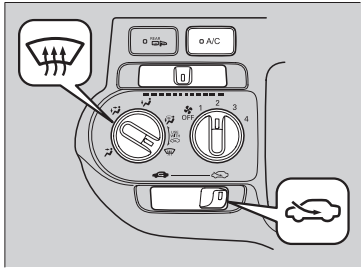
急な上り坂などでは、走行性能を優先するため、エアコンが作動しないことがあります。

長時間、冷風を体に当てないでください。
冷やしすぎは、健康上良くありません。

炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を追い出しながら、冷房を開始してください。

急速冷房で車内が冷えたら、ただちに外気導入に切り換えてください。
内気循環で使い続けると車内の空気が汚れます。

■ 前面・側面ガラスの曇り止め（デフロスター）の使いかた



1. ファンスピード切り換えダイヤルを回し、希望の風量に調節する。
2. モード切り換えダイヤルを にする。
3. 温度調節レバーで希望の温度に調節する。
4. に切り換える。

■急速に霜を取りたいとき

1. ファンスピード切り換えダイヤルを最強（4）にする。
2. モード切り換えダイヤルを にする。
3. 温度調節レバーを最大温風にする。
4. に切り換える。

■湿度の高いとき

1. ファンスピード切り換えダイヤルで、希望の風量に調節する。
2. モード切り換えダイヤルを にする。
3. 温度調節レバーで希望の温度に調節する。
4. A/C を押す。（表示灯点灯）
5. に切り換える。

▨前面・側面ガラスの曇り止め（デフロスター）の使いかた

霜が取れたら、ただちに外気導入に切り換えてください。
内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。

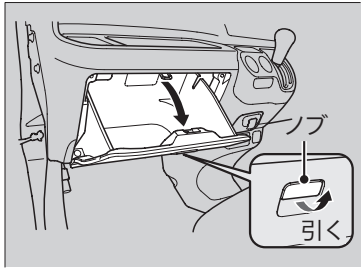
エアコンをONにしているときは、設定温度を最大冷房付近にしないでください。
冷風が前面ガラスに当たると、ガラスの外側が曇ることがあります。

エアコンのお手入れ

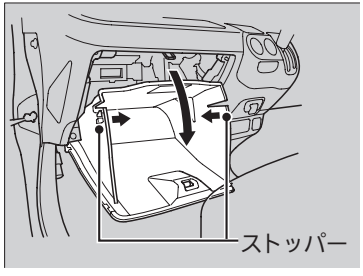
■ エアコンを常用しないとき

装置各部のオイルを切らさないため、ときどきエンジンを低回転させた状態で、数分間冷房または除湿暖房を行ってください。

■ エアクリーンフィルターの交換 *

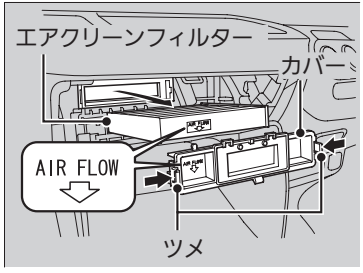


1. グローブボックスを開ける。



2. グローブボックスの両 側に付いているストッパーを内側に押し込み、グローブボックスを下ろす。

次ページに続く



3. 左右にあるツメを押しながら、エアクリーンフィルターケースのカバーを外す。

4. エアクリーンフィルターケースからエアクリーンフィルターを取り出す。

5. 新品と交換する。

▶「AIR FLOW」マークの矢印が、同じ方向（下向き）になるように取り付けます。



オーディオ

この章では、ラジオやCDプレーヤーなどの操作方法について記載しています。

オーディオ装置
取り扱いについて……116
アンテナ……117
バックモニター+AM/FMチューナー付CDプレーヤー
各部の名称……118
基本操作……120
ラジオの使いかた……123
CDプレーヤーの使いかた……127
ポータブルオーディオやビデオ機器などの接続……131
その他の設定……134
AM/FMチューナー付CDプレーヤー
各部の名称……140
基本操作……142
ラジオの使いかた……144
CDプレーヤーの使いかた……146
オーディオリモートコントロールスイッチ……149
リヤカメラシステム……150
表示変更・調整の方法……151
カメラ画像について……153

Hondaインターナビシステム装備車のオーディオ・テレビ・DVDの取り扱いについては、別冊の「Hondaインターナビシステム」取扱説明書をご覧ください。

取り扱いについて

- 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態では安全の妨げとなります。
- 運転中のオーディオ操作は、安全に支障がないようにしてください。
- 車内や車の近くで携帯電話や無線機を使うと、オーディオに雑音が入ることがあります。

ラジオの受信状態について

ラジオの受信は、車の走行にともない受信状態が刻々と変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

ディスクについて



ディスクの取り扱いにあたっては、以下の点にご注意ください。

- 左記マークのついているディスクを使用してください。
- ディスクは円形のものを使用してください。
- ディスクの信号面（記録面）を、直接手で触れないでください。
- 直射日光の当たるところを避けて保管してください。

ディスクについて

CD-R/CD-RWをご使用の場合、以下の点にご注意ください。

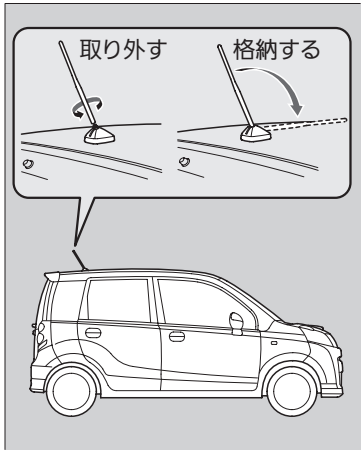
- CD-R/CD-RWは、録音に使用したレコーダーやディスクの状態により、再生できない場合があります。
- ビデオCDやDVDのディスクには対応していないため、再生できません。

寒いときや雨天のときにプレーヤーの内部が結露して、正しく作動しないことがあります。
その場合、ディスクを取り出し、換気または除湿してからお使いください。

悪路走行などで激しく振動した場合、音とびすることがあります。

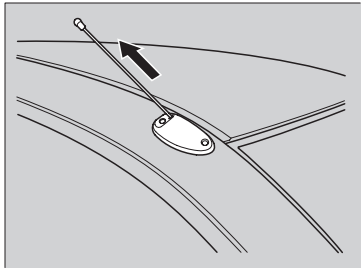
アンテナ

■ マイクロアンテナ *



マイクロアンテナは格納、取り外しができます。ラジオやテレビを受信するときは、 アンテナを節度感のあるところまで立ててください。

■ マニュアルアンテナ *



ラジオを聞くときは、 アンテナをいっぱいまで伸ばしてください。

アンテナ

アドバイス

アンテナの破損を防ぐために、次のような場合は、アンテナを格納してください。

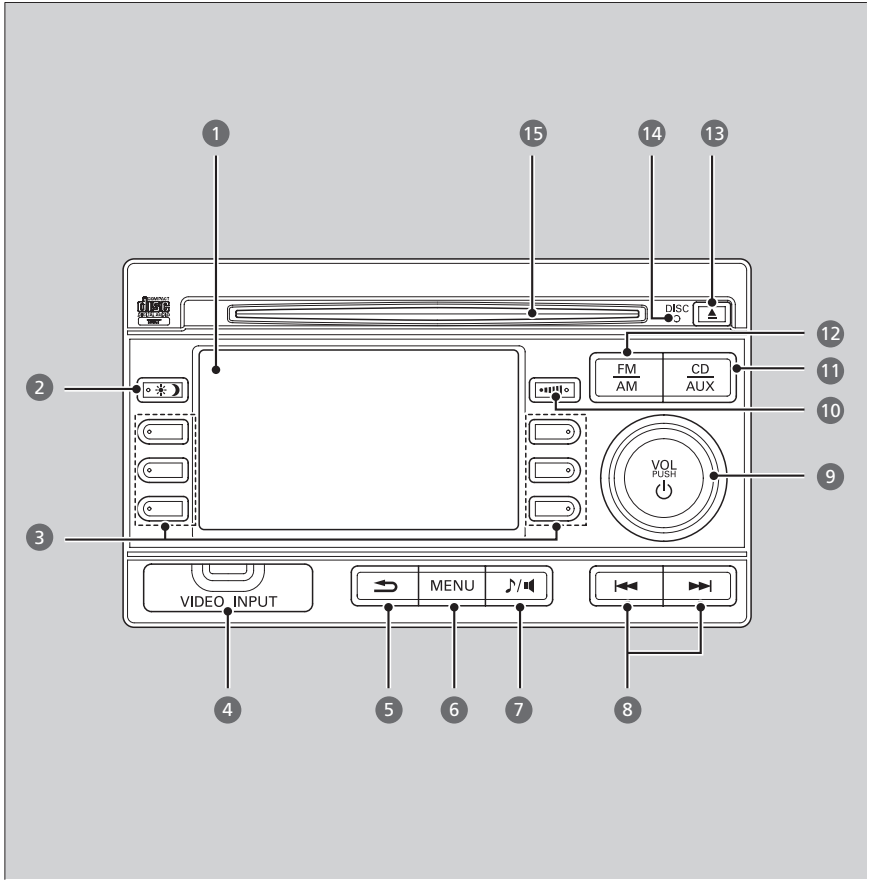
- 駐車場の天井などにアンテナが当たるとき
- ボディーカバーをかけるとき
- 自動洗車機を使用するとき（マニュアルアンテナのみ）

マイクロアンテナ

自動洗車機を使用するときは、アンテナを取り外してください。

アンテナを格納した状態で自動洗車機を使用すると、アンテナが破損することがあります。また、取り外したアンテナは紛失しないようにしてください。

各部の名称



❶ 画面
選択中のラジオ局、演奏中のCDなどの情報と、時計が表示される画面です。

❷ ☀☽スイッチ
バックライトの昼間/夜間の切り換えや、画面表示を消すときに押します。

❸ 1～6スイッチ
各項目や画面によって、割り当てられるはたらきが変わるスイッチです。
画面と対応しているので、画面内の選択したい項目を選ぶときに押します。

❹ AV入力端子
ビデオ機器などを接続します。

❺ ⮌スイッチ
前の画面に戻るときに押します。

❻ MENU スイッチ
メニュー画面を表示させるときに押します。

❼ ♪/ スイッチ
音質、バランスの調整、車速連動音量の設定をするときに押します。

❽ |◀◀ / ▶▶| スイッチ
ラジオ局を探すときや、CD の聞きたい曲を探すときなどに押します。

❾ 電源 / 音量ダイヤル
電源：オーディオ装置の電源を入れるときに押します。
音量：音量を調整するときに回します。

❿ スイッチ
交通情報を聞くときに押します。

⓫ CD/AUX スイッチ
CD：CD を聞くときに押します。
AUX：ビデオを見るときや、Honda 純正の USB アダプターを装着しているときに押します。

⓬ FM/AM スイッチ
ラジオを聞くときに押します。

⓭ ⏏ スイッチ
CD を取り出すときに押します。

⓮ ディスクインジケーター
CD を挿入すると点灯します。

⓯ CD 挿入口
CD のレーベル面を上にして挿入します。

» 各部の名称

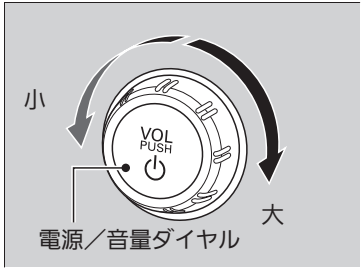
アドバイス
画面は、傷が付きやすいので、手で強く押さえたり、かたい布などでこすらないでください。

画面が汚れたときは、メガネ拭きなどの柔らかく乾いた布で軽く拭きとってください。

知識
Honda 純正オプションの取り扱いについては、付属の取扱説明書をご覧ください。

基本操作

オーディオ装置はエンジンスイッチが I または II のときに使用できます。



■オーディオ装置のON/OFF

電源 / 音量ダイヤルを押すと電源がONになり、もう一度押すとOFFになります。

■音量の調節

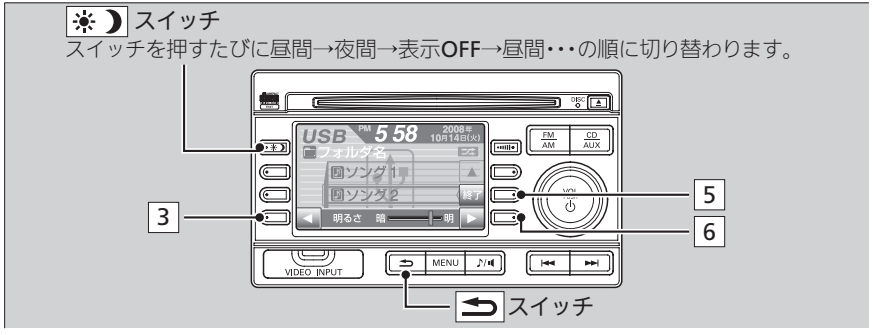
電源 / 音量ダイヤルを回して、音量を調節します。

基本操作

FM/AM 、 CD/AUX を押しても電源がONになります。

■ 画面の明るさの調節

画面の明るさを昼間（車幅灯消灯時）と夜間（車幅灯点灯時）にわけて、別々に調節できます。また、画面の表示を全て消すことができます。



1. を押す。
- ▶ スイッチを押して、昼間時設定、夜間時設定、表示 OFF を切り換えます。
- ▶ 昼間時設定または夜間時設定のとき、明るさ調節画面が表示されます。

2. 3 、 6 を押して調節する。
明るくする： 6 を押す
暗くする： 3 を押す
- ▶ 明るさが最大 / 最小になると電子音が鳴ります。

3. 調節終了後は、 5 または を押す。

画面の明るさの調節

オーディオの電源がOFFのときにも、調節できます。

ヘッドライトが点灯しているときと消灯しているときでは、画面の明るさは異なります。
ライトスイッチを または にすると、まぶしさを軽減するために画面が暗くなります。

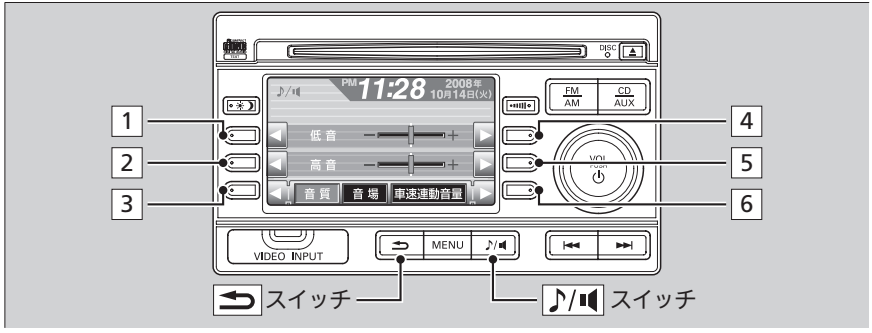
スイッチ操作をせずに約５秒が経過すると、自動的に明るさ調節モードが終了します。

消えた画面を再び表示させるときは、再度イルミネーションスイッチを押します。

知識
調節終了後は、ライトスイッチの位置に関係なく、調節を終了したときの画面（昼間 / 夜間）が表示されます。その後、ライトスイッチを操作すると、通常のライトスイッチに連動した表示に戻ります。

次ページに続く

■ 音質、バランスの調節、車速連動音量の調節



1. ♪/■を押す。
2. 画面に従い 3 、 6 を押して、項目を選択する。
► 音質、音場（バランス）調節、車速連動音量の調節ができます。
► 項目に応じて画面が切り換わります。
3. 画面に従い、 1 、 2 、 4 、 5 を押して調節する。
4. 調整終了後、 ⮌ または ♪/■ を押す。
► ⮌ または ♪/■ を押すと、前の画面に戻ります。

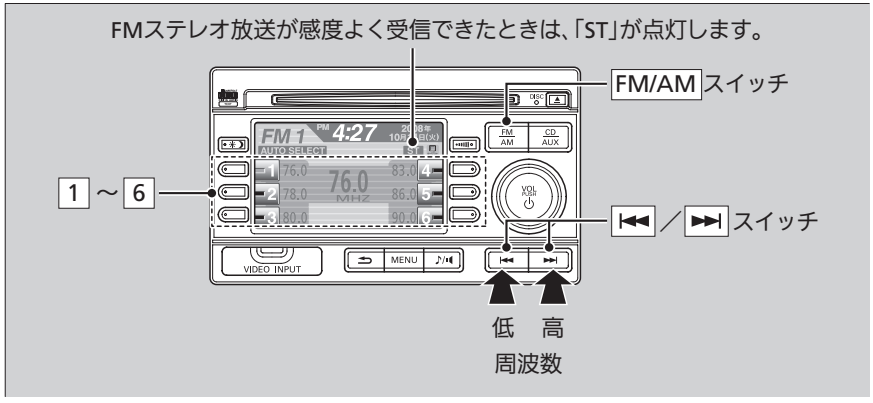
音質、バランスの調節、車速連動音量の調節

車速連動音量は、車の速度に応じて音量を自動調節する機能です。

- HIGH ：車速に応じた音量変化を大きくするとき
- MID ：工場出荷時の設定
- LOW ：車速に応じた音量変化を小さくするとき
- OFF ：機能を解除するとき

リヤ用スピーカーはタイプ別装備です。
スピーカーが装備されていない場合も、前後バランスの設定画面は表示されます。

ラジオの使いかた



1. FM/AM を押してバンドを選ぶ。
► スイッチを押すごとに、FM1→FM2→AM→FM1と切り換わります。

2. 選局する。

■ワンタッチ選局

1 ～ 6 を押すと、設定されている放送局が選曲されます。
放送局の登録 P.124

■手動選局

|◀◀ または ▶▶| を押すと、受信周波数が少しずつ変化します。

■自動選局

|◀◀ または ▶▶| を押し続けると放送局サーチ画面に切り換わります。画面が変わったらスイッチから手を離します。自動的に電波を探し（スキャン）、放送を受信すると止まります。

次ページに続く

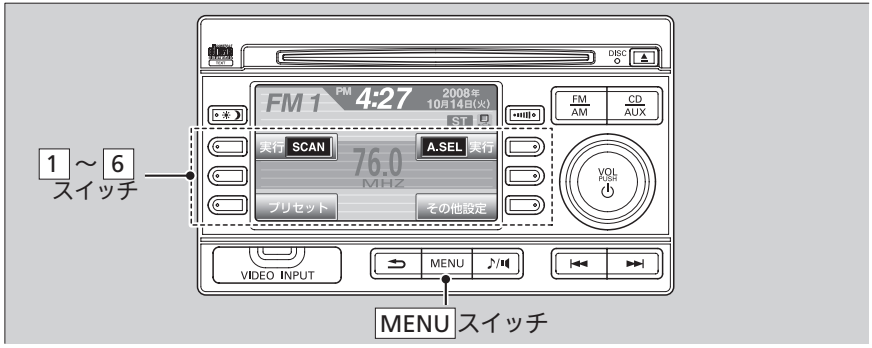
ラジオの使いかた

FMステレオ放送が感度よく受信できたときは、画面に「ST」と表示されます。
AM放送はステレオ受信ができません。

受信電波が弱いと、自動選局では選局できないことがあります。
このようなときは、|◀◀ / ▶▶| の手動選局で選局してください。

■ 放送局の登録

AM6局、FM12局（FM1、FM2それぞれ6局）を登録できます。



■手動で放送局を登録する（プリセット）

1. MENUを押して、ラジオのメニュー画面を表示させる。

2. 3 押す。

▶ プリセット画面が表示されます。

3. |◀◀ または ▶▶| で選局する。

4. 1 ～ 6 のいずれかを押す。

5. 続けて登録する場合は、**3**、**4** の操作を繰り返す。

6. メニュー画面に戻るときは、MENU または ⮌ を押す。

放送局の登録

メニュー画面を表示させなくても、放送局を登録できます。

ラジオを聞いているときに 1 ～ 6 を「ピッ」と音が鳴るまで押すと、メニュー画面を表示させなくても放送局を登録することができます。

プリセット画 面が表 示されているときに FM/AM を押すと、バンドが切り換わり、プリセットモードが解除されます。

知識

6 を押すと、「その他設定」画面に切り換わります。

その他の設定 P.134

■自動で放送局を登録する（オートセレクト）

1. MENUを押して、ラジオのメニュー画面を表示させる。
2. 4を押す。
- ► 放送局サーチ画面に切り換わり、周波数の低い順から、AM6局、FM12局を自動的に登録します。
- ► 登録が終了すると画面に「AUTO SELECT」が表示され、通常のラジオ画面に戻ります。
- ► オートセレクトを中止するときは、もう一度4を押します。

■オートセレクトの解除

オートセレクトを解除すると、登録した放送局（周波数）はオートセレクトをする前の状態に戻ります。

1. MENUを押して、メニュー画面を表示させる。
2. 4を押す。（「AUTO SELECT」が消灯）

■放送局を探して受信する（スキャン）

1. MENUを押して、ラジオのメニュー画面を表示させる。
2. 1を押す。
- ► 放送局サーチ画面に切り換わり、受信可能な放送局を周波数の低い順から約10秒間ずつ放送します。

3. 聞きたい放送局を受信したら、もう一度1を押す。

放送局の登録

受信できる放送局がFM12局、AM6局より少ないとき、残りのスイッチには記憶されません。
記憶されていないスイッチを押すと、周波数が「0」と表示されます。

通常のラジオ画面のとき、オートセレクトした放送局を、個別に変更することができます。
|◄◄または►►|で選局し、1～6を押して登録します。
手動で放送局を登録する（プリセット） P.124

次ページに続く

■ 交通情報の受信

1. [•ıllll]を押す。(インジケーターが点灯)
▶ 周波数 (1620kHz/1629kHz)の切り換えは、[1]、[2]または[|◀◀]/[▶▶|]で行います。

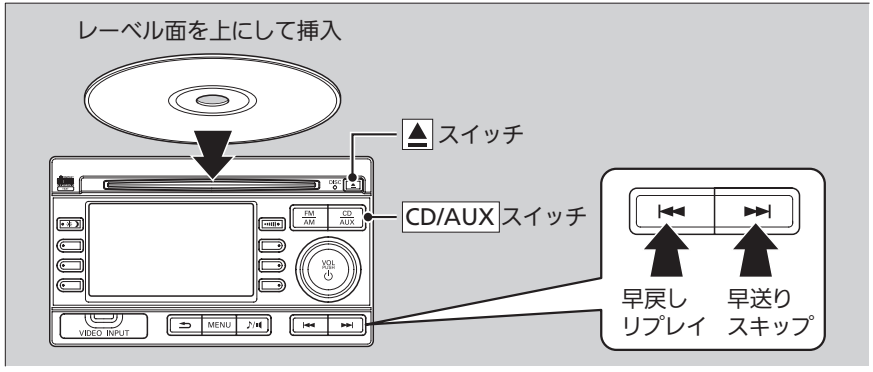
2. 解除するときは、[•ıllll]または[⮌]を押す。
▶ 他のモードに切り換えたときも解除されます。

交通情報の受信

[•ıllll]を押して交通情報を受信しているときは、[1]～[6]によるワンタッチ選局はできません。
交通情報を解除してから[1]～[6]を押してください。

CD プレーヤーの使いかた

CD を再生することができます。



■ CD の再生

1. CDをレーベル面を上にして挿入する。CDがすでに入っているときは、CD/AUXを押す。
► CD を途中まで入れると、自動的にCD が引き込まれます。

■ CD の取り出し

1. ⏏を押す。
2. CD を取り出す。

■ 再生中の操作

■早送り / 早戻し

|◀◀ または ▶▶| を押し続ける。

■スキップ/リプレイ

|◀◀ または ▶▶| を押す。
► リプレイ(再生中の曲または前の曲の頭出し)、スキップ(次の曲の頭出し)になります。

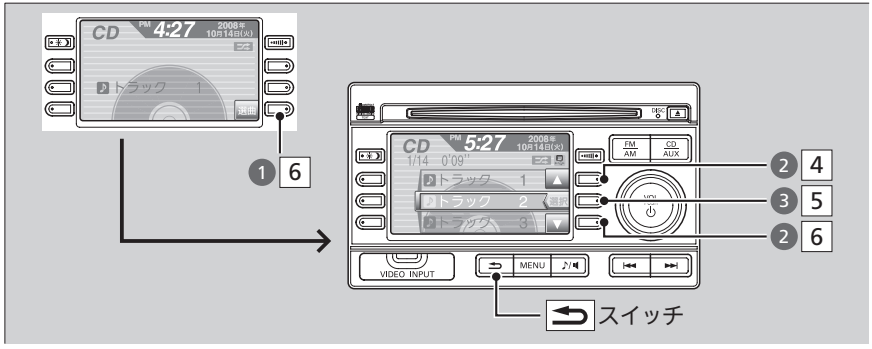
CDプレーヤーの使いかた

8cmCDを使用するときは、アダプターを使用せずそのまま挿入してください。

CDやプレーヤーをゴミやほこりから保護するため、CDが押し出されたまま約10秒間経過すると、自動的に内部に引き込まれます。

次ページに続く

■リストによる選曲



1. 6 押して、選曲リストを表示させる。
2. 4 、 6 を押して選曲する。
リストアップ： 4 を押す
リストダウン： 6 を押す
3. 聞きたい曲が表示されたら、 5 を押して選択する。
▶ 通常の CD 再生画面に戻り、選択した曲が再生されます。
▶ リスト選曲を解除し、通常の CD 再生画面に戻るときは、 ⮌ を押します。

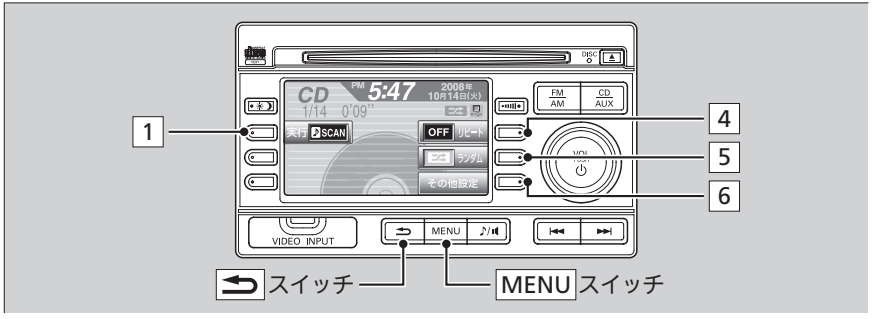
再生中の操作

CD-TEXT対応のデータが含まれるCDを再生すると、曲名、アルバム名、アーティスト名が表示されます。

知識

選曲リストは安全上の配慮から、停車時のみ表示します。走行中は 4 、 6 による操作で選択中の曲だけが表示されます。

■ 聞きたい曲を探すとき（スキャン）



1. MENUを押して、CDのメニュー画面を表示させる。
2. 1を押す。
► スキャン画面に切り換わり、各トラックの始めを約10秒間ずつつぎつぎに再生します。
3. 聞きたい曲のところで、もう一度1を押す。

■ 演奏中の曲を繰り返し聞くとき（リピート）

1. MENUを押して、CDのメニュー画面を表示させる。
2. 4を押すたびにリピートのON/OFFが切り換わる。
3. ⮌ またはMENUを押して、通常のCD再生画面に戻る。
► リピート再生中は画面にリピートアイコンが表示されます。
4. リピート機能を解除するときは、**1**～**3**の操作を繰り返す。

聞きたい曲を探すとき（スキャン）

すべての曲のスキャン再生が終わると、スキャンを開始した曲から通常の演奏になります。

知識

6を押すと、「その他設定」画面に切り換わります。

➔ **その他の設定** P.134

次ページに続く

■ 曲順をランダムに再生するとき

1. MENUを押して、CDのメニュー画面を表示させる。
2. 5を押すたびに、ランダムのON/OFFが切り換わる。
3. ⮌またはMENUを押して、通常のCD再生画面に戻る。
► ランダム再生中は画面にランダムアイコンが表示されます。
4. ランダム機能を解除するときは、**1**～**3**の操作を繰り返す。

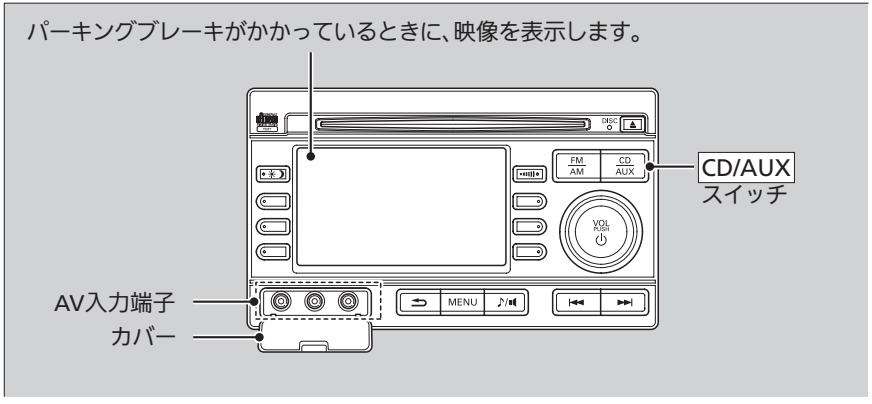
■ CD プレーヤーのエラーメッセージ

画面にエラーメッセージが表示された場合は、下表にしたがって点検してください。

画面	原因	対処のしかた
再生できないディスクです ディスクをお確かめください	ディスクの読み込みができない（露つき、傷、汚れ、ディスクが裏返し、対応していないファイル形式で記録されているなど）	• 汚れを拭き取ってください。 • ディスクを確認してください。 • ディスクのレーベル面を上にして挿入してください。
異常検知で停止中です	ディスクの取り出しができない等、機械的な不具合	Honda販売店で点検を受けてください。
高温のため停止中です	プレーヤー内部の温度上昇による一時停止状態	ディスクを取り出し、内部の温度が下がるまでお待ちください。

ポータブルオーディオやビデオ機器などの接続

AV入力端子にポータブルオーディオやビデオ機器などを接続することができます。



■接続のしかた

1. AV入力端子のカバーを開ける。

2. ビデオ機器などのジャックを、AV入力端子の同色の端子に差し込む。

■AUXモードへの切り換え

1. CD/AUXを押す。

ポータブルオーディオやビデオ機器などの接続

ポータブルオーディオやビデオ機器などを接続する場合は別売りのVTRコードが必要になります。ポータブルオーディオやビデオ機器のご使用については、Honda販売店にご相談ください。

AV入力端子の音声入力は、ステレオ方式です。

AUXモード中は、スイッチ操作をせずに約5秒が経過すると、画面上部の時計表示が自動的に消えます。

時計表示をONに設定している場合も、時計は表示されません。

その他の設定 P.134

アドバイス

ビデオをご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。

知識

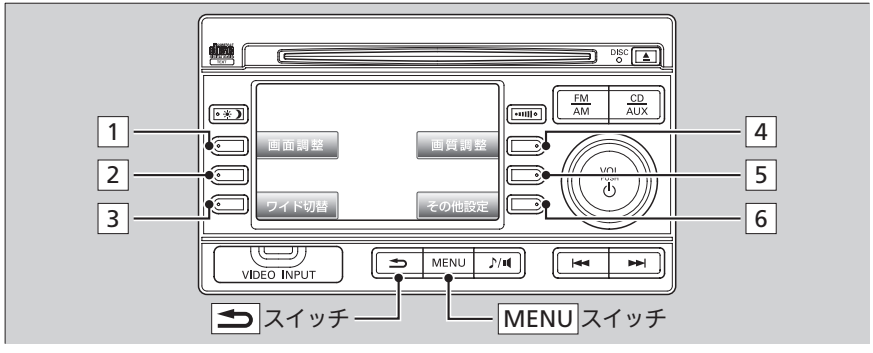
映像は安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけ見ることができます。停車していてもパーキングブレーキをかけていないときなどは、映像は映らず、音声だけが聞こえます。

次ページに続く

■ AUX モード画面の設定

AUXモードのときにMENUを押すとAUXのメニュー画面が表示され、画面や画質の調整、画面表示サイズの設定ができます。

► AUXメニューが表示されているときに⮌またはMENUを押すと、通常のAUX画面に戻ります。



■画面表示サイズの設定

1. 3を押して「ワイド切換」画面を表示させる。

2. 1～3を押して選択する。

ノーマル: 1を押す

ワイド: 2を押す

ズーム: 3を押す

3. 選択終了後、6、⮌またはMENUを押してメニュー画面に戻る。

AUXモード画面の設定

知識

画面や画質の調整、表示方法の設定は安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけ行うことができます。

知識

6を押すと、「その他設定」画面に切り換わります。

その他の設定 P.134

■画面の調整

明るさとコントラストの調整ができます。

1. AUX メニュー画面で 1 を押して、「画面調整」画面を表示させる。

2. 画面調整画面で 2 、 5 および、 3 、 6 を押して調整する。

明るさ

明るくする： 5 を押す

暗くする： 2 を押す

コントラスト

強くする： 6 を押す

弱くする： 3 を押す

3. 調整終了後、 4 、 ⮌ または MENU を押してメニュー画面に戻る。

■画質の調整

色合いと色の濃さの調整ができます。

1. AUX メニュー画面で 4 を押して「画質調整」画面を表示させる。

2. 画面調整画面で 2 、 5 および、 3 、 6 を押して調整する。

色合い

緑よりにする： 5 を押す

赤よりにする： 2 を押す

色の濃さ

濃くする： 6 を押す

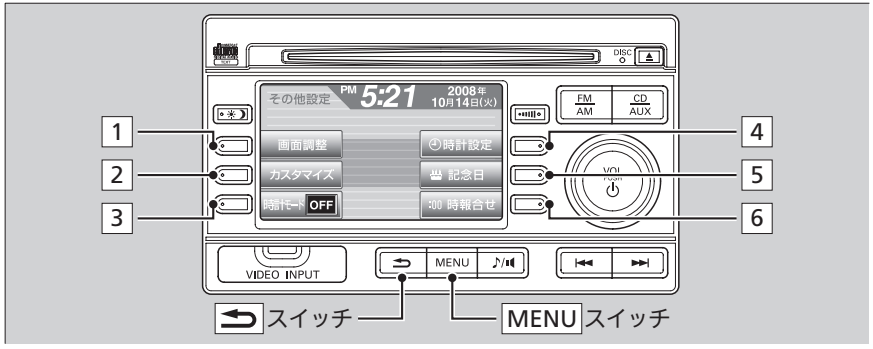
薄くする： 3 を押す

3. 調整終了後、 4 を押してメニュー画面に戻る。

その他の設定

時計、記念日の設定や画面のカスタマイズができます。
電源のON/OFFにかかかわらず操作できます。

1. MENUを押す。
► 現在選択中のモードのメニュー画面が表示されます。
2. 6を押して、下記の「その他設定」画面を表示させる。
► 前の画面に戻るときは⮌を押す。



■ 時計表示 ON/OFF の設定

オーディオの電源がONのとき、約10秒間スイッチ操作がない場合に自動的に時計を表示するように設定することができます。

1. 3を押すたびに時計表示のON（する）/OFF（しない）が切り換わる。
► 3を押すと、設定した内容のメッセージが表示されます。

その他の設定

時刻、日付の設定および時報合わせの操作方法については、「各部の操作」をご覧ください。
➡時刻の設定 P.66

「その他設定」画面が表示されているときや設定操作中にMENUを押すと、設定モードが解除され、メニュー画面に戻ります。

知識
安全上の配慮から、走行中の各種設定機能は限定されます。走行中に操作できない項目は薄い色で表示されます。

時計表示ON/OFFの設定

カスタマイズメニューで選択した時計が表示されます。
➡時計のデザインを変更する P.139

■ 画面の調整

画面の明るさとコントラストの調整ができます。

1.「その他設定」画面で 1 を押して「画面調整」画面を表示させる。

2. 2 、 5 および、 3 、 6 を押して調整する。

明るさ

明るくする： 5 を押す

暗くする： 2 を押す

コントラスト

強くする： 6 を押す

弱くする： 3 を押す

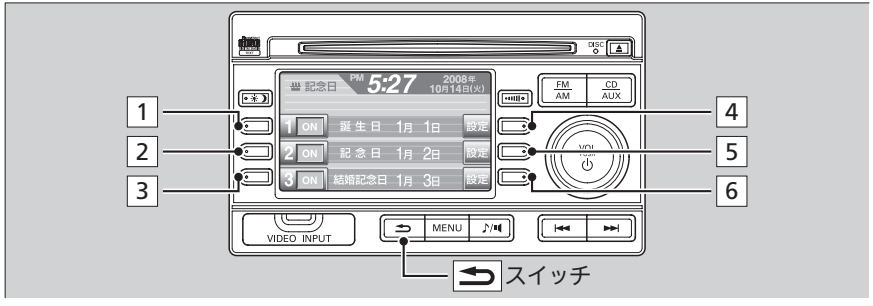
3. 調整終了後、 4 または ⮌ を押して「その他設定」画面に戻る。

次ページに続く

■ 記念日の登録

誕生日、記念日、結婚記念日の登録ができます。また、記念日の当日にメッセージを表示するように設定することができます。

1. 「その他設定」画面で 5 を押して、下記の「記念日」画面を表示させる。
▶ 記念日設定を解除し、「その他設定」画面に戻るときは ⮌ を押します。



■記念日の登録

記念日を3つまで登録できます。

1. 4〜6を押して記念日登録画面を表示させる。
2. 3を押して記念日の種類を選択する。
3. 日付を設定する。
月： 1、2を押す
日： 4、5を押す
4. 6を押して登録を決定する。
5. 続けて登録する場合は、**1**〜**4**の操作を繰り返す。

■記念日表示のON/OFFの設定

それぞれの記念日について設定することができます。

1. 1〜3を押すたびに記念日表示のON(表示する)/OFF(表示しない)が切り換わる。
▶ 記念日表示をONに設定し、その記念日の前日と当日にエンジンスイッチをIまたはIIにすると、画面にメッセージが表示されます。また、記念日用の壁紙に自動的に切り換わります。

» 記念日の登録

知識

次のような場合、記念日を登録することができません。

- 重複する日付を設定したとき
- 日付の設定を行わなかったとき

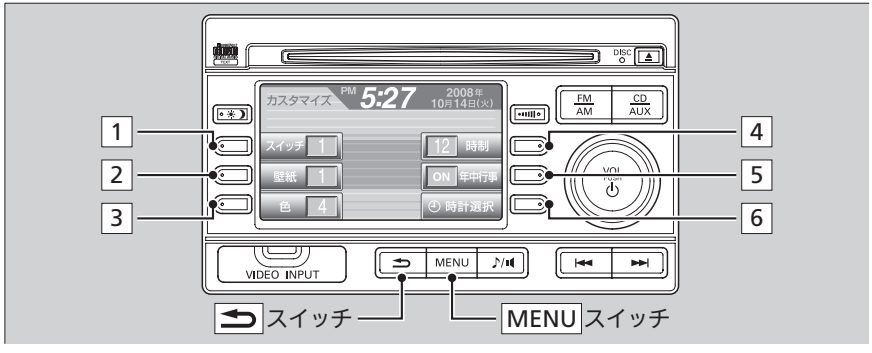
3を押して修正を行うか、6を押して登録操作を終了してください。

次ページに続く

■ カスタマイズ機能

画面の配色や画面などの表示設定、スイッチと時計のデザイン選択、時制の切り替えや年中行事の表示のON/OFFの設定ができます。

1.「その他設定」画面で 2 を押して、下記の「カスタマイズ」画面を表示させる。
► カスタマイズ機能を解除し「その他設定」画面に戻るときは、⮌を押します。



■スイッチのデザインを変更する

1. 1 を押すたびにスイッチのデザインが切り換わる。
► スイッチのデザインは2種類から選べます。

■壁紙を変更する

1. 2 を押すたびに壁紙のデザインが切り換わる。
► 壁紙は4種類から選べます。

■画面の配色を変更する

1. 3 を押すたびに画面の配色が切り換わる。
▶ 配色は6種類から選べます。

■時制の切り換え

4 を押すたびに、時計の時間表示が24時間または12時間に切り換わります。

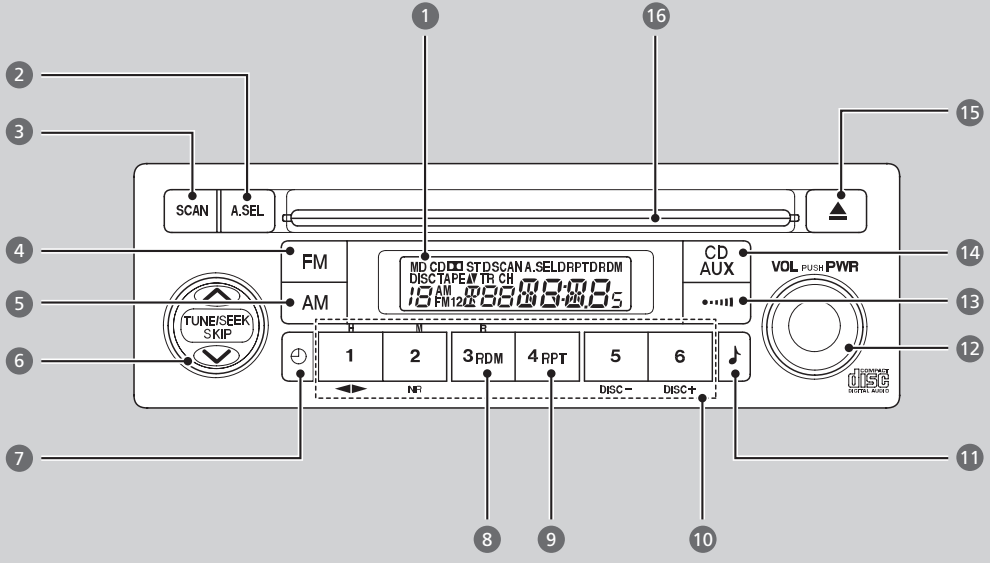
■年中行事のON/OFFの設定

1. 5 を押すたびに年中行事のON（表示する）/OFF（表示しない）が切り換わる。
▶ 年中行事をONに設定すると、その日の前日と当日にエンジンスイッチを I または II にしたときに、画面にメッセージを表示します。　また、その当日には画面上部に「クリスマス」など年中行事を表示し、自動的にその内容に応じた壁紙に切り換わります。

■時計のデザインを変更する

1.「カスタマイズ」画面で 6 を押して「時計選択」画面を表示させる。
2. 時計のデザインを 1 、 2 、 4 、 5 から選択する。
3. 選択終了後、 6 または ⮌ を押して「カスタマイズ」画面に戻る。

各部の名称


SCAN
A.SEL
FM
AM
TUNE/SEEK
SKIP
CD
AUX
VOL PUSH PWR
1
2
3 RDM
4 RPT
5
6
DISC−
DISC+

❶ ディスプレイ
選択中のラジオ局、演奏中の CD などの情報と、時計が表示される画面です。

❷ A.SEL スイッチ
放送局の違う地域へ出かけたときや、セットした放送局が聞けなくなったときに押します。

❸ SCAN スイッチ
ラジオ局を探すときや、CD の聞きたい曲を探すときに押します。

❹ FM スイッチ
FM 放送を聞くときに押します。

❺ AM スイッチ
AM 放送を聞くときに押します。

❻ TUNE/SEEK/SKIP スイッチ
ラジオ局を探したり、CD の曲を選ぶときなどに押します。

❼ スイッチ
時計表示を ON/OFF するときに押します。

❽ 3 RDM スイッチ
CD の曲をランダムに聞くときに押します。

❾ 4 RPT スイッチ
CD の曲を繰り返し聞くときに押します。

❿ ワンタッチ選局スイッチ 1 ～ 6
ラジオ局をあらかじめ設定しておき、ワンタッチで選局するためのスイッチです。

⓫ スイッチ
音質、バランス調整をするときに押します。

⓬ 電源 / 音量ダイヤル
電源：オーディオ装置の電源を入れるときに押します。
音量：音量を調整するときに回します。

⓭ スイッチ
交通情報を聞くときに押します。

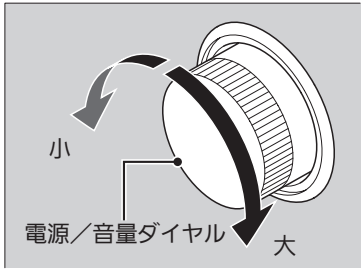
⓮ CD/AUX スイッチ
CD を聞くときに押します。

⓯ スイッチ
CD を取り出すときに押します。

⓰ CD 挿入口
CD のレーベル面を上にして挿入します。

基本操作

オーディオ装置はエンジンスイッチが I または II のときに使用できます。



■オーディオ装置のON/OFF

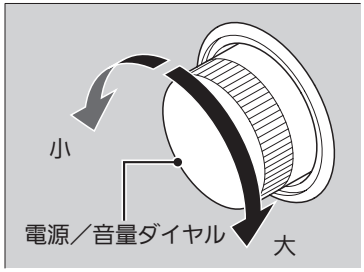
電源 / 音量ダイヤルを押すと電源がONになり、もう一度押すとOFFになります。

■音量の調節

電源 / 音量ダイヤルを回して、音量を調節します。

基本操作

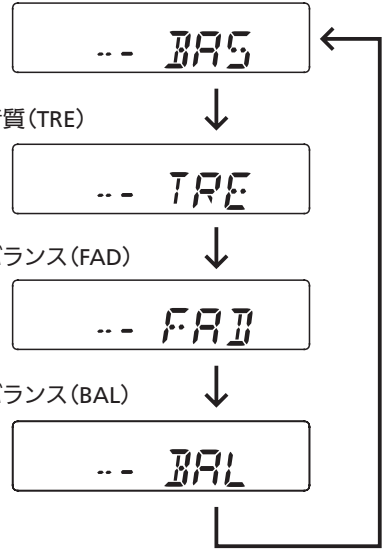
AM 、 FM 、 CD/AUX を押しても電 源がONになります。



■音質、バランスの調節

♪を押します。
押すたびに、設定項目が下記のように切り換わります。
設定項目を選び、電源／音量ダイヤルを回して調節します。

低音音質（BAS）



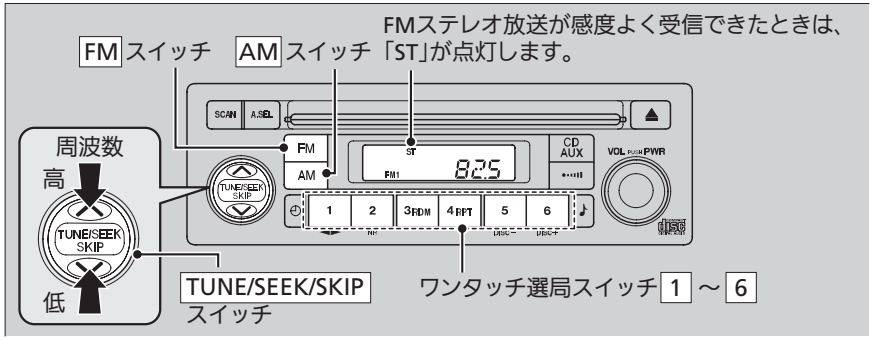
基本操作

音質またはバランスレベルが中央のとき、表示部に「 -- ー 」を表示します。

調節後、数秒が経過すると、自動的に音質・バランス調節モードが終了します。

リヤ用スピーカーはタイプ別装備です。
スピーカーが装備されていない場合も、前後バランスの設定画面は表示されます。

ラジオの使いかた



1. FM 、AM を押してバンドを選ぶ。
► スイッチを押して、FM1/FM2/AM を選びます。

2. 選局する。

■ワンタッチ選局

あらかじめ登録してある放送局を受信するときは、1～6を押します。
➲**放送局の登録** P.145

■手動選局

TUNE/SEEK/SKIP を押すと、受信周波数が少しずつ変化します。

■自動選局

TUNE/SEEK/SKIP を押し続けると自動的に電波を探し、放送を受信すると止まります。

ラジオの使いかた

FMステレオ放送が感度よく受信できたときは、画面に「ST」と表示されます。
AM放送はステレオ受信できません。

受信電波が弱いと、自動選局では選局できないことがあります。
このようなときは、TUNE/SEEK/SKIP の手動選局で選局してください。

スキャン機能で、現在の受信状況を確認することができます。
聞きたい放送局を探すときに便利な機能です。
➲**放送局を探して受信する（スキャン）** P.145

■ 放送局の登録

AM6局、FM12局（FM1、FM2それぞれ6局）を登録できます。

■手動で放送局を登録する（プリセット）

1. AM、FM を押してバンドを選ぶ。
2. TUNE/SEEK/SKIP で選局する。
3. 登録したいワンタッチ選局スイッチを選び、数秒間押す。
▶ 放送局が登録されると、「ピッ」と音がします。
4. 続けて登録する場合は、**2**、**3** の操作を繰り返す。

■自動で放送局を登録する（オートセレクト）

1. A.SEL を押す。（A.SEL が点滅）
▶ 周波数の低い順から、ワンタッチ選局スイッチにFM12局、AM6局を自動的に記憶します。（A.SEL が点灯）

■オートセレクトの解除

オートセレクトを解除すると、登録した放送局（周波数）はオートセレクトをする前の状態に戻ります。

1. A.SEL を押す。（A.SEL が消灯）

■ 放送局を探して受信する（スキャン）

1. SCAN を押す。（SCAN が点灯）
▶ 受信可能な放送局を周波数の低い順から数秒間ずつ放送します。
2. 聞きたい放送局を受信したら、もう一度 SCAN を押す。
▶ 他の操作を選択したときも、解除されます。

次ページに続く

放送局の登録

電源が切れた場合（車両のバッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど）、ワンタッチ選局スイッチの記憶が消去されます。
再度登録操作を行ってください。

受信できる放送局がAM6局、FM12局より少ないとき、残りのスイッチには記憶されません。
記憶されていないスイッチを押すと、周波数が「0」と表示されます。

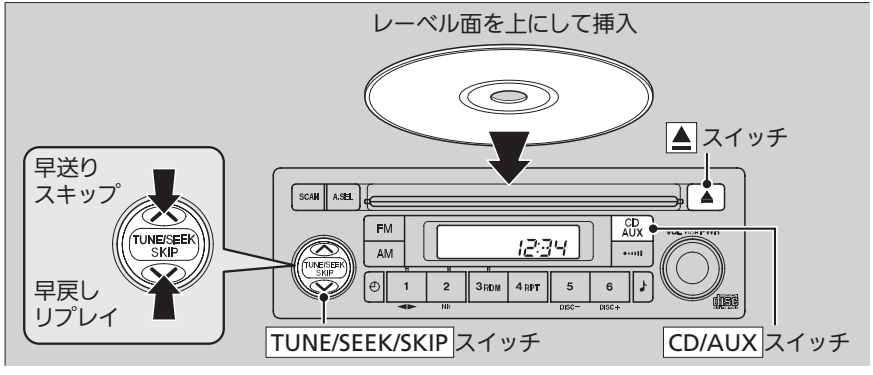
オートセレクトした放送局を、個別に変更することもできます。（プリセット）

■ 交通情報の受信

1. •ıllll を押す。(•ıllll が点灯)
▶ 周波数 (1620kHz/1629kHz) の切り換えは、TUNE/SEEK/SKIP で行います。
2. 解除するときは、もう一度•ıllll を押す。
▶ 他の操作を選択したときも、解除されます。

CD プレーヤーの使いかた

CD を再生することができます。



■ CD の再生

1. CD をレーベル面を上にして挿入する。CD がすでに入っているときは、CD/AUX を押す。
▶ CD を途中まで入れると、自動的に CD が引き込まれます。

交通情報の受信

•ıllll を押して交通情報を受信しているときは、ワンタッチ選局スイッチによる選局はできません。
ワンタッチ選局スイッチを使う前に、•ıllll を押して交通情報を解除してください。

CD プレーヤーの使いかた

CD プレーヤーは 12cm CD 専用です。8cm CD は使用しないでください。
アダプターを付けた 8cm CD も使用しないでください。故障の原因になることがあります。

CD やプレーヤーをゴミやほこりから保護するため、CD が押し出されたまま約 10 秒間経過すると、自動的に内部に引き込まれます。

エンジンスイッチを 0 にした場合でも、イジェクトスイッチを押すと CD を取り出すことができます。

■ CD の取り出し

1. ⏏を押す。
2. CD を取り出す。

■ 再生中の操作

■早送り / 早戻し

TUNE/SEEK/SKIP を押し続ける。

■スキップ / リプレイ

TUNE/SEEK/SKIP を押す。
► リプレイ（演奏中や前の曲の頭出し）、スキップ（次の曲の頭出し）になります。

■ 聞きたい曲を探すとき（スキャン）

1. SCAN を押す。（SCAN が点灯し、トラックナンバーが点滅）
► 各トラックの始めを約 10 秒間ずつつぎつぎに再生します。
2. 聞きたい曲のところで、もう一度 SCAN を押す。
► スキャン再生が解除されます。

■ 演奏中の曲を繰り返し聞くとき（リピート）

1. 4 RPT を押す。（RPT が点灯）
2. 解除するときは、もう一度 4 RPT を押す。

聞きたい曲を探すとき（スキャン）

すべての曲のスキャン再生が終わると、スキャンを開始した曲から通常の演奏になります。

次ページに続く

■ 曲順をランダムに再生するとき

1. 3 RDM を押す。（RDM が点灯）
2. 解除するときは、もう一度 3 RDM を押す。

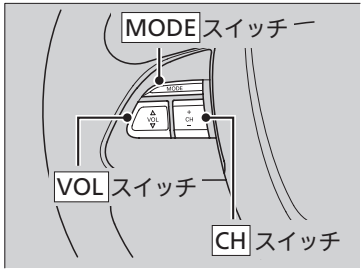
■ CD プレーヤーのエラーコード

ディスプレイにエラーコードが点滅した場合は、下表にしたがって点検してください。

ディスプレイ	原因	対処のしかた
	ディスクの読み込みができない（露つき、傷、汚れ、ディスクが裏返し、対応していないファイル形式で記録されているなど）	• 汚れを拭き取ってください。 • ディスクを確認してください。 • ディスクのレーベル面を上にして挿入してください。
	ディスクの取り出しができない等、機械的な不具合	Honda 販売店で点検を受けてください。
	プレーヤー内部の温度上昇による一時停止状態	ディスクを取り出し、内部の温度が下がるまでお待ちください。

オーディオリモートコントロールスイッチ*

運転中にオーディオの操作をするためのスイッチです。



MODE スイッチ
スイッチを押すたびに、FM1→FM2→AM→CD/DVD→HDD→TV1→TV2→ビデオ→FM1の順に切り換わります。

音量調節スイッチ
▲を押す：音量が大きくなります。
▼を押す：音量が小さくなります。

CH スイッチ
- ラジオを聞いているとき。テレビを見ているとき。
  ＋を押す：プリセットされている次の放送局を選局します。
  －を押す：プリセットされている前の放送局を選局します。
- CD、HDD（サウンドコンテナ）を聞いているとき
  ＋を押す：スキップ（次の曲の頭出し）します。
  －を押す：リプレイ（再生中や前の曲の頭出し）します。
- DVDを見ているとき
  ＋を押す：スキップ（次のチャプターの頭出し）します。
  －を押す：リプレイ（再生中や前のチャプターの頭出し）します

オーディオリモートコントロールスイッチ

ディスクが挿入されている場合、CD/DVDに切り換わります。

HDDサウンドコンテナ、DVDの詳細については、「Hondaインターナビシステム」取扱説明書をご覧ください。

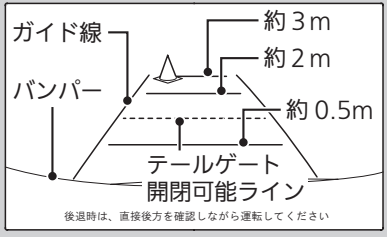
リヤカメラシステムについて

リヤカメラシステムは、バックモニター付きオーディオ装置及びナビゲーションシステムの画面に、車両後方の映像を表示させるシステムです。

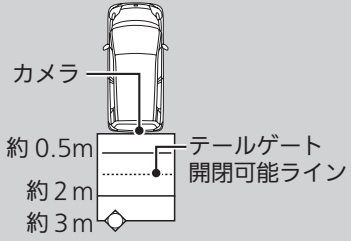
セレクトレバーをRに入れると自動的に画面が切り換わります。

■ 画面に表示される映像の範囲

画面の表示



実際の状況



リヤカメラシステムのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に表示される映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。

画面に表示される映像の範囲には限度があり、バンパーの両コーナー付近やバンパー下にあるものは表示されません。

リヤカメラシステムについて

Honda インターナビシステム装備車

エンジン始動直後は、セレクトレバーをRの位置に入れても、ナビゲーションシステムが起動するまでリヤカメラシステムのガイド線は表示されません。

⚠注意

後退時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認して運転する。

画面を見るときは、必要最小限にする

画面に表示される映像の範囲には限度があるため、画面だけを見て後退すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

リヤカメラシステムの映像は、オーディオ画面またはナビゲーション画面よりも優先して表示されます。

表示変更・調整の方法

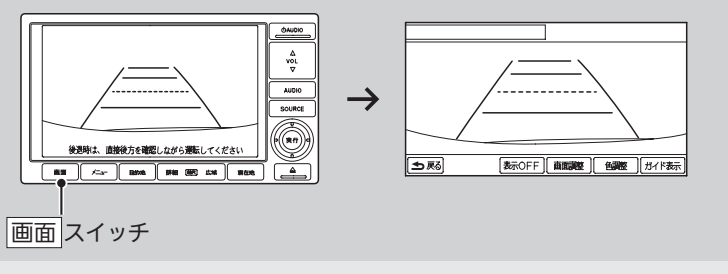
Hondaインターナビシステム装備車

リヤカメラシステムは、以下の表示変更が行えます。

- **ガイド表示** : 画面に表示されるガイド線の表示、非表示の切り替え
- **色調整** : 画面の色合い、色の濃さの調整
- **画面調整** : 画面の明るさ、コントラスト、黒の濃さの調整
- **表示 OFF** : 画面の表示を消す

■ 操作手順

操作手順	ガイド表示	色調整	画面調整	表示 OFF
1.	共通操作 エンジン停止を確認する。			
2.	共通操作 パーキングブレーキがかかっていることを確認する。			
3.	共通操作 エンジンスイッチを[II]の位置まで回す。			
4.	共通操作 セレクトレバーを[R]の位置に入れる。			
5.	共通操作 [画面]を押す。			

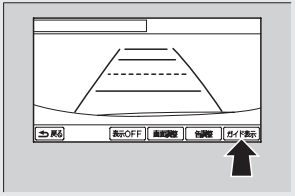
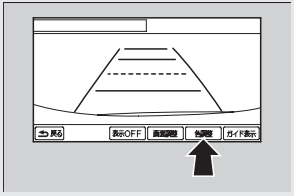
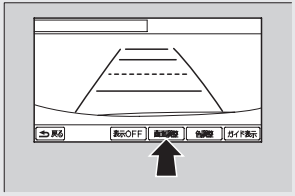
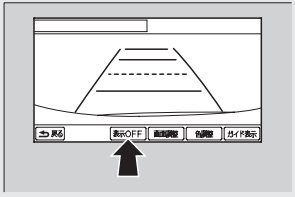
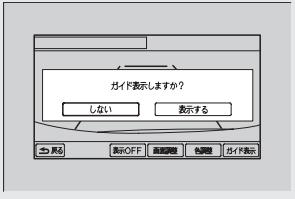
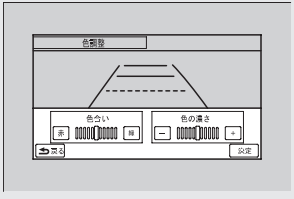
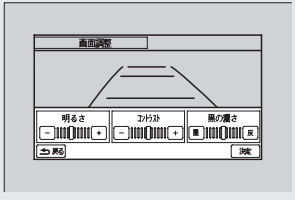


次ページに続く

表示変更・調整の方法

安全のため、エンジンを停止した状態で操作してください。

パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。

操作手順	ガイド表示	色調整	画面調整	表示 OFF
6.	「ガイド表示」にタッチする。 	「色調整」にタッチする。 	「画面調整」にタッチする。 	「表示 OFF」にタッチする。 ►画面の表示が消えます。 
7.	ガイド線を表示しないときは「しない」、表示するときは「表示する」にタッチする。 	**色合い**：「赤」または「緑」にタッチする。 **色の濃さ**：「ー」または「＋」にタッチする。 	**明るさ**：「ー」または「＋」にタッチする。 **コントラスト**：「ー」または「＋」にタッチする。 **黒の濃さ**：「黒」または「灰」にタッチする。 	―
8.	―	「決定」にタッチする。 ►調整が完了し、元の画面に戻ります。	「決定」にタッチする。 ►調整が完了し、元の画面に戻ります。	―

カメラ画像について

状態	考えられる原因	対処のしかた
カメラの画像が見えにくい	• 夜間や雨の日、および暗い場所 • カメラが高温になっている場合 • 太陽の光など強い光がカメラに直接差し込んでいる場合※1	気象条件などでカメラの画像が見にくいときは、目視やミラーで直接確認してください。
	• カメラのレンズに水滴や虫などが付いている場合 • カメラのレンズが汚れている場合	

※1 強い光がカメラに差し込んでいるときに、光源の周囲が白くぼやけるハレーション現象や、上下に光の筋ができるスミア現象が起きることがあります。

運転

この章では、運転操作、給油、アクセサリーなどについて記載しています。



運転の前に 155
運転操作
エンジンの始動 157
走行時の注意点 159
オートマチックについて 160
シフト操作 161
4WD（四輪駆動機構） 163
ブレーキ操作
ブレーキシステム 164
ABS（アンチロックブレーキシステム） 166
駐停車操作 167
給油
指定燃料について 169
給油のしかた 169
ターボ車について
取り扱い 172
エンジンオイルメンテナンス表示灯 173
アクセサリーと改造 175

運転の準備

運転を始める前に下記の項目を確認してください。

■ 車外での確認項目

- 窓やミラーの視界、灯火器類の光をさえぎるものがないか？
  - ► 霜、雪、氷が付着している場合は取り除きます。
  - ► 屋根に雪が積もっている場合は、走行時に滑り落ちて視界をさえぎる可能性があるため取り除きます。
    氷結しているときは、氷が溶けてから取り除いてください。
  - ► 足回りに氷塊が付着している場合は、部品を損傷しないよう注意しながら取り除きます。
- ボンネットは完全に閉まっているか？
  - ► 走行中にボンネットが開くと、視界がさえぎられて危険です。
- タイヤは正常か？
  - ► 空気圧、亀裂、損傷や異常な摩耗がないか確認します。
    ➔**タイヤの点検と整備** P.196
- 車の周囲に子供はいないか？
  車の周りに障害物はないか？
  - ► 運転席から見えない死角や、バックミラーでは確認できない死角がありますので、乗車する前に確認します。

■ 車内での確認項目

- 積み込んだ荷物が適切に固定されているか？
  - ► 不適切な荷物の積み込みは、タイヤに負担をかけたり走行中のバランスを維持できず危険です。

次ページに続く

» 車外での確認項目

アドバイス

ドアが凍結しているときは，無理にはがさずお湯をかけて溶かしてください。
無理にはがすと、ドアまわりのゴムがはがれます。お湯をかけた後は、凍結防止のため、水分をよく拭き取ってください。

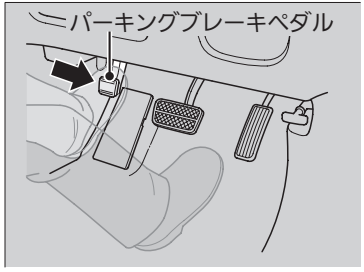
ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。
凍結すると、キーが差し込めなくなります。

» 車内での確認項目

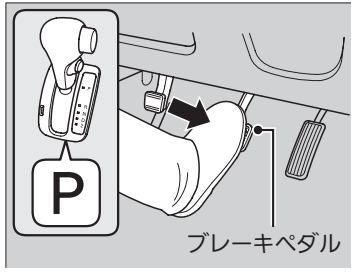
運転者は、携帯電話を走行中に使用しないでください。
運転者が運転中にハンズフリー以外の携帯電話を使用することは、法律で禁止されています。運転中の使用により周囲の状況に対する注意が不十分になると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 荷物はシートの高さを越えていないか？
  ▶ 後方視界を妨げたり急ブレーキのときに荷物が飛び出したりするおそれがあり危険です。
- フロントシートの足元にものを置いていないか？
  フロアマットがペダルに引っかかっていないか？
  ▶ ブレーキやアクセルの操作が確実にできないおそれがあり危険です。
- 動物を乗せるときは、動きまわらないようにしているか？
  ▶ 運転の妨げになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- シート位置などが適切に調節されているか？
  ▶ 不適切なシート位置での走行は危険です。
  シートの調節 P.95
- ルームミラー、ドアミラー、ハンドルは適切に調節したか？
  ▶ 正しい運転姿勢ですわり、それぞれ適切な位置に調節します。
  ミラー類の調節 P.92
  ハンドルの調節 P.91
- すべての乗員がシートベルトを締めているか？
  ▶ すべての乗員は必ずシートベルトを着用します。
  シートベルトの着用 P.24
- ドア、テールゲートが確実に閉まっているか？
  ▶ 走行前にすべてのドア、テールゲートが確実に閉まっているか確認します。
  車内での施錠 / 解錠 P.75
- エンジンをかけたとき、メーターに異常を示す警告灯などが点灯していないか？
  ▶ 異常を示す警告灯の異常を解決してから走行します。
  警告灯 P.53

エンジンの始動



1. パーキングブレーキをかける。



2. セレクトレバーが P であることを確認し、右足でブレーキペダルを踏む。
► N でも始動できますが、安全のため駆動輪が固定される P で行ってください。

次ページに続く

エンジンの始動

⚠警告

バッテリー液が不足しているときは、エンジンを始動しない。
バッテリーが破裂するおそれがあります。

⚠注意

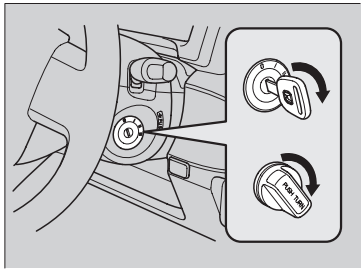
エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏む。

知識

寒いときのエンジンの始動は、すべての電気アクセサリーを OFF にしてから行います。
寒いときのエンジンの始動は、バッテリーの消耗を防ぐためライト類、エアコン、リヤデフロスターなどの電気アクセサリーをすべて OFF にしてから行ってください。

エンジンスイッチを 15 秒以上 III にしないでください。
エンジンがかかったらすぐに、手を離してください。自動的に II に戻ります。

Honda スマートキーシステム装備車
車を盗難から守るため、イモビライザーシステムのキーを採用しています。そのため、あらかじめ登録されたキーでないとエンジンの始動ができません。
➲ **イモビライザーシステム** P.78



3. アクセルペダルを踏まずに、エンジンスイッチを III に回す。
► エンジンがかかったら、エンジンスイッチを離します。

■ 発進時の操作

1. 右足でブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを D にする。
► 後退する場合は R にします。
2. パーキングブレーキを解除する。
► ブレーキ警告灯が消灯したことを確認してください。
パーキングブレーキ P.164
3. ブレーキペダルを徐々に離し、アクセルペダルをゆっくりと踏んで発進する。

エンジンの始動

知識

エンジンがかからない場合は、10 秒以上待ってから操作してください。
エンジンがかからない、かかってもすぐに止まる場合は、10 秒以上待ってからアクセルペダルを軽く踏みながら**手順 3** を繰り返してください。エンジンがかかったらアクセルペダルを離します。

アドバイス

排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えないときは、排気系や燃料系の異常が考えられます。
Honda 販売店で点検を受けてください。

発進時の操作

坂道での発進時は、必ずパーキングブレーキを併用してください。
車が後退しないよう、パーキングブレーキをかけたまま、先にブレーキペダルを離してアクセルペダルに踏みかえてから、パーキングブレーキを解除してください。

⚠注意

アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しない。
急発進して思わぬ事故の原因となります。

走行時の注意点

■ 霧が出たときは

霧が出たときは視界が悪くなります。昼間でもヘッドライトを下向きで点灯し、中央線、ガードレール、前走車のテールランプなどを目安にして、速度を落として走行してください。

■ 風が強いときは

風が強く車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、速度を徐々に落として進路を立て直します。
トンネルの出口、橋、土手の上、山を削った切り通しの走行時や大型トラックの追い越し時などには、特に横風の影響を受けやすいため、十分に注意してください。

■ 雨が降っているときは

雨天時は路面が滑りやすくなっているため、急ブレーキ、急加速、急ハンドルを避け通常より注意深く運転してください。
わだちなどの水のたまりやすい場所ではハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

冠水路などの深い水たまりは走行しないでください。エンジンの破損や電装品の故障につながるおそれがあります。

■ その他の注意点

走行中、床下に強い衝撃を受けたときは、思わぬ事故につながるおそれがあるため、ただちに安全な場所に停車してブレーキ液や燃料の漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。

走行時の注意点

走行中はエンジンを止めないでください。
下記のような状態になり危険です。
- ブレーキの倍力装置が作動しないため、ブレーキの効きが悪くなる
- パワーステアリングのパワー装置が作動しないためハンドル操作が重くなる

走行中はセレクトレバーを[N]にしないでください。
エンジンブレーキが全く効かず、思わぬ事故の原因となります。

車を移動するときは、必ずエンジンをかけてください。
下り坂を利用しての移動などは、思わぬ事故の原因となります。

1,000km 走行するまでは、エンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け、控えめな運転をしてください。

雨が降っているときは

ハイドロプレーニング現象に注意してください。
ハイドロプレーニング現象とは、路面が水でおおわれているところを高速で走行したときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いてハンドルやブレーキが効かなくなる状態のことをいいます。

オートマチックについて

■ クリープ現象

エンジンがかかっているとき、セレクトレバーがP N以外に入っていると動力がつながった状態になり、クリープ現象によりアクセルペダルを踏まなくても、車がゆっくり動き出します。

■ キックダウン

セレクトレバーがD D3で走行中にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、自動的に変速比が変わりエンジンの回転数が上がって、力強い加速を得ることができます。

クリープ現象

エンジン始動直後は、クリープ現象が強くなります。
エンジン始動直後やエアコン作動時は、自動的にエンジン回転が上がりクリープ現象が強くなりますので、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

急な上り坂での停車時、クリープ現象による前進の力よりも、後退しようとする力のほうが大きくなり、車が後退する場合があります。
ブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキをかけてください。

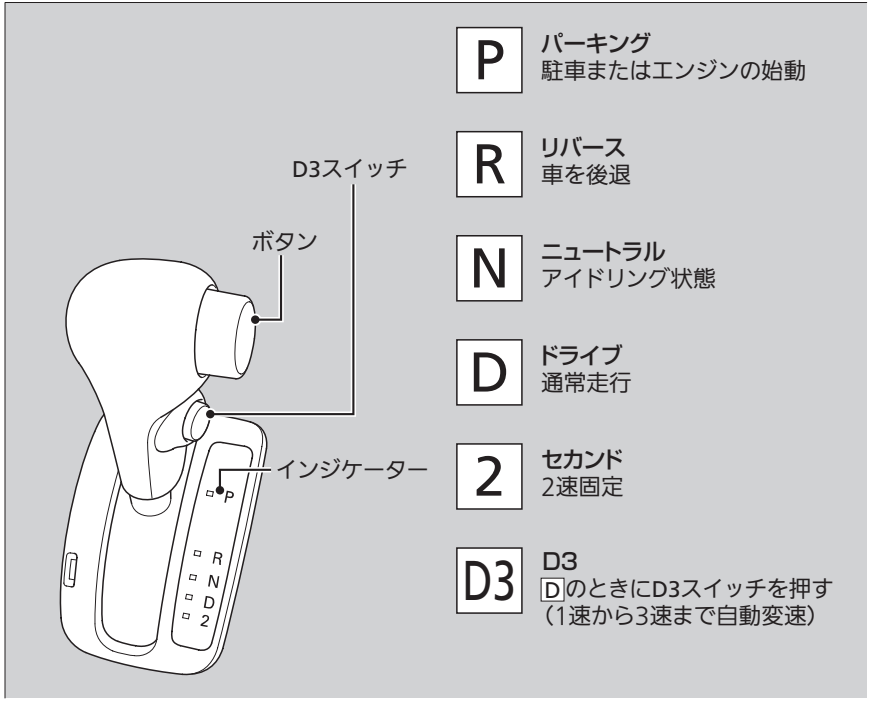
キックダウン

上り坂などでアクセルペダルを踏み込んだとき、キックダウンにより急にエンジン回転が上がり、速度が出すぎてしまうことがあります。
アクセルペダルは慎重に操作してください。
滑りやすい路面やカーブでは、特に注意が必要です。

シフト操作

走行状態に応じてセレクトレバーで切り換えます。

■ セレクトポジションの名称とはたらき



P パーキング
駐車またはエンジンの始動

R リバース
車を後退

N ニュートラル
アイドリング状態

D ドライブ
通常走行

2 セカンド
2速固定

D3 D3
Dのときに D3スイッチを押す
（1速から3速まで自動変速）

シフト操作

セレクトレバーがP以外のときは、エンジンスイッチが0まで回らないため、キーを抜くことはできません。

Rのポジションのときは、チャイム音が鳴り運転者にセレクトレバーがRに入っていることを知らせます。

Nのポジションのときでも、エンジンが冷えているときはトランスミッションオイルの粘性により、車がわずかに動き出すことがあります。
ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。

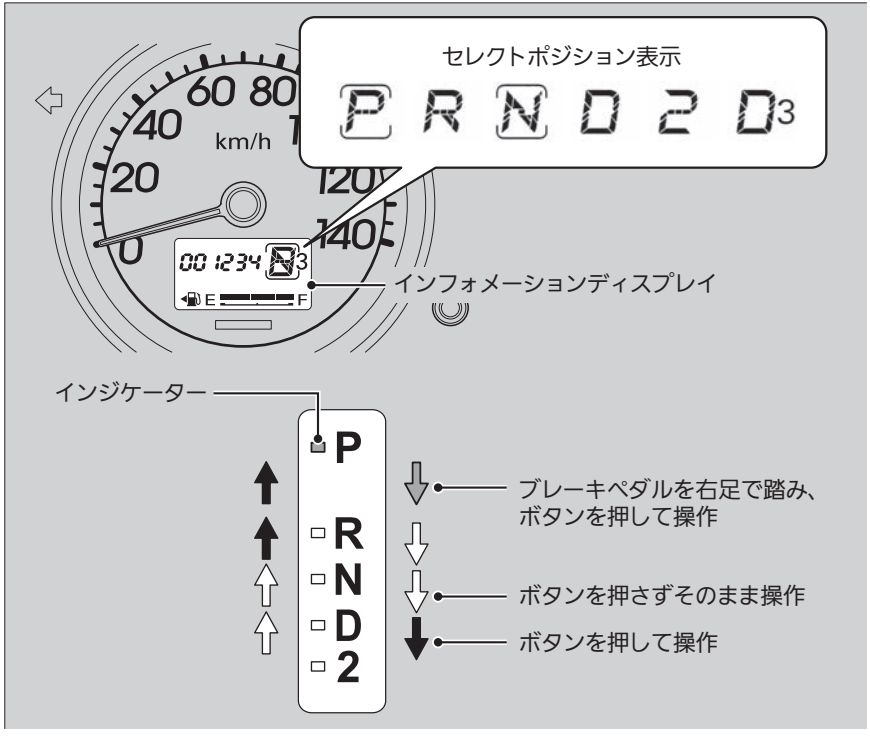
⚠注意

シフトダウンする際の車速には、十分注意する。
滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。

次ページに続く

■ セレクトレバーの操作

セレクトポジションは、セレクトレバーインジケーターと連動し、現在のポジションをメーター部のインフォメーションディスプレイに表示します。



セレクトレバーの操作

車を発進させるときは、思い違いによる事故を防ぐためにセレクトポジション表示でもセレクトレバーの位置を確認してください。

走行中にセレクトレバーをどのポジションにしても以下の表示が点滅しているときは、トランスミッションに異常があります。

急加速を避け、Honda 販売店で点検を受けてください。



知識

エンジンの回転をあやまって限界回転数以上で運転した場合、エンジン保護装置により燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じることがありますが、異常ではありません。

限界回転数 P.59

セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、セレクトレバーの操作ができないことがあります。

先にブレーキペダルを踏んでください。

アドバイス

前進から後退、後退から前進するときは車を完全に止め、ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーを操作してください。

車が完全に止まっていない状態でレバーを操作すると、トランスミッションを破損するおそれがあります。

4WD（四輪駆動機構）*

4WD（四輪駆動機構）は、積雪地、砂地、ぬかるみ、急坂路など滑りやすい路面において、2WD 車（二輪駆動車）に比べて走破性にすぐれていますが、万能ではありませんので以下の点に注意してください。

- アクセル、ハンドル、ブレーキ操作は一般の車と同じく慎重に行う
- 砂地、ぬかるみなど、前輪が空転しやすい場所での連続走行はしない
- 渡河などの水中走行はしない
- ブレーキ性能は 2WD 車と比べてほとんど差がないため、滑りやすい路面では十分に車間距離をとって走行する

4WD（四輪駆動機構）

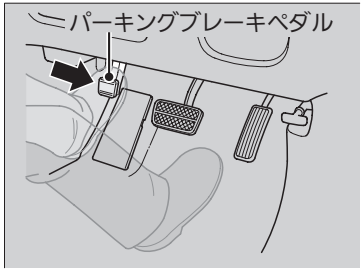
アドバイス

種類やサイズの異なるタイヤが混在していると、4WD が正常に機能しないことがあります。タイヤは必ず、同一指定サイズ、同一種類のタイヤを指定空気圧で使用してください。

ブレーキシステム

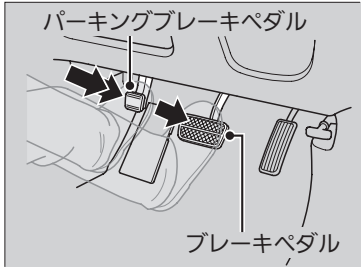
■ パーキングブレーキ

主に停車中や駐車時に使用するブレーキです。パーキングブレーキペダルにより操作します。



■ パーキングブレーキをかける

左足でパーキングブレーキペダルをいっぱいに踏み込みます。



■ パーキングブレーキを解除する

1. 右足でブレーキペダルを踏む。
2. 左足でパーキングブレーキペダルを踏み、ゆっくりと戻す。

» パーキングブレーキ

アドバイス

パーキングブレーキをかけたまま走行すると、リヤブレーキと車 軸が損 傷するおそれがあります。パーキングブレーキは完全に解除した状態で、走行してください。

知識

パーキングブレーキが完全に解除されていない状態で走行すると、「パーキングブレーキ戻し忘れ警告ブザー」が鳴ります。
完全に解除すると、ブザーは止まります。
停車したときも、ブザーは止まります。

パーキングブレーキを解除するときは、いったん停車してから操作してください。

駐車するときは、車が動き出さないように必ずパーキングブレーキをかけてください。

寒冷時は、凍結を防ぐためパーキングブレーキをかけないでください。
セレクトレバーを P にして、石などで輪止めをしておきます。

■ フットブレーキ

車の減速や停止をするためのメインのブレーキです。ブレーキペダルで操作します。
緊急制動時により大きな制動力を発生させるブレーキアシストが装備されています。

ABS 装備車

ブレーキのロックを防止する ABS（アンチロックブレーキシステム）で、安全性の向上を図っています。

➔**ABS（アンチロックブレーキシステム）** P.166

フットブレーキ

ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけてください。

不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。

水たまりを走行したときは、ブレーキの効き具合を確認してください。

効きが悪いときは、効き具合が戻るまでブレーキペダルを何回か軽く踏んでください。

知識

長い下り坂でブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなり危険です。そのため、長い下り坂などではエンジンブレーキを使用します。

アクセルペダルから足を離し、ギヤを低速にシフトすると、エンジンの回転抵抗で速度が落ちます。

ABS(アンチロックブレーキシステム)*

■ ABSとは

ABS（アンチロックブレーキシステム）とは、急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとするための装置です。

■ ABS の作動と警告灯

ブレーキペダルを踏んだとき、ブレーキペダルが小刻みに動くことがありますが、これは ABS の正常な動作です。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。なお、低速（車速約 10km/h 以下）では ABS は作動せず、通常のブレーキと同じ作動となります。



ABS 警告灯
エンジンスイッチを II にすると数秒間点灯し消灯するのが正常な状態。

ABS（アンチロックブレーキシステム）

ABS 警告灯が運転中に点灯するときや、エンジンスイッチを II にしても点灯しない場合は、システムの異常が考えられます。
通常のブレーキ操作には支障はありませんが、ABS が作動していない可能性があります。ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

ABSは、制動距離を短くするためのものではありません。
ABSを装備していない車両と同様に、路面が滑りやすいほど長い制動距離が必要になります。ABSが作動した状態でも車両の姿勢やハンドルの効きには限界がありますので、過信せず安全運転に心がけてください。また、次のような場合、ABSの装着されていない車両に比べ、制動距離が長くなることがあります。

- 砂利道、深い新雪、凸凹路などの悪路
- 舗装の継ぎ目やマンホールなどの段差
- タイヤチェーン装着時

エンジン始動直後や走行中、システムチェックのためエンジンルームからモーター音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

アドバイス

種類やサイズの異なるタイヤが混在していると、ABSが正常に機能しないことがあります。タイヤは必ず、同一指定サイズ、同一種類のタイヤを指定空気圧で使用してください。

停車する

1. セレクトレバーは[D]のまま、ブレーキペダルをしっかり踏む。
► 停車時間が長い場合は[N]にします。
2. 急な上り坂などでは、必要に応じてパーキングブレーキをかける。

» 駐停車操作

枯れ草や紙、油、木材など燃えやすいものがあるところには駐停車しないでください。
排気管や排気ガスの熱により、着火するおそれがあります。

植え込みなどの近くに駐停車するときは、排気ガスが植え込みに当たらないように車の向きを決めてください。

» 停車する

⚠注意

停車中の空ぶかしはしない。
万一、セレクトレバーが[P][N]以外に入っていた場合、思わぬ急発進のもとになります。

アドバイス

アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。また、上り坂で[P][N]以外に入れた状態で、アクセルを調節しながら車を停車させたりしないでください。
トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。

駐車する

1. セレクトレバーは[D]のまま、ブレーキペダルをしっかり踏む。
2. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかける。
3. セレクトレバーを[P]に入れる。
4. エンジンを切る。
► 車から離れるときは必ず施錠してください。

» 駐車する

⚠注意

駐車時はエンジンを止める。
万一、セレクトレバーが[P][N]以外に入っていた場合、クリープ現象により車が動き出したり、乗り込む際に誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するおそれがあります。

アドバイス

車が完全に止まらないうちに[P]に入れないでください。
トランスミッション破損の原因となります。

仮眠するときは、エンジンを止めてください。
無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

車内の見えるところに貴重品などを置かないでください。

車内にライターや炭酸飲料缶を放置しないでください。
車内温度上昇によりライターなどの可燃物が自然発火したり、缶などは破裂したりするおそれがあります。

積雪時は、ワイパーアームを起してください。
雪の重みでアームの取り付け部が破損することがあります。

指定燃料について

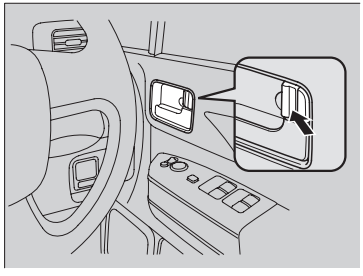
■ 指定燃料

無鉛レギュラーガソリン

■ タンク容量

2WD 車 30 リットル
4WD 車 31 リットル

給油のしかた



1. 助手席側にガソリンスタンドの給油機がくるように車を停める。
2. エンジンを停止させる。
3. ノブで運転席ドアを解錠する。
   ► 車の外側のフューエルリッドが解錠されます。

» 指定燃料について

指定燃料以外の燃料（有鉛ガソリン、粗悪ガソリン、軽油、灯油、高濃度アルコール含有燃料）を補給したり、不適切な燃料添加剤を使用しないでください。
以下のような状態になるおそれがあります。

- 触媒装置などの損傷
- エンジンや燃料系などの損傷
- エンジンなどへの悪影響

» 給油のしかた

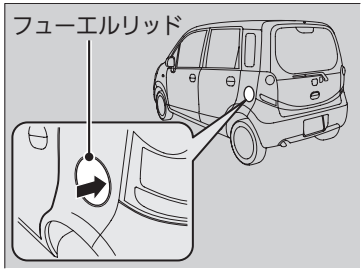
⚠警告

燃料補給時は火気厳禁。
燃料や燃料蒸気は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。燃料を扱っているときは下記の項目を厳守してください。

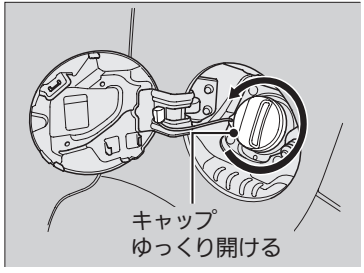
- エンジンは常に止める
- 炎、火花を近づけない
- たばこを吸わない
- 燃料の取り扱いは屋外で行う
- こぼれた燃料はすみやかに拭き取る

ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

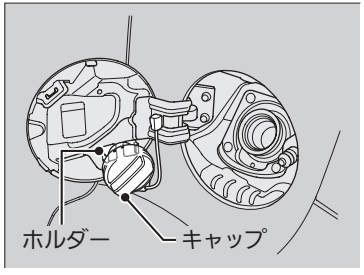
次ページに続く



4. フューエルリッドの右端を突き当たるまで押し、手を離す。
▶ リッドが少し浮き上がります。



5. ツマミをゆっくり回し、フューエルキャップを開ける。



6. キャップはホルダーにかける。
7. 給油ノズルを奥まで差し込み、給油する。
▶ 満タンになると、給油ノズルの自動停止がはたらき、給油が停止します。

給油のしかた

⚠警告

燃料補給作業は、フューエルキャップを開ける前に車体などの金属に触れて身体の静電気を除去してから行う。
静電気の放電による火花により気化したガソリンに引火し、やけどを負うおそれがあります。

知識

燃料補給は、静電気を放電した人のみで行ってください。
燃料補給中に車内に戻ると、再び帯電することがあります。再度、静電気を放電してください。

⚠注意

キャップはゆっくり開ける。
急激に開けると燃料補給口より吹き返しが発生し、火災になるおそれがあります。

「シュー」という音がする場合は、その音が止まってからゆっくり開けてください。

燃料蒸気を吸わないでください。
燃料成分には有害物質を含んでいる場合があります。

8. 給油後、「カチッ」という音が 1 回以上するまでキャップを締め付ける。
► フューエルリッドは、手で押さえ付けて閉めます。

給油のしかた

⚠注意

給油ノズルの自動停止後は、追加補給しない。
気温などの変化により燃料があふれ、火災になるおそれがあります。

キャップが確実に閉まっていることを確認する。
閉まっていないと燃料がもれ、火災になるおそれがあります。

Honda 純正以外のキャップを使わないでください。
純正品を使用しないと、火災などを起こすおそれがあります。

知識
気温などの変化により燃料があふれないように、タンク容量に達すると燃料タンクに空間を残して給油ノズルの自動停止がはたらくようになっています。

自動停止後に追加補給をすると、燃料が満タン容量以上に入ることがあります。

ターボ車について*

取り扱い

ターボ装置は、排気ガスの圧力でタービンを回してエンジンに大量の空気を圧縮して送り込み、より大きな馬力を引き出す非常に精密に作られた装置です。
ターボ装置の故障を防ぐため、必ず以下の点をお守りください。

- **高速走行、登坂走行直後はすぐにエンジンを止めない**
  必ずアイドリング運転を行い、ターボ装置を冷却します。

- **エンジン始動直後のエンジンが冷えているときは、空ぶかしや急加速はしない**

- **エンジンオイル、オイルフィルターの交換時期を必ず守る**
  タービンは毎分 10 万回転以上の高回転で回り、かつ700℃以上の高温になります。その潤滑と冷却はエンジンオイルにより行われます。したがって、定められた距離または期間でエンジンオイル、オイルフィルターの交換を行わないと、劣化したエンジンオイルによりタービン軸受部の固着や異音の発生など、故障の原因になります。

▨ターボ車について

エンジン停止前のアイドリング運転時間の目安は、下表の通りです。

運転状況	アイドリング時間
市街地、郊外などの一般走行	必要なし
高速走行	約 1 分
登坂路の連続走行	約 2 分

エンジンオイル、オイルフィルターの交換時期は、下表の通りです。

エンジンオイル	5,000km ごと または 6 か月ごと (どちらか早い方)
オイルフィルター	10,000km ごと または 1 年ごと (どちらか早い方)

推奨エンジンオイル P.182

知識

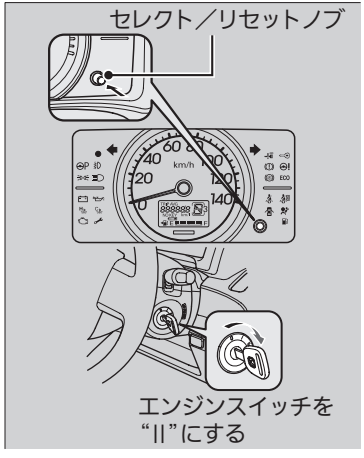
高速走行や山道走行などの高負荷で走行したあと、エンジンを再始動すると高水温警告灯が点滅または点灯することがありますが、機能的に問題はありません。約1分間アイドリング運転を行うか、走行すると警告灯は消灯します。

エンジンオイルメンテナンス表示灯

エンジンスイッチを II にしたときに、リセットしてからの走行距離に応じて、エンジンオイルの交換時期の目安を表示灯の点滅または点灯でお知らせします。

リセットしてからの走行距離	表示灯の状態
4,500km 未満	数秒点灯したあと、消灯
4,500km 以上　5,000km 未満	数秒点灯したあと、約 10 秒間点滅してから消灯
5,000km 以上	点灯 ▶ すみやかにエンジンオイルを交換してください。エンジンオイルを交換したあとは、表示灯をリセットしてください。

■ 表示灯のリセット

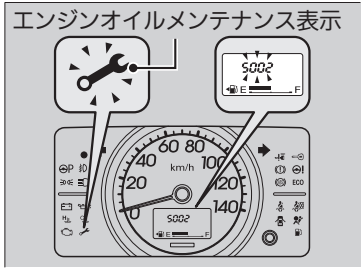


1. セレクト / リセットノブを押したまま、エンジンスイッチを II にする。

» 表示灯のリセット

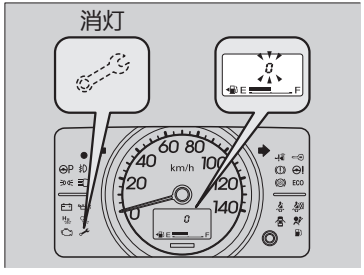
エンジンオイル交換後、走行距離をリセットするまで表示灯は点灯し続けます。
エンジンオイル交換直後にリセット操作を行わないと、次回の交換時期の表示を正しくできません。

次ページに続く



2. そのままセレクト / リセットノブを、エンジンオイルメンテナンス表示灯が点滅に切り換わるまで押し続ける。
▶ 同時にインフォメーションディスプレイの表示が前回リセットしてからの走行距離表示に切り換わり、点滅します。

3. エンジンオイルメンテナンス表示灯と走行距離表示が点滅を始めたら、セレクト / リセットノブから手を離す。



4. 再度、走行距離計が 0 になるまでセレクト / リセットノブを押す。
▶ 走行距離表示が0になると、エンジンオイルメンテナンス表示灯は消灯します。

5. セレクト / リセットノブから手を離す。
▶ インフォメーションディスプレイが通常表示に戻ります。

アクセサリー

アクセサリーを取り付ける場合は、下記の項目を確認してください。

- アクセサリーをフロントガラスに取り付けていないか?
  ► アクセサリーの揺れる動きが車外の状況認識を遅らせることがあります。また、吸盤がレンズのはたらきをして、火災につながるおそれがあります。
- フロントガラス、ドアガラスやフロント、センター、リヤの各ピラーまわりにアクセサリーを取り付けていないか?
  ► サイドカーテンエアバッグの作動の妨げになるので、上記の場所にはアクセサリーを取り付けないでください。

車の改造

Honda 純正部品以外の、車の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。

- 適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりします。
- Honda が国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、違反になることがあります。
- 車の改造はしないでください。不正改造は、法律に触れることはもちろん、思わぬ事故を起こす場合があります。

車の改造

車の性能、品質を維持するために、Honda 車に最も適した Honda 純正部品をお使いください。

純正部品には下記のマークが付いています。

HONDA

GENUINE PARTS

お求め、装着に際しては、Honda 販売店にご相談ください。

メンテナンス

この章では、基本的なメンテナンスについて記載しています。



メンテナンスの前に
- 点検整備について 177
- メンテナンスを安全に行うために 178
- メンテナンスに関する注意事項 178

ボンネット内のメンテナンス
- ボンネット内のメンテナンス項目 179
- ボンネットを開ける 181
- 推奨エンジンオイル 182
- ウィンドウォッシャー液の補給 182

電球の交換 183

ワイパーブレードラバーの点検と整備 193

タイヤの点検と整備
- タイヤの点検 196
- タイヤのローテーション 198
- 冬期のタイヤ 199

キーレスエントリー発信器/ Hondaスマートキー
- キーレスエントリー発信器/ Hondaスマートキーの取り扱いと電池交換 201

清掃
- 日常のお手入れ 203
- 車内の清掃 203
- 車外の清掃 204

点検整備について

道路運送車両法により、法定点検と日常点検が義務づけられています。正しい点検整備で、車を安全・快適にお使いください。
普段と違う点（音、におい、ブレーキ液の不足、地面に油のあとが残っているなど）に気づいたら、Honda 販売店で点検を受けてください。
点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートも併せてご覧ください。

■ 点検整備の種類

■ 日常点検
長距離走行前や洗車・給油時などに、お客様自身の判断で行う点検です。

■ 定期点検
12 か月および 24 か月ごとに実施する点検です。法律で定められているものと、Honda が指定するものがあります。

■ その他
新車時の無料点検や定期交換、厳しい使われかたをしたときの点検整備があります。

メンテナンスを安全に行うために

メンテナンスを行う際は、メンテナンスノートと下記の安全に関する注意事項をよくお読みのうえ、安全を確保して行ってください。
お客さま自身でメンテナンスを実施したときは、メンテナンス点検整備記録簿のメンテナンスレコードに記録してください。

■ メンテナンスを行う場所や備品についての安全事項

- 火災や爆発防止のため、タバコの火、火花、炎を引火性の液体やガスから遠ざける。

■ 車についての安全事項

- エンジンの排気ガスに含まれる一酸化炭素の毒作用に注意する。
  ▶ エンジンをかけるときは必ず十分な換気を行ってください。
- 熱くなった部品によるやけどに注意する。
  ▶ 部品に触れる前に、エンジンと排気システムを十分に冷やしてください。
- 可動部品によるけがに注意する。
  ▶ 指示されたとき以外は、エンジンをかけないでください。

メンテナンスに関する注意事項

■ メンテナンスサービスで使用する部品やオイル

メンテナンスサービスを受けるときは、Honda 純正部品やオイル類を使用することをおすすめします。Honda 純正部品は、車で使われている部品と同じ高品質の基準に基づいて製造されているため、性能と耐久性の面で安心です。

メンテナンスを安全に行うために

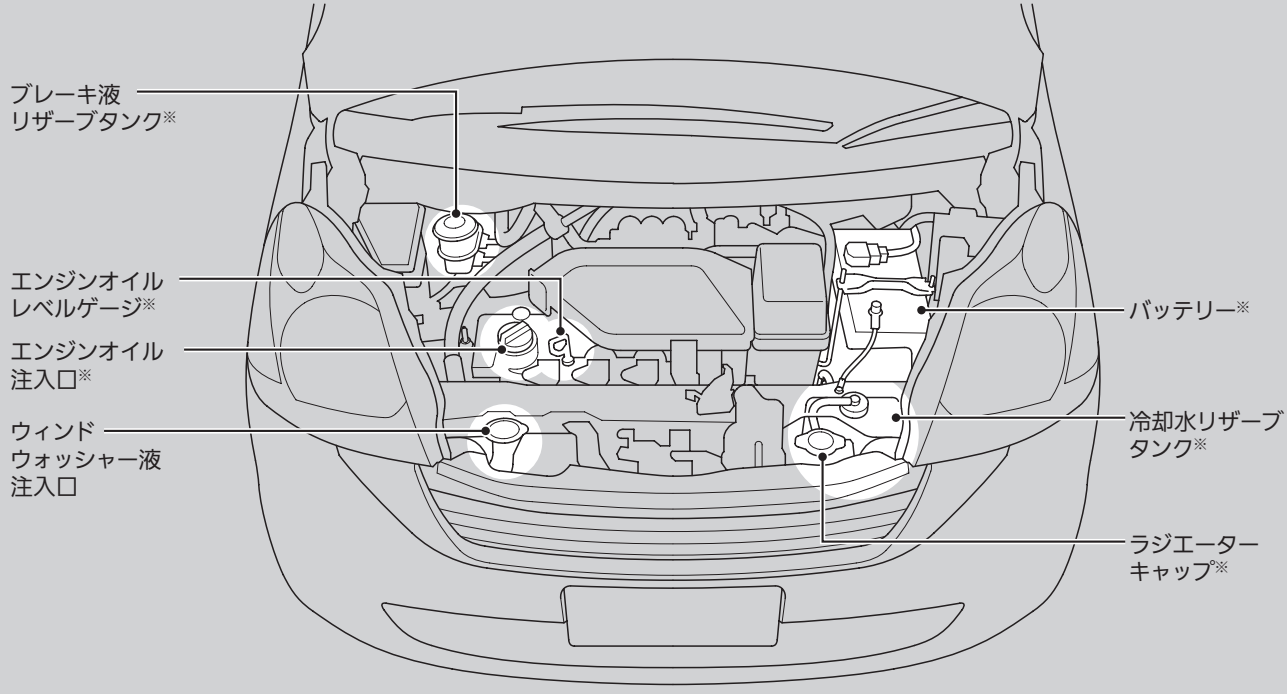
⚠警告

適切なメンテナンスを行い、走行前に故障がないようにする。
走行時に故障がある状態や、適切なメンテナンスがなされていないと、重大な傷害や死亡に至る事故を引き起こす可能性があります。
必ず、この取扱説明書に記載されている点検とメンテナンスに関する注意事項や別冊のメンテナンスノートに記載の点検時期を守ってください。

メンテナンスは、指示と注意事項を守って行う。
メンテナンスの指示と注意事項を守らないと重大な傷害や死亡のおそれがあります。
必ず、この取扱説明書に記載されている手順と注意事項を守ってください。

ボンネット内のメンテナンス項目

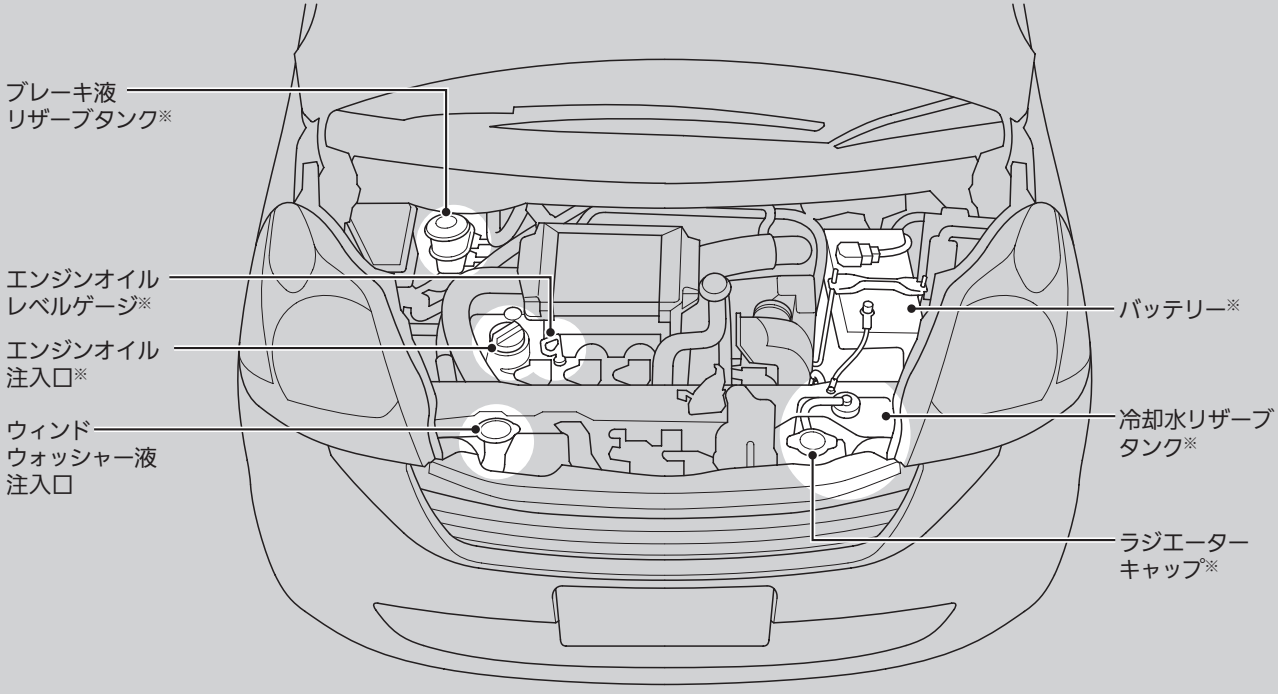
■ライフ



※：点検整備については、別冊の「メンテナンスノート点検整備について」をご覧ください。

次ページに続く

■ライフ（ターボ）

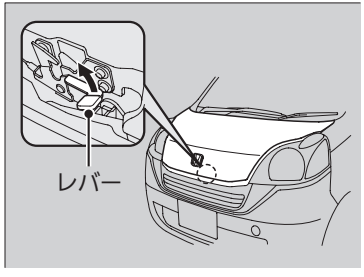


※：点検整備については、別冊の「メンテナンスノート点検整備について」をご覧ください。

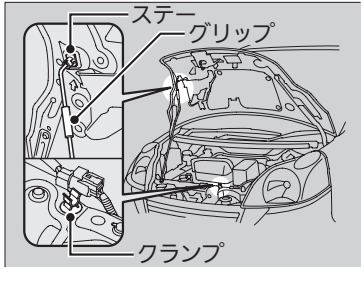
ボンネットを開ける



1. 車を停め、パーキングブレーキをかける。
2. 運転席足元にある、ボンネット解除ノブを引く。
▶ ボンネットが少し浮き上がります。



3. ボンネット中央のレバーを押しながらロック機構を解除し、ボンネットを開ける。



4. グリップを持ってステーをクランプから取り外し、ステーをボンネットにかける。

閉めるときは、ステーを外しクランプに納めてからボンネットを静かに下げて、約 25cm の高さから手を離します。

ボンネットを開ける

ワイパーアームを起こした状態で、ボンネットを開けないでください。
ボンネットがワイパーに当たり、ボンネットやワイパーが損傷することがあります。

ボンネットを閉めたときは、ボンネットが確実にロックされていることを確認してください。

⚠注意

ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意する。

推奨エンジンオイル

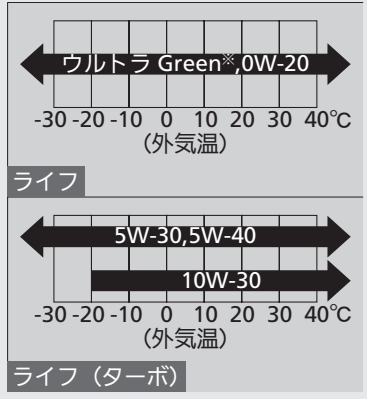
エンジンオイルは、量が少なかったり劣化したものを使用していると、エンジンの不調や破損につながることがあります。



推奨エンジンオイル：
Honda 純正エンジンオイル
Honda 純正エンジンオイル P.235、236
API SM 級以上かオイル缶に API CERTIFICATION（エーピーアイサーティフィケーション）マークの入ったエンジンオイル

推奨エンジンオイル

市販のエンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを下表にもとづきお使いください。

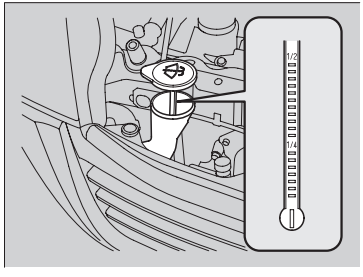


※：Honda 純正オイルです。Honda 販売店でお求めください。

冬期はエンジンオイルの劣化が激しくなります。冬期に主として短距離、市街地を運転する場合は、早めに交換してください。

ウィンドウォッシャー液の補給

ウォッシャー液の量は、キャップに付いているウォッシャー液レベルゲージにより確認します。



減っていた場合は、ウォッシャー液キャップを外し、ウォッシャータンクに補給します。

ウィンドウォッシャー液の補給

ウォッシャー液以外の液体を、タンクに入れないでください。

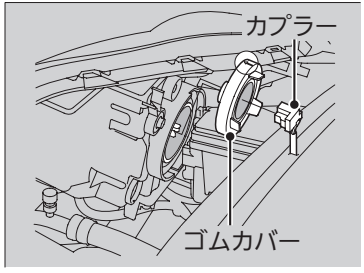
冬期はウォッシャー液の凍結を防ぐため、ウォッシャー液の濃度を上げてください。

ヘッドライト電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

ハロゲンヘッドライト	:12V ー 60/55W
ディスチャージヘッドライト	:12V ー 35W

■ ハロゲンヘッドライト*



1. カプラーを抜き取る。
2. ゴムカバーを取り外す。

» ヘッドライト電球

知識

ヘッドライト、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などによりレンズ内面が一時的に曇ることがありますが、機能上の問題はありません。ただし、レンズ内面に大粒の水滴が付いていたり、水がたまっていたりしている場合はHonda販売店で点検を受けてください。

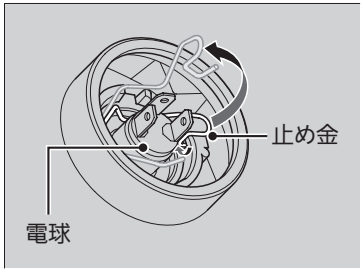
» ハロゲンヘッドライト

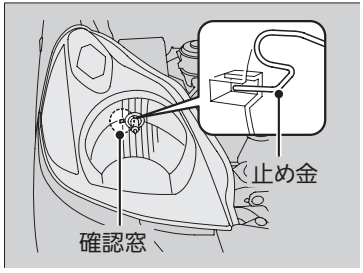
扱うときは口金の部分を持ち、ガラスが肌や固いものに触れないようにしてください。
ガラスに汚れがついたときは、中性洗剤の薄い水溶液を含ませたきれいな布で拭いてください。

アドバイス

ハロゲン球は非常に熱くなります。取り扱うときは、熱が冷めてから行ってください。また、ガラスに油、汗、傷がつくと、電球が過熱し割れるおそれがあります。

次ページに続く





3. 止め金を外し、古い電球を取り外す。
4. 新しい電球を取り付ける。
5. 止め金を元に戻し、ゴムカバーを取り付ける。
▶ 止め金の状態は、ヘッドライトの確認窓より確認できます。
6. カプラーを取り付ける。

■ ディスチャージヘッドライト*

電球の点検、交換は、必ず Honda 販売店に依頼してください。

» ディスチャージヘッドライト

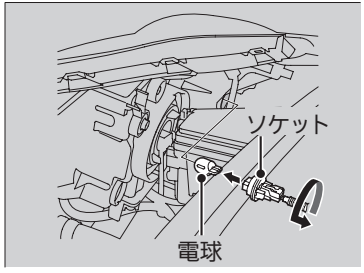
⚠注意

ディスチャージヘッドライトは高電圧を使用しています。
不適切な取り扱いや分解を行うと感電するおそれがあります。

前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯：12V ー 21W

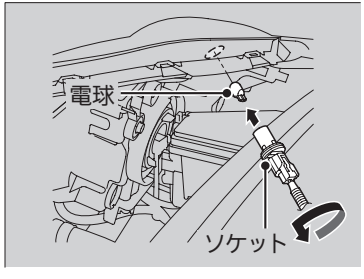


1. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
2. 新しい電球を差し込む。

車幅灯電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

車幅灯：12V ー 5W

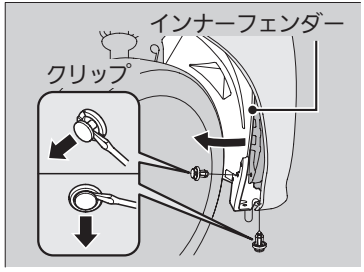


1. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
2. 新しい電球を差し込む。

フォグライト電球*

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

フォグライト：12V ー 35W



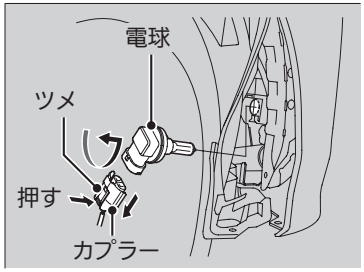
1. 交換する側と反対にハンドルをいっぱいに切る。
2. クリップを抜き、インナーフェンダーをめくる。

フォグライト電球

フォグライトはハロゲン球です。
扱うときは口金の部分を持ち、ガラスが肌や固いものに触れないようにしてください。
ガラスに汚れがついたときは、中性洗剤の薄い水溶液を含ませたきれいな布で拭いてください。

アドバイス

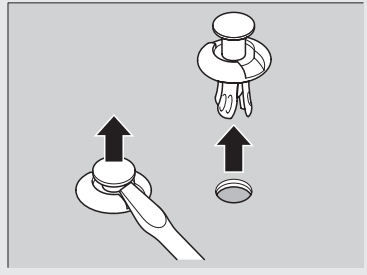
ハロゲン球は非常に熱くなります。取り扱うときは、熱が冷めてから行ってください。また、ガラスに油、汗、傷がつくと、電球が過熱し割れるおそれがあります。



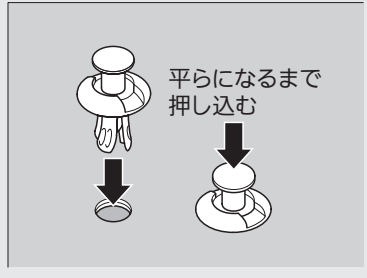
3. カプラーを外す。
► カプラーはツメを押しながら外します。
4. 古い電球を左に回し、抜き取る。
5. 新しい電球を右に回して固定する。
6. カプラーを押し込み、電球に取り付ける。

フォグライト電球

クリップを外すときは、クリップの切り欠き部にマイナスドライバーを差し込んで、中央部のピンを起こして取り外します。



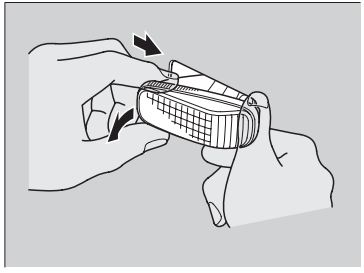
クリップを取り付けるときは、クリップ中央部のピンを起こしたまま差し込み、ピンを平らになるまで押してください。



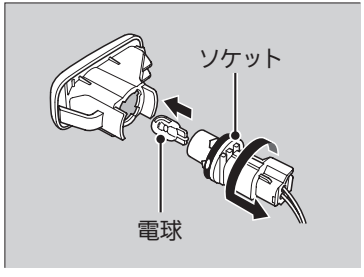
側面方向指示器 / 側面非常点滅表示灯電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

側面方向指示器 / 側面非常点滅表示灯：12V ー 5W



1. ランプ本体を後方にずらして取り外す。



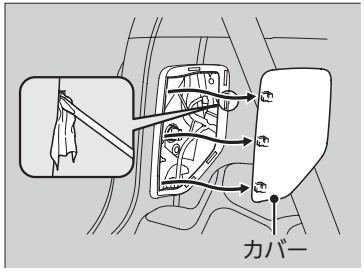
2. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。

3. 新しい電球を差し込む。

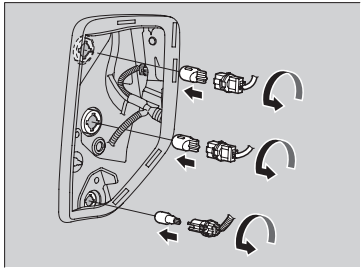
制動灯 / 尾灯、後面方向指示器 / 後面非常点滅表示灯、後退灯電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

制動灯 / 尾灯	:12V ー 21/5W
後面方向指示器 / 後面非常点滅表示灯	:12V ー 21W
後退灯	:12V ー 16W



1. カバーの切り欠き部にマイナスドライバーの先端を差し込み、カバーを取り外す。
▶ カバーが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。



2. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

ハイマウントストップランプ電球

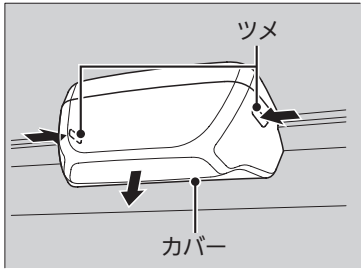
G、PASTEL、DIVA

ハイマウントストップランプは LED を使用しています。点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。

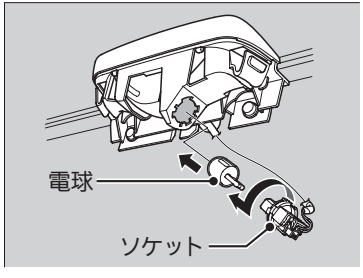
C

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

ハイマウントストップランプ：12V ― 21W



1. カバーのツメを押しながら、カバーを取り外す。



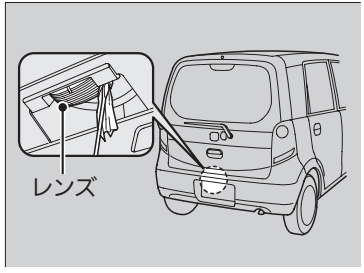
2. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。

3. 新しい電球を差し込む。

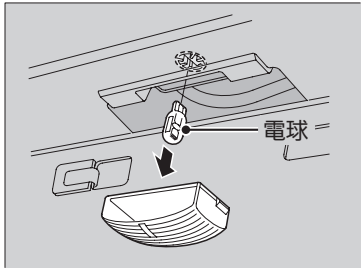
番号灯電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

番号灯:12V ー 5W



1. ドライバーを差し込んでレンズを外す。
► レンズが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。



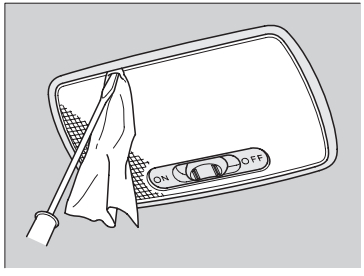
2. 古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

その他の電球

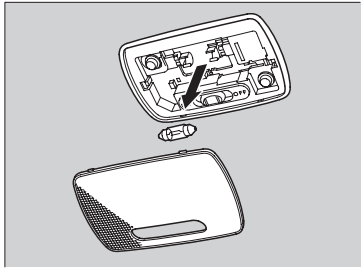
■ 室内灯電球

下記の電球をご使用ください。

室内灯：12V ー 8W



1. ランプ本体にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。
► ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

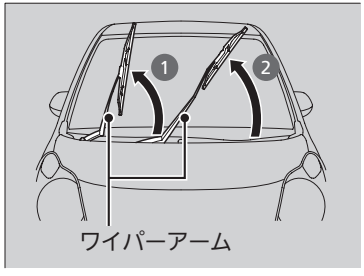


2. 古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

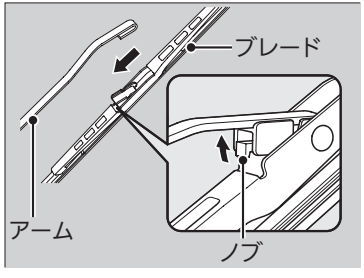
ワイパーブレードラバーの点検

ワイパーブレードラバーが傷んでいると、拭きムラになったり、ウィンドーガラスを傷つけたりします。定期的にワイパーブレードの状態を点検し、傷んでいる場合は交換してください。

■ ワイパーブレードの取り外し（フロントワイパーのみ）



1. 運転席、助手席の順にワイパーアームを起こす。



2. ノブを押し上げながら、アームからブレードをスライドさせて外す。

次ページに続く

» ワイパーブレードの取り外し（フロントワイパーのみ）

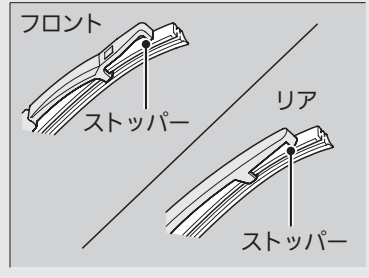
アドバイス

ワイパーアームを起こした状態でボンネットを開けたりワイパーを作動させたりすると、ボンネットとワイパーアームを損傷します。

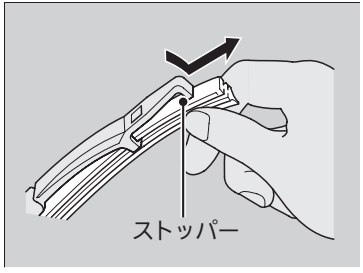
ワイパーアームを戻すときは、助手席側、運転席側の順に戻してください。

知識

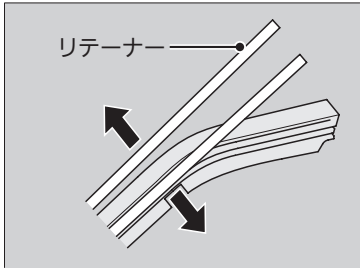
フロントワイパーとリヤワイパーではストッパーの形状などが異なりますが、同じ手順でラバーを交換できます。



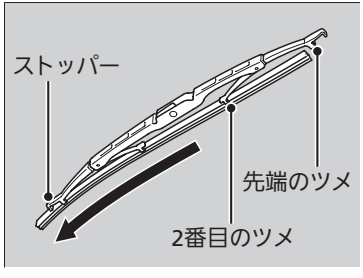
■ ワイパーブレードラバーの交換



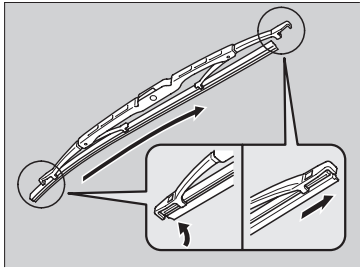
1. ラバーのストッパーがブレードのツメから外れるまで引き、そのままラバーをブレードから引き抜く。



2. 引き抜いたラバーからリテーナーを外し、新しいラバーに取り付ける。



3. ラバーをブレードの 2 番目のツメから差し込み、反対側のストッパーから約 2cm 引き出す。



4. ブレードの先端のツメにラバーを通して固定する。
► 正しく固定されているか確認してください。フロントワイパーは、その後ブレードをワイパーアームに取り付けます。

タイヤの点検

■ タイヤの点検について

タイヤが摩耗・損傷していたり、適正な空気圧でないと、安全な走行ができないばかりか乗り心地も損なわれます。
安全な走行のために求められるタイヤの条件は下記のとおりです。

- 種類とサイズが適正であること
- 接地面の状態が良好であること
- 空気圧が適正であること
- 摩耗、傷、亀裂、異物などがないこと

これらの条件を満たすために下記の点検を行い、常にタイヤを最適な状態に保ってください。

■ 日常的な点検

乗車前に必ず行う点検です。下記の項目を確認し、状況によってはメンテナンスをしてください。

- タイヤがつぶれているように見えないか？
  ► つぶれているように見えたら、すぐに空気圧をチェックしてください。
- 激しい摩耗、傷、亀裂、異物はないか？
  ► 状況に応じて、タイヤを交換してください。

タイヤの点検について

⚠警告

摩耗が激しいタイヤ、空気圧が適正でないタイヤを使用しない。
不適切なタイヤを使用すると、重大な傷害や死亡に至る事故につながるおそれがあります。

必ず、サイズと種類が適切なタイヤを使用する。
不適切なタイヤを使用すると、重大な傷害や死亡に至る事故につながるおそれがあります。

標準タイヤの仕様

タイプ	C、G、PASTEL	DIVA
サイズ	155/65R13 73S	165/55R14 72V
空気圧 (前輪)	210kPa [2.1kgf/cm^2]	230kPa [2.3kgf/cm^2]
(後輪)	200kPa [2.0kgf/cm^2]	200kPa [2.0kgf/cm^2]
リムサイズ	13×4.00B	14×4 1/2 J

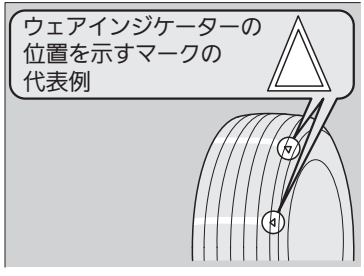
■ 空気圧測定器による点検

すべてのタイヤの空気圧を測定してください。空気圧が下がっている場合は、パンクを入念に調べます。
タイヤの指定空気圧は、巻末の資料を参照してください。
➡仕様 P.235、236

■ 損傷、異物、磨耗の点検

下記の項目を点検してください。

- タイヤの接地面と側面の突起、膨らみが正常か？
  ▶ 異常が見られた場合は、タイヤを交換する必要があります。
- タイヤ側面に、裂け目、亀裂がないか？
  ▶ 裂け目や亀裂がある場合は、タイヤを交換する必要があります。
- 接地面とウェアインジケーターが同じ高さになっていないか？



ウェアインジケーター（摩耗限界表示）
ウェアインジケーターはタイヤの接地面にあり、他の部分より溝が 1.6mm 浅くなっています。接地面が摩耗して、ウェアインジケーターと同じ高さになったら、タイヤを交換してください。

タイヤの点検について

タイヤの空気圧は、タイヤ温度が低いときに測定してください。
必要な場合は、指定空気圧になるまで空気を注入または排出してください。
タイヤが高温のときに空気圧を測っても、低温のときより高めになるため正しく測定できません。

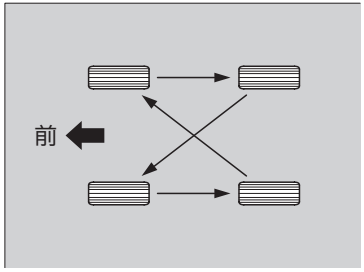
指定空気圧は、運転席横の車体に貼ってあるラベルにも記載されています。
この取扱説明書が手元にない場合は、車のラベルをご覧ください。

タイヤは、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。
サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると、ABS*、4WD*などが正常に機能しなくなったり、動力伝達装置に悪影響を与えたりします。

タイヤのローテーション

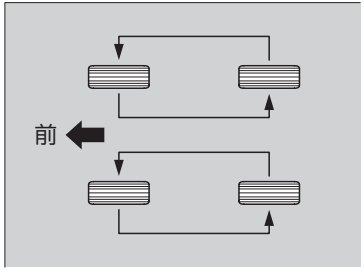
5,000km 走行したごとにタイヤローテーションをしてください。
タイヤローテーションを行うのは、特定のタイヤが摩耗するのを防ぐためです。

■ 回転指示マークがないタイヤの場合



左図のように、タイヤをローテーションさせます。

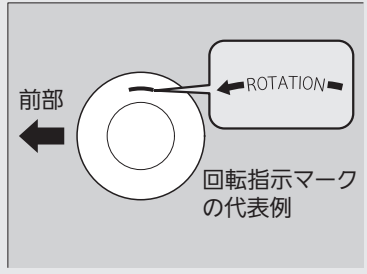
■ 回転指示マークがあるタイヤの場合



左図のように、タイヤをローテーションさせます。

タイヤのローテーション

タイヤ回転方向が指定されているタイヤには、タイヤ回転指示マークがあります。
下図のように回転指示マークが前へ向くように取り付けてください。



回転指示マークの代表例

冬期のタイヤ

雪道や凍結した道路を走行する場合は、スノータイヤやタイヤチェーンを装着し、速度を落として十分に車間距離をとって運転してください。
また、横滑りの原因となりますのでハンドルやブレーキの操作は、特に慎重に行ってください。

タイヤチェーンおよびスノータイヤは、走行条件や法令により装着が必要とされた場合に使用します。
装着する場合は、下記のポイントを参照してください。

■ スノータイヤ

- 四輪とも同じ種類のタイヤを選ぶ
- 四輪すべてにスノータイヤを装着する

冬期のタイヤ

アドバイス

サイズが不適切なチェーンを装着したり、装着のしかたが不適切だと、車のブレーキライン、サスペンション、ボディー、ホイールを損傷するおそれがあります。
チェーンが車のどこかに当たる場合、ただちに走行をやめてください。

次ページに続く

タイヤチェーン

- Honda 純正スチールチェーンを、付属の取扱説明書にしたがって前輪に装着する
- タイヤサイズに適合したチェーンを装着する
- ブレーキラインやサスペンションと接触していないか確認する
- ゆっくり走行する

冬期のタイヤ

タイヤチェーンは、2WD車、4WD車ともに前輪に装着します。
後輪には、タイヤチェーンを装着しないでください。

タイヤチェーンを装着したときは、30km/h以下の速度で走行してください。
なお、乾燥路面ではタイヤチェーンを装着したまま走行するのは避けてください。タイヤチェーンの摩耗を早めます。

キーレスエントリー発信器 /Honda スマートキーの取り扱いと電池交換

■ 取り扱いについて

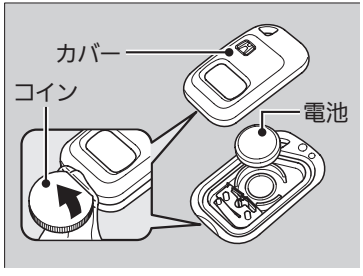
キーレスエントリー発信器 /Honda スマートキーの取り扱いは、下記の点に注意してください。

- 発信器を落としたり投げたりしない
- 温度が極端に高い / 低い場所に置かない
- 液体にひたさない

■ 電池交換のしかた

作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられます。Honda スマートキーは、ボタンを押したときにインジケーターが点灯しない場合は、電池切れです。電池を交換してください。

■ キーレスエントリー発信器



ボタン電池 CR1616

1. カバーを外す。

► カバーに傷が付かないように、コインに布などを巻いてカバーを取り外します。

» 取り扱いについて

キーレスエントリー発信器 /Honda スマートキーをなくした場合は、Honda 販売店へご連絡ください。

アドバイス

電池交換の際は、破損などのおそれがあるため、Honda 販売店での交換をおすすめします。

電池交換の際は、カバーを確実に取り付けてください。

確実に取り付けられていないと、耐水性能の低下や故障の原因となります。

知識

電池は Honda 販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。

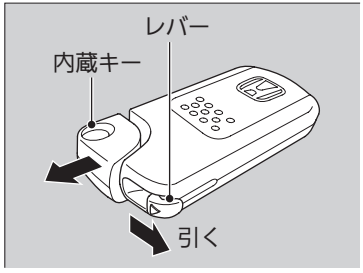
⚠注意

電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意する。

飲み込むと傷害を受けるおそれがあります。

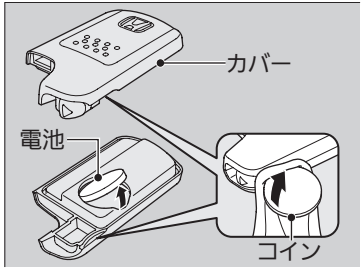
次ページに続く

■ Honda スマートキー



ボタン電池 CR2032

1. レバーを引きながら、内蔵キーを取り出す。



2. カバーを外す。
▶ カバーに傷が付かないように、コインに布などを巻いてカバーを取り外します。

3. ⊕と⊖を間違えないよう、電池を交換する。

日常のお手入れ

■ 走行後のお手入れ

走行後は、塗装面に付着したほこりなどを毛はたきなどで払い落としてください。飛び石などによる塗装面の傷は錆の原因になります。見つけたら早めに補修してください。

■ 洗車について

月に一度は洗車をするようにしてください。
以下の場合は、必ず洗車をしてください。

- 凍結防止剤を散布した道路を走行したとき
- 海岸地帯を走行したとき
- コールタール、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などが付いたとき

車内の清掃

内装の清掃は、ぬるま湯に中性洗剤を溶かしたものを柔らかい布に軽く含ませ、固く絞って汚れを落とします。その後、真水を含ませたきれいな布で、洗剤分をきれいに落としてください。

■ シートベルトの清掃

ぬるま湯に中性洗剤を溶かしたものをブラシにつけて清掃し、その後空気乾燥させます。

洗車について

凍結防止剤を散布した道路や、海岸地帯を走行したときの洗車は、フェンダーの内側を念入りに洗ってください。

車内の清掃

室内に水をかけないでください。
オーディオやスイッチなどの電装品に水がかかると故障の原因となります。

オーディオ、スイッチなどの電装品にシリコン系のスプレーを塗布しないでください。
故障や車両火災の原因となるおそれがあります。万一、電装品にシリコン系のスプレーを塗布したときは、Honda販売店にご相談ください。

ケミカル類、液体芳香剤は成分により、樹脂部品、布材の変色、しみ、ひび割れなどを起すことがあります。
ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤、酸、アルカリ性の溶剤は使用しないでください。

ケミカル類を使用したあとは、必ず乾いた布で軽く拭き取ってください。
使用した布をそのまま樹脂部品、布材の上に長時間放置しないでください。

液体芳香剤は、こぼさないよう確実に固定してください。
固形タイプの芳香剤のご使用をおすすめします。

車外の清掃

洗車は、十分に水をかけながら、下回り、足回りの汚れを落とします。塗装面は、屋根から順に下のほうへ水をかけながら、スポンジかセーム革のような柔らかいもので洗います。
汚れがひどい場合は、中性洗剤で洗い、水で完全に洗剤を落としてから水が乾かないうちに拭き取ります。

■ 自動洗車機を使うとき

- ドアミラーを格納する。
- ホイールカバー装備車は、自動洗車機のホイール専用ブラシを使わない。
- マイクロアンテナ装備車は、アンテナを取り外す。
- マニュアルアンテナ装備車は、アンテナを格納する。

■ 高圧洗浄機を使うとき

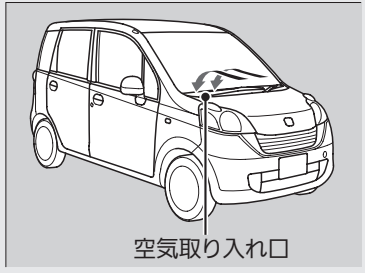
- 洗車ノズルと車体の距離を十分に離す。
- ドアガラスやドアまわりなど開閉部分は、特に注意して行ってください。近づけすぎると室内に水が入ることがあります。
- エンジンルームには水をかけない。

■ ワックスをかけるとき

ワックスは、月に 1 回程度または水をはじかなくなったときにかけてください。洗車した後や、車体表面温度が体温以下に下がっているときにかけるようにしてください。

車外の清掃

故意に空気取り入れ口や、エンジンルームに水をかけないでください。故障の原因になります。



ワックスをかけるとき

みがき粉（コンパウンド）入りのワックスは、使わないでください。塗装面に細かい傷が残ることがあります。
ワックスはHonda純正ケミカル用品をお使いください。

■ バンパーなどの樹脂塗装部品のお手入れ

樹脂塗装部品に、ガソリン、オイル、ラジエーター液、バッテリー液などが付着するとしみや塗膜はがれの原因となります。付着した場合は、すぐに柔らかい布で拭き取ってください。

■ ガラスのお手入れ

ガラスクリーナーなどで拭いてください。

■ アルミホイール* のお手入れ

アルミは塩分や汚れを嫌います。道路凍結防止剤や海水が付いたときは、スポンジに中性洗剤を含ませ汚れを早めに落としてください。

バンパーなどの樹脂塗装部品のお手入れ

樹脂塗装部品の補修をする場合は、Honda販売店にご相談ください。不適当な塗料を使うと塗膜を傷めます。

ガラスのお手入れ

リヤガラスは、ガラスの内側に電熱線やアンテナ線が装着されています。傷付けないよう、これに沿って柔らかい布で拭いてください。

アルミホイールのお手入れ

この車専用のホイールをお使いください。
専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。
ホイール交換は、Honda販売店にご相談ください。

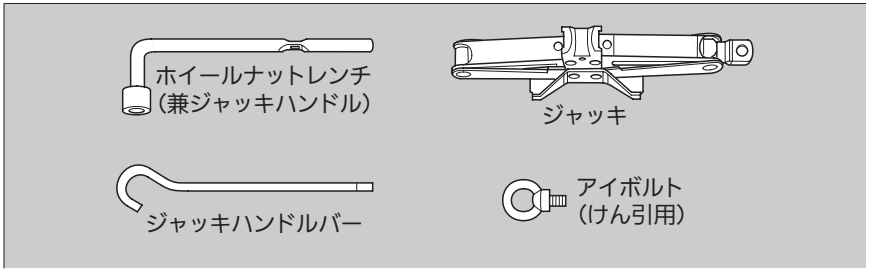


万一の場合には

この章では、万一の場合の対応方法について記載しています。

工具、発炎筒.....207
パンクしたとき.....208
ジャッキの取り扱い
　ジャッキのかけかた.....216
エンジンが始動しない
　エンジンの状態の確認.....218
　内蔵キーの差し込みかた.....219
ジャンプスタート.....220
セレクトレバーが動かない.....222
オーバーヒート.....223
警告灯の点灯/点滅.....224
ヒューズ
　ヒューズの設置場所.....227
　ヒューズの点検と交換.....229
けん引.....230
フューエルリッドが解錠できないとき.....232
テールゲートが開かないとき.....233

工具の種類



発炎筒

高速道路や踏切などの危険な場所で故障したときに使います。
発炎筒に記載されている次のことをよく読んであらかじめ確認しておいてください。

- 使いかた
- 使用上の注意
- 発炎時間
- 有効期限

工具の種類

➔ジャッキのかけかた P.216

発炎筒

⚠警告

ガソリンなどの燃えやすいもののそばで使わない。
火災や爆発のおそれがあります。

⚠注意

発炎筒を使うときは、以下のことに注意する。

- お子さまにさわらせないでください。いたずらなどにより発炎筒が発火して思わぬ事故ややけどの原因になります。
- 顔や身体に向けないでください。思わぬ事故ややけどの原因になります。
- トンネル内では視界を悪くするので使用しないでください。トンネル内では非常点滅表示灯を使ってください。

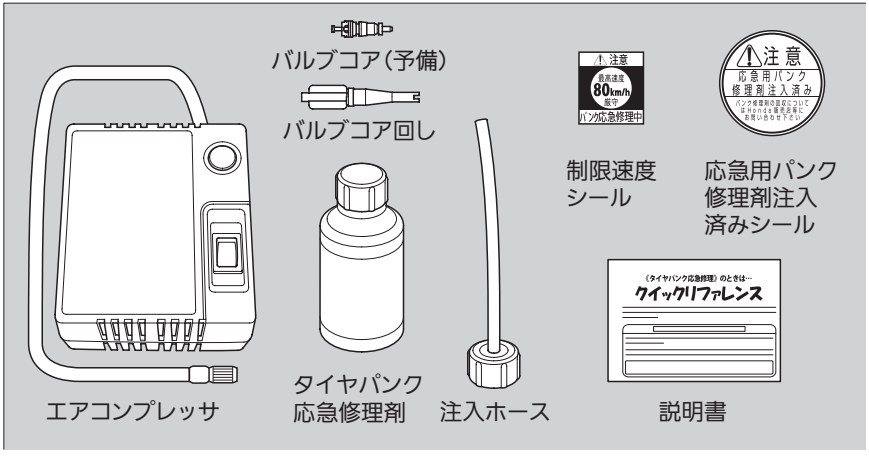
パンクしたタイヤの応急修理

運転中にタイヤがパンクしたときは、ハンドルをしっかり握り徐々にブレーキをかけてスピードを落とし安全な場所に停車してください。その後、特殊な薬剤でタイヤの内側から損傷を一時的に補修するタイヤパンク応急修理キットで応急修理をします。

■ 走行中、パンクに気がついたときは

1. 地面が固く、滑らない、水平なところに車を停める。
2. セレクトレバーを P に入れる。
3. パーキングブレーキをかける。
4. 非常点滅表示灯を点滅させ、エンジンスイッチを 0 にする。

■ タイヤ修理の準備



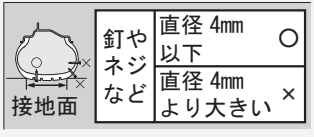
▨パンクしたタイヤの応急修理

以下のような場合、タイヤパンク応急修理キットは使用できません。Honda販売店またはロードサービスにご連絡ください。

- 応急修理剤の有効期限が切れているとき



- タイヤが2本以上パンクしているとき
- 約4mm以上の切り傷や刺し傷によるパンクのとき
- 路面接地部以外が損傷を受けパンクしたとき



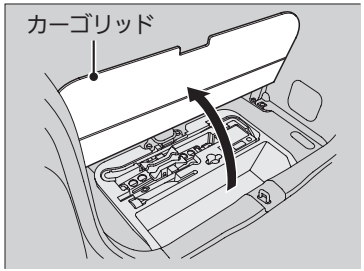
- ほとんど空気が抜けた状態で走行したとき
- タイヤがホイールから外れているとき
- ホイールが破損しているとき

アドバイス

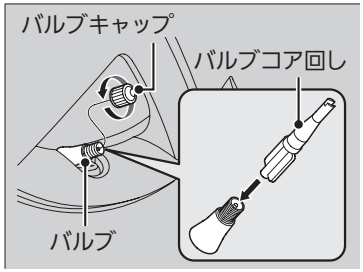
タイヤに刺さったクギなどは抜かないでください。

抜いてしまうと、タイヤパンクの応急修理キットでは応急処理が不可能になる場合があります。

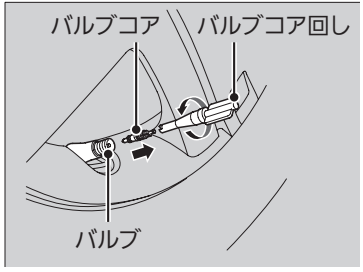
■ 応急修理剤の注入



1. カーゴリッドを開けて、タイヤパンク応急修理キットを取り出す。



2. バルブからバルブキャップを取り外す。
3. バルブコア回しの突起部分をバルブに押し当てて、タイヤの空気を完全に抜く。



4. バルブコア回しで、バルブコアを回して外す。
▶ 外したバルブコアは、汚れないようきれいなところに保管します。

次ページに続く

応急修理剤の注入

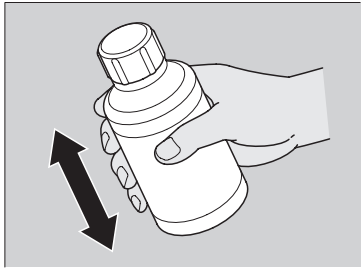
知識

応急修理をスムーズに行うため、タイヤパンク応急修理キットに付属の説明書をお読みください。

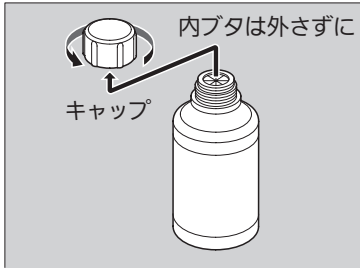
応急修理剤が衣類などに付着すると、落ちないおそれがありますのでご注意ください。

⚠注意

タイヤの空気は完全に抜く。
タイヤに空気が残っていると、バルブコアが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。



5. 応急修理剤のボトルをよく振る。



6. 応急修理剤のキャップを外す。
► 内ブタは取り外さないでください。



7. 応急修理剤の内ブタを付けたままの状態で、ボトルに注入ホースを取り付ける。
► 注入ホースをねじ込むと、内ブタが破れます。

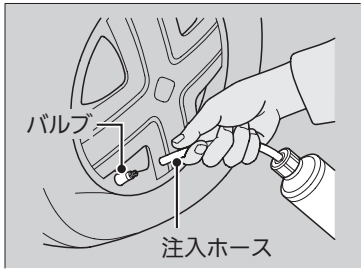
応急修理剤の注入

⚠注意

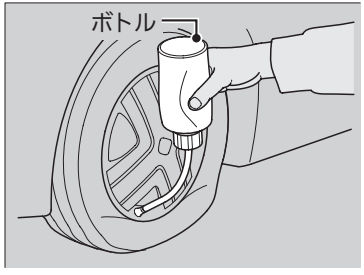
応急修理剤の取り扱いに注意する。

- 誤って飲用した場合は、できるだけたくさんの水を飲み、ただちに医師の診察を受けてください。
- もし目に入ったり皮膚に付いた場合は、水でよく洗い流してください。異常を感じたときはただちに医師の診察を受けてください。
- お子さまが誤って手を触れないよう、保管、取り扱いに注意してください。

注入ホースを取り付けたあと、応急修理剤のボトルを振らない。
修理剤が注入ホースから飛び出るおそれがあります。

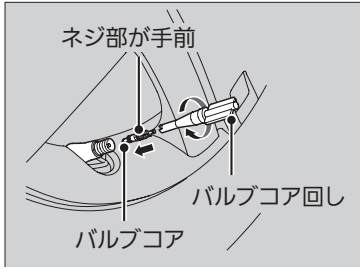


8. 注入ホースをバルブに差し込む。



9. 応急修理剤のボトルを逆さまに持ち、ボトル内の修理剤を全てタイヤの中に注入する。
▶ 全ての修理剤がタイヤの中に入るよう、手でボトルを何回も圧迫してください。

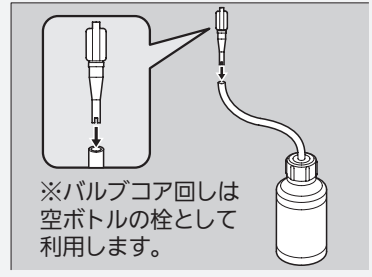
10. 注入後、注入ホースをバルブから引き抜く。



11. バルブコアをバルブに取り付け、バルブコア回しで回し、しっかりねじ込む。

応急修理剤の注入

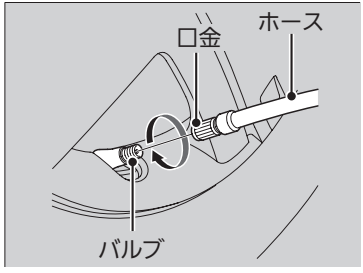
注入が終わった空ボトルから修理剤がもれないよう、バルブコア回しで注入ホースに栓をしてください。



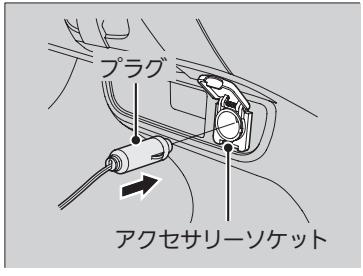
注入後の空ボトルは、タイヤ修理時に使用済み応急修理剤の回収に使用します。捨てずに、Honda販売店か専門修理工場までお持ちください。

次ページに続く

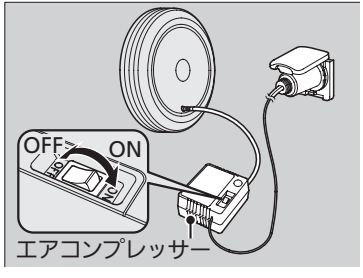
■ エアの注入



1. エアコンプレッサーを準備する。
2. バルブにエアコンプレッサーのホースを確実に取り付ける。



3. エアコンプレッサーの電源コードのプラグを、アクセサリーソケットに差し込む。
4. エンジンスイッチを I にする。



5. エアコンプレッサーのスイッチを ON にして、空気を入れる。

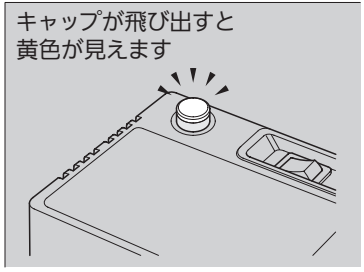
エアの注入

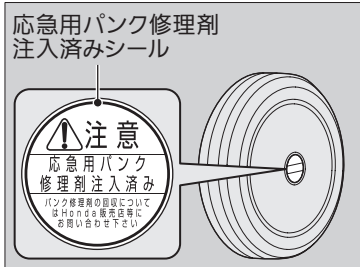
エアコンプレッサーの電源をONにすると、振動して音が聞こえますが、故障ではありません。

知識

備え付けのコンプレッサーは、乗用車タイプの空気充填用です。取り扱いの際には、以下の点にご注意ください。

- エアコンプレッサーの電源は自動車用12V専用です。他の電源は使用しないでください。
- 使用中、エアコンプレッサーの表面が熱くなります。15分以上は連続して使用しないでください。また、再使用する場合は、エアコンプレッサーが冷えてからお使いください





6. エアコンプレッサーのキャップの飛び出しを確認する。
► 空気の注入が終了すると、キャップが飛び出し、「ピー」と鳴ります。
指定空気圧 P.235、236
► キャップの黄色部が見えていることを確認します。

7. エアコンプレッサーのスイッチを OFF にする。

8. タイヤパンク応急修理キットを格納する。

9. 修理が完了したタイヤに、応急用パンク修理剤注入済みシールを貼る。
► タイヤのホイールの平らな部分に貼ってください。

エアの注入

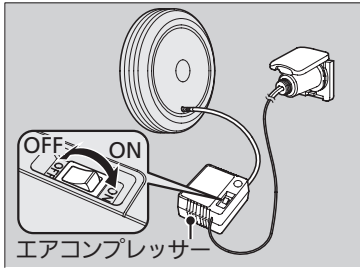
10分 以 内にキャ ップが飛び出さない場 合は、応急修理剤による応急修理はできません。Honda販売店やロードサービスに連絡してください。

次ページに続く

■ 点検走行

応急修理剤および空気の注入後も、しばらくの間はパンク穴から空気が漏れています。法定速度を守って注意深く運転しながら空気圧を点検し、応急修理を完了させます。

なお、応急修理は特殊な薬剤でタイヤの内側から損傷を一時的に補修したものです。応急修理完了後も慎重に運転し、できるだけ早く Honda 販売店または専門修理工場で、タイヤの修理、交換を行ってください。



1. 点検走行を開始する。
▶ 法定速度を守ってください。高速道路では 80km/h 以下を厳守してください。
2. 10 分または 5km 走行したあと安全な場所に車を停める。
3. 再度エアコンプレッサーを接続する。

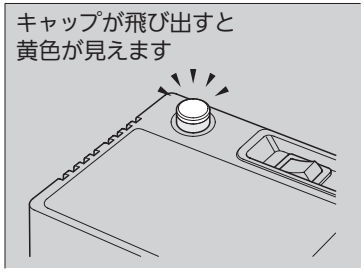
▨点検走行

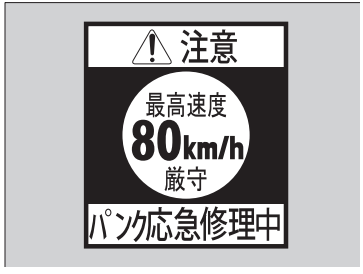
走行前に、エアコンプレッサー、空ボトルなどの積み忘れがないか、しっかりと確認してください。

⚠注意

走行中異常を感じたら、ただちに運転を中止する。

応急修理剤での補修が不完全な場合、、空気圧が低下して安定性を損なうおそれがあります。運転をやめ、Honda 販売店またはロードサービスに連絡してください。





4. エアコンプレッサーのスイッチを ON にして、キャップの飛び出しを確認する。
- ▶ 空気の注入が終了すると、キャップが飛び出し、「ピー」と鳴ります。
- ▶ 1 分以内にキャップが飛び出し、キャップの黄色部が現れれば、応急修理は完了です。
- ▶ 1 分以内にキャップが飛び出ない場合は、運転を中止して Honda 販売店またはロードサービスに連絡してください。

5. エアコンプレッサーのスイッチを OFF にして、格納する。

6. 速度制限シールを、運転者のよく見える位置に貼る。

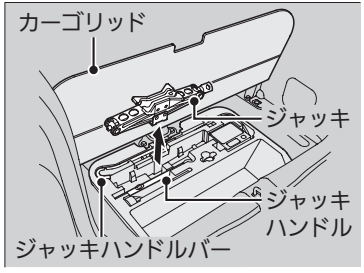
» 点検走行

⚠ 注意

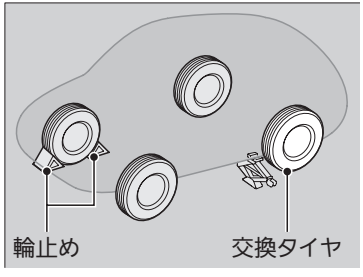
ハンドルのパッドにシールを貼らない。
SRS エアバッグが正常に機能しなくなります。

警告灯やスピードメーターが見えない位置に貼らない。
安全運転の妨げとなります。

ジャッキのかけかた



1. カーゴリッドを開けて、ジャッキ、ジャッキハンドルバー、ジャッキハンドルを取り出す。
2. パーキングブレーキをかける。



3. 交換するタイヤの対角線上にあるタイヤの前後に、石などで輪止めをする。
4. 交換するタイヤに最も近いジャッキポイントの下にジャッキを置く。

ジャッキのかけかた

⚠警告

車がジャッキだけで支えられているときは、車の下に入らない。
車がジャッキから外れて、車の下にいる人が重大な傷害を負うおそれがあります。

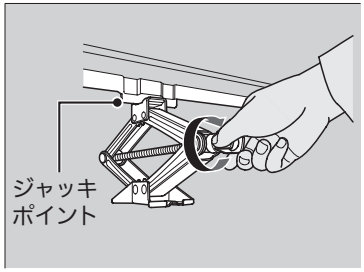
⚠注意

ジャッキを使うときは安全のため、次のことを必ず守る。

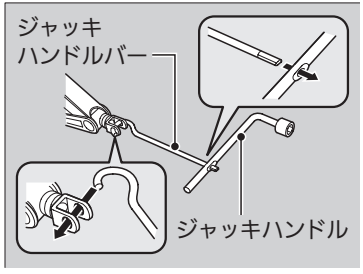
- エンジンをかけたままにしない
- 地面が固い平らなところ以外では使用しない
- ジャッキポイント以外にかけない
- 人や荷物を乗せたままにしない
- ジャッキ使用中に車内に入らない
- ジャッキの上や下にものを入れたりしない

知識

この車に搭載されているジャッキをお使いください。
他のジャッキでは支えられる重量（呼荷重）が不足したり、形状が合わないことがあります。



5. ジャッキの上部がジャッキポイントに接触するまで図の部分を矢印の方向に回す。
▶ ジャッキの溝にジャッキポイントがはまったことを確認します。

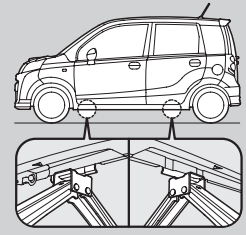


6. タイヤが地面から離れるまで車体を上げる。

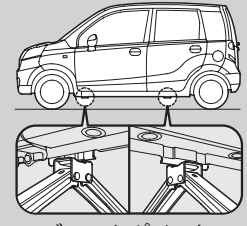
ジャッキのかけかた

ジャッキをかける位置は、下記の通りです。

サイドスポイラー装備車



サイドスポイラー非装備車



エンジンの状態の確認

エンジンが始動しない場合、エンジンスイッチを[III]にして、スターターの状態を確認してください。

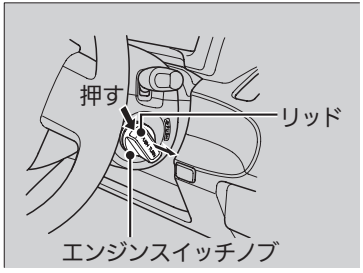
エンジンの状態の確認

すぐに車を動かす必要がある場合は、ブースターバッテリーを利用してジャンプスタートさせます。
ジャンプスタートの方法 P.220

スターターの状態	確認項目
スターターが全く回らない！ スターターの回転が非常に遅い！ バッテリーがあがっていることなどが考えられます。右記の項目をチェックして適切な対応をしてください。	室内灯などの明るさを確認する 室内灯などを点灯し、明るさを確認します。 • 室内灯などが非常に暗い、または全く点灯しない場合 • 室内灯などの明るさに問題がない場合 **ヒューズの点検と交換** P.229
スターターは正常に回るが… ヒューズに問題があることなどが考えられます。右記の項目をチェックして適切な対応をしてください。	エンジン始動の手順を実行する もう一度、正しいエンジン始動操作をしてみてください。 **エンジンの始動** P.157 イモビライザーシステム表示灯を確認する イイモビライザーシステム表示灯が点滅しているときは、エンジンの始動ができません。 **イモビライザーシステム** P.78 燃料の量を点検する 燃料が入っているか確認してください。 **燃料計** P.59 ヒューズを点検する 全てのヒューズを確認してください。ヒューズに問題がない場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。 **ヒューズの点検と交換** P.229

内蔵キー* の差し込みかた

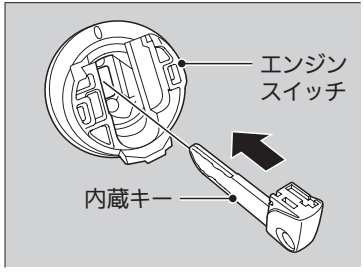
Honda スマートキーによるエンジンスイッチの操作や始動ができない場合、内蔵キーを使ってください。



1. エンジンスイッチノブのリッドを外す。
▶ リッド上端を押しながらリッドを外します。



2. エンジンスイッチノブを外す。
▶ 内側のツメを、内蔵キーの先端で押して外します。



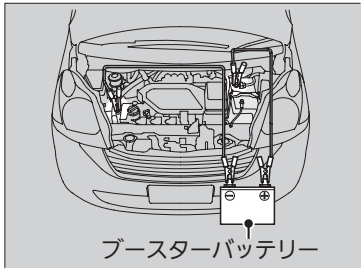
3. エンジンスイッチに内蔵キーを差し込む。

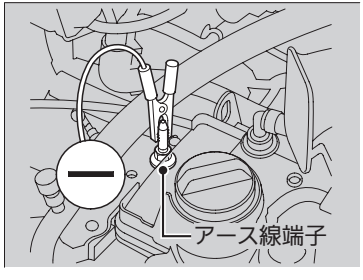
ジャンプスタートの方法

ジャンプスタートとは、他の車のバッテリーなどとブースターケーブルでつなぐことで電気を一時的に供給しエンジンをスタートさせる方法です。

■ 処置のしかた

まず、ボンネットを開け、バッテリーの状態を確認します。バッテリー液が凍っている場合はバッテリー液が溶けるまでジャンプスタートはできません。
次に、オーディオやライトなどの電源を OFF にしてください。
ブースターケーブルのクリップは、エンジンの振動などで外れないように確実に固定してください。また、ケーブルの巻き込みに注意してください。





1. ブースターケーブルを、自車のバッテリーの⊕端子に接続する。
2. ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの⊕端子に接続する。
   ► 救援車には、12V のバッテリーを装着している車を使用してください。
3. もう 1 本のブースターケーブルを、救援車のバッテリーの⊖端子に接続する。
4. ケーブルの反対側を、自車のエンジンのアース端子に接続する。
5. 救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにする。
6. 自車のエンジンをかける。

▨ ジャンプスタートの方法

⚠警告

ジャンプスタートは、正しい手順で慎重に行う。
ジャンプスタートの操作を間違えると、バッテリーが爆発し、重大な傷害を受けるおそれがあります。
タバコの火、火花、炎をバッテリーから遠ざけ、正しい手順で行ってください。

寒冷時は、バッテリーの性能が低下します。
エンジン始動に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や補充電をしてください。

アドバイス

金属どうしがきちんと接続されているか確認してください。ケーブルをエンジンのアース以外の端子に接続しないでください。

バッテリー液が不足しているときは、使用しないでください。バッテリー内部の劣化が進むおそれがあります。

気温が極端に低い場所にバッテリーを長時間にわたって置くと、内部のバッテリー液が凍結するおそれがあります。バッテリー液が凍結したバッテリーでジャンプスタートすると、バッテリーが壊れることがあります。

■ エンジン始動後の作業

自車のエンジンが始動したら、下記の手順でブースターケーブルを取り外します。

1. 自車のエンジンのアース端子からケーブルを外す。
2. ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの⊖端子から外す。
3. 自車のバッテリーの⊕端子からケーブルを外す。
4. ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの⊕端子から外す。

Honda 販売店や最寄りのガソリンスタンドなどで点検を受けてください。

エンジン始動後の作業

ブースターケーブルの端子どうしが接触しないよう注意してください。

⚠警告

バッテリーを扱うときは、火気を近づけない。
バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると、バッテリーが爆発し、重大な傷害を受けたり死亡したりするおそれがあります。
バッテリーを扱うときは、保護衣・保護面を着用するか、Honda 販売店でバッテリーのメンテナンスを受けてください。

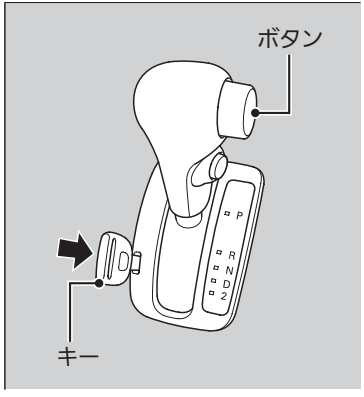
バッテリー液の取り扱いに注意する。
バッテリー液は希硫酸です。目や皮ふに付くとその部分が侵されますので十分注意してください。
- 万一、付着したときはすぐに多量の水で少なくとも 5 分間以上洗浄する
- 飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲む

応急処置後は、専門医の診察を受けてください。

セレクトレバーが動かない

セレクトレバーが、 P の位置でロックされて動かなくなったら、下記の方法で解除してください。

■ ロックを解除する



1. パーキングブレーキをかける。
2. エンジンスイッチからキーを抜く。
► Honda スマートキー装備車はエンジンスイッチを 0 （プッシュオフ）にします。
3. シフトロック解除穴にキーを差し込む。
► Honda スマートキー装備車は内蔵キーを差し込みます。
4. キーを押しながらセレクトレバーのボタンを押し、セレクトレバーを N に入れる。
► ロックが解除されました。Honda 販売店で、早めに点検を受けてください。

オーバーヒートしたときの対処方法

次のようなときは、オーバーヒートです。

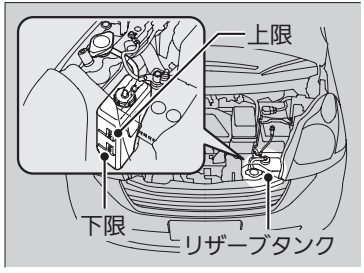
- 高水温警告灯が点灯したり、エンジンの力が急に落ちる
- エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている

■ 最初にすること

1. ただちに車を安全な場所に停める。
セレクトレバーを P に入れ、パーキングブレーキをかけます。すべてのアクセサリーの電源を切り、非常点滅表示灯を点滅させます。

2. **蒸気が出ていない場合：** エンジンをかけたままボンネットを開ける。
蒸気が出ている場合： エンジンを止め、蒸気が出なくなってからボンネットを開ける。

■ 次にすること



1. 冷却ファンの作動を確認し、高水温警告灯が消灯してからエンジンを止める。
► 冷却ファンが作動していない場合は、すぐにエンジンを止めます。

2. エンジンが冷えてから冷却水量、ホースなどからの水漏れを点検する。
► 冷却水量が不足していたら、ラジエーターとリザーブタンクに冷却水を補給します。冷却水がない場合は、応急的に水を補給します。

■ 最後にすること

- 十分にエンジンが冷えたら、エンジンを始動し高水温警告灯を確認する。
警告灯が消灯している場合は、運転を再開します。点灯しているときは、Honda 販売店に修理を依頼します。

» オーバーヒートしたときの対処方法

⚠警告

オーバーヒートしたエンジンは、冷えるまでボンネットを開けない。
ラジエーターから噴き出る蒸気や熱湯に触れると、重大な傷害を受けるおそれがあります。

エンジンが熱いうちにラジエーターキャップを外さない。
冷却水が噴き出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずラジエーターが十分に冷えてからキャップを外してください。

アドバイス

高水温警告灯が点灯した状態で運転すると、エンジンを著しく損傷するおそれがあります。

冷却水がもれている場合は、Honda 販売店に修理を依頼してください。

油圧警告灯が点灯した



■ 点灯の理由

エンジン内部を潤滑しているオイルの油圧が低下すると点灯します。

■ 点灯したらすぐにすること

1. ただちに車を安全な場所に停車する。
2. 非常点滅表示灯を点滅させる。

■ 車を停車してからすること

1. エンジンを止め、1 分間ほど放置する。
2. ボンネットを開け、エンジンオイルの量を確認する。
► 必要に応じて、エンジンオイルを補給してください。
3. エンジンを始動し、油圧警告灯を確認する。
► **消灯した** : 運転を再開してください。
► **10 秒以内に消灯しない** : エンジンを止めて、ただちに Honda 販売店に修理を依頼してください。

» 油圧警告灯が点灯した

アドバイス

油圧が低い状態でエンジンを回転させると、エンジンが破損するおそれがあります。

充電警告灯が点灯した



■ 点灯の理由

バッテリーが充電されていないと点灯します。

■ 点灯したらすること

電気の消費を減らすため、エアコン、リヤデフロスターなどを OFF にして、ただちに Honda 販売店に修理を依頼してください。

» 充電警告灯が点灯した

アドバイス

一時的に停車する場合は、エンジンを止めないでください。エンジンを始動すると、バッテリーが急速に放電します。

PGM-FI 警告灯が点灯 / 点滅した



■ 点灯 / 点滅の理由

エンジンの排気ガス制御システムが異常のとき点灯します。エンジン各気筒の失火状態を検知したときに点滅します。

■ 点灯したときは

高速走行を避けて、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

■ 点滅したときは

枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10 分以上エンジンを止めて冷えるまでお待ちください。

ブレーキ警告灯が点灯した



■ 点灯の理由

- ブレーキ液が減っているときに点灯します。
- ブレーキ配分機能が異常のときに点灯します。

■ 走行中に点灯したらすること

- ブレーキペダルを軽く踏んで、ペダルの圧力を確認する。
- ブレーキ液量を確認する。

PGM-FI警告灯が点灯/点滅した

アドバイス

PGM-FI 警告灯が点灯したまま運転すると、排気ガス制御システムとエンジンを損傷する場合があります。

エンジン再始動後、警告灯が消灯しないときや再び点滅するときは、50km/h以下の速度で最寄りのHonda販売店まで走行し点検を受けてください。

ブレーキ警告灯が点灯した

ただちに、Honda販売店に修理を依頼してください。

ブレーキ液が減っている状態で運転することは危険です。

ブレーキペダルに抵抗がない場合は、ただちに安全な場所に車を停めてください。必要に応じて、ギヤを落とします。

ABS警告灯と同時に点灯した場合は、急ブレーキ時に車両が不安定になる可能性があります。高速走行や急ブレーキを避けてください。

ただちに、Honda販売店に修理を依頼してください。

EPS 警告灯が点灯した



■ 点灯の理由

- EPS が異常のときに点灯します。
- 停車中にエンジンの空ぶかしを行うと点灯し、ハンドルが重くなる場合があります。

■ 点灯したらすること

- 安全な場所に停車し、エンジンを再始動する

その後も走行中に点灯する場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

EPS 警告灯が点灯した

アドバイス

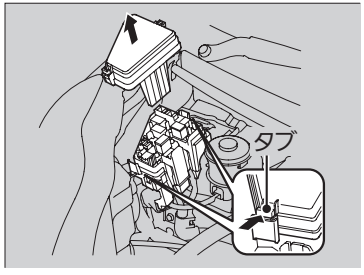
停車中や極低速のときハンドル操作を繰り返したり、ハンドルに力をかけて保持するなどしてシステムの温度が上昇すると、システム保護のためパワー装置のはたらきを制限するので、ハンドル操作が徐々に重くなります。
システムの温度が下がると復帰しますが、システム保護がはたらくような使いかたを断続的に繰り返すと、システム破損の原因となります。

ヒューズの設置場所

電気装置が作動しない場合、エンジンスイッチを 0 にして、ヒューズが切れていないか確認します。ヒューズは、2 つのヒューズボックスに入っています。

■ ボンネット内のヒューズボックス

ボンネット内の運転席側に付いている、ブレーキ液リザーブタンクの隣にあります。タブを押して開けてください。



■ 各ヒューズの装備と容量

	表示	装備	容量
1		バッテリー	70A
2		イグニッションメイン	50A
3		ABS モーター	40A
4		ABS	20A
5		ホーン / 制動灯	10A
6		非常点滅表示灯	10A
7		EPS	40A
8		冷却ファン	30A
9	—	—	—
10		MG クラッチ	7.5A
11		Honda スマートパーキングアシストシステム	7.5A
12		フォグライト	10A
13		バックアップ / 室内灯	10A

» ヒューズの設置場所

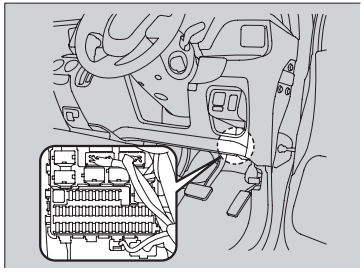
ヒューズボックスのフタに、ヒューズの場所が表示してあります。

ヒューズ番号とフタの番号で、該当するヒューズの位置を確認してください。

次ページに続く

■ 室内運転席側のヒューズボックス

アクセルペダルの上にあります。



■ 各ヒューズの装備と容量

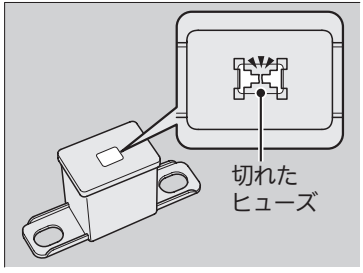
	表示	装備	容量
1		乗員姿勢検知システム	7.5A
2		SRS エアバッグシステム	10A
3		ABS/EPS	7.5A
4		メーター	7.5A
5		発電機	7.5A
6		VB SOL	7.5A
7		フロントワイパー / ウォッシャー	20A
8		イグニッションコイル	15A
9		イグニッションコイル	15A
10		リヤワイパー	10A
11		フューエルポンプ	15A
12		ドアロック（解錠）	15A
13		ドアロック（解錠）	15A
14		ドアロック（施錠）	15A
15		ドアロック（施錠）	15A
16		後退灯	7.5A
17	—	—	—
18		ヒーテッドドアミラー	10A
19		右側ヘッドライト	15A
20	—	—	—
21		LAF センサー	10A
22		車幅灯 / 尾灯	10A
23	—	—	—
24		左側ヘッドライト	15A
25		PGM-FI	15A
26	—	—	—
27		運転席パワーウィンドー	20A
28		助手席パワーウィンドー	15A
29		後席右側パワーウィンドー	15A
30		後席左側パワーウィンドー	15A
31		ヒーターモーター	30A
32		アクセサリーソケット	20A
33		アクセサリー	7.5A
34	—	—	—
35		リヤデフロスター	15A
36	—	—	—
37		エアコン	7.5A
38		ドアミラー	7.5A
39		ドアロック	30A

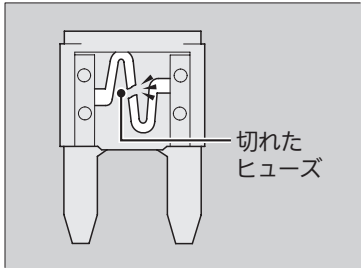
▨ヒューズの設置場所

ステアリングコラムの下に貼ってあるラベルに、ヒューズの場所が表示してあります。

ヒューズ番号とラベルの番号で、該当するヒューズの位置を確認してください。

ヒューズの点検と交換





1. エンジンスイッチを 0 にし、ヘッドライトとすべてのアクセサリーを OFF にする。
2. ヒューズボックスのフタを取り外す。
3. エンジンルーム内の大きいヒューズを点検する。
   ▶ 切れているヒューズがあったら、プラスドライバーでネジを外し、新しいものと交換してください。
4. エンジンルーム内と、室内の小さいヒューズを点検する。
   ▶ 切れているヒューズがあったら、新しいものと交換してください。

» ヒューズの点検と交換

ヒューズは同じ規定容量のヒューズと交換してください。

規定容量はP.227～P.228の一覧で確認してください。

アドバイス

規定容量より大きいヒューズに交換すると、電気系統を損傷する危険性が高くなります。同じ規定容量のヒューズがない場合は、規定容量の小さいヒューズに交換してください。

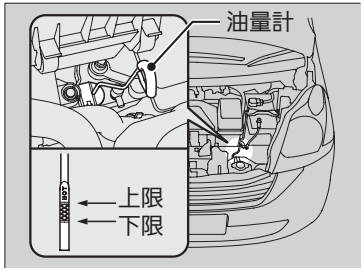
交換したあと、すぐにヒューズが切れるような場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

非常時のけん引

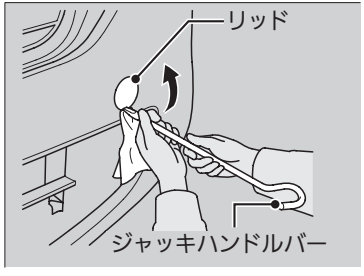
けん引は、専門業者に依頼して 2WD 車は四輪または前輪、4WD 車は四輪を持ち上げて行ってください。

■ やむをえずけん引される場合

やむをえず四輪を接地させてロープでけん引を行う場合、次の方法で行ってください。



1. トランスミッションオイルの量が、油量計の目盛りの上限と下限の間にあることを確認する。
► 下限より下がっている場合は、四輪または前輪を接地させてのけん引は行わないでください。



2. カーゴリッドを開け、ジャッキハンドルバーとアイボルトを取り出す。
3. ジャッキハンドルバーの先でリッドを開ける。
► バンパーが傷付かないよう、ジャッキハンドルバーの先に布などを巻き付けてください。

非常時のけん引

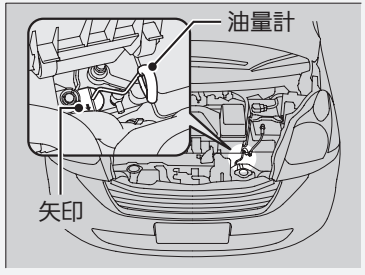
アドバイス

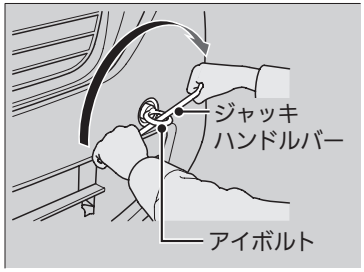
車輪が動かないときなど動力伝達装置に異常があると思われるときは、2WD車は四輪または前輪、4WD車は四輪を持ち上げてけん引してください。

バンパーで車を持ち上げたり、けん引すると、バンパーがいちじるしく損傷します。バンパーは車の重量を支えるようにはできていません。

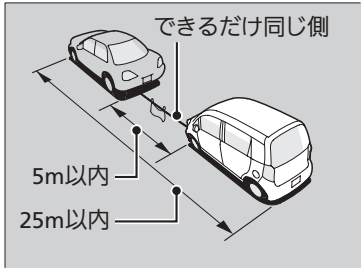
知識

オイル量を点検した後は、油量計のゴム部にある矢印が前方を向くように差し込んでください。





4. アイボルトがガタつかない程度まで手で締め付けてから、ジャッキハンドルバーで確実に締め付ける。



5. ロープをアイボルトに掛け、ロープ中央部に白い布 (0.3m 平方以上) を付ける。
6. エンジンをかけてセレクトレバーを D にし、約 5 秒間保持する。
► エンジンがかからないときは、エンジンスイッチを I または II にします。
7. セレクトレバーを N にする。
8. パーキングブレーキを解除する。
9. 速度 30km/h 以下、走行距離 80km 以内でけん引する。
► けん引中は、前の車の制動灯に注意してロープをたるませないようにしてください。

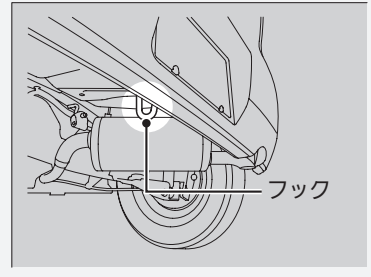
非常時のけん引

アイボルト以外のところにロープをかけないでください。
車体が破損、変形する場合があります。

エンジンが停止している状態でのけん引は、以下のことに注意してください。
- ブレーキの倍力装置が作動しないため、ブレーキの効きが悪くなる
- パワーステアリングのパワー装置が作動しないためハンドル操作が重くなる

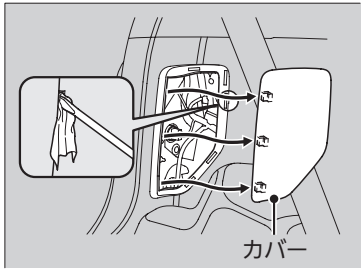
知識
長い下り坂では、ブレーキの温度が上がりブレーキが効かなくなるおそれがありますので、レッカー車にけん引してもらってください。

車両後方についているフックを他車のけん引や緊急時の脱出に使用することはできません。
フックが破損するおそれがあります。後方からけん引する必要がある場合は、Honda販売店やロードサービスに連絡してください。

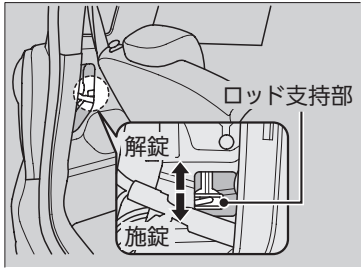


■ 解錠できないときの対処方法

万一、フューエルリッドが解錠できなくなったときは、応急処置として次の方法で解錠してください。



1. カーゴスペース左側にあるカバーを、マイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。
► カバーが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。



2. アクチュエーターのロッド支持部を押し上げる。
► ロッド支持部を押すと解錠し、元の位置に戻すと施錠します。

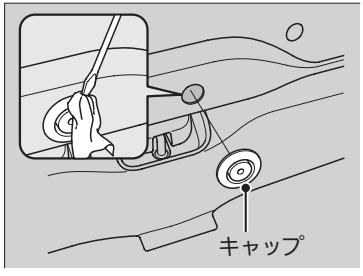
» 解錠できないときの対処方法

アドバイス

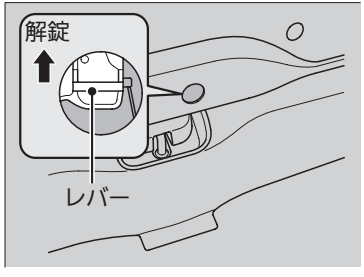
応急処置後は、Honda 販売店で点検を受けてください。

■ 開かないときの対処方法

万一、テールゲートを開けることができなくなったときは、応急処置として次の方法で開けてください。



1. テールゲートのキャップに、マイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。
► キャップが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。



2. レバーを上に動かし、テールゲートを解錠する。
3. テールゲートを開ける。
テールゲートの開閉 P.76

» 開かないときの対処方法

アドバイス

応急処置後は、Honda 販売店で点検を受けてください。

⚠注意

テールゲートを内側から開けるときは、周囲の安全と車の上方や後方に十分なスペースがあることを確認する。
人や物にぶつかり思わぬけがをするおそれがあります。

資料

この章には、仕様に関する情報が記載されています。



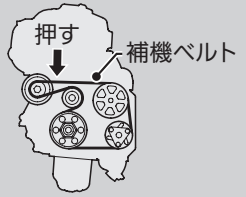
仕様：ライフ 235
仕様：ライフ（ターボ） 236

仕様：ライフ

■仕様

名称	ライフ	
排気量	658 cm^3	
車体形状	4ドアハッチバック	
乗車定員	4名	

■調整

ベルトのたわみ量		
	補機ベルト	10.0-10.5mm
点火プラグ	NGK	BKR6E-8S※1
	DENSO	K20PR-U8S※1
電極のすき間	基準値	0.7-0.8mm
ブレーキペダル	遊び	1.0-6.5mm
	床板とのすき間	95mm以上 {約196N (20kgf) の力}
	カーペットとのすき間 (参考値)	79.3mm以上 {約196N (20kgf) の力}
パーキングブレーキ	踏みしろ	5〜6ノッチ {約294N (30kgf) の力}
燃料種類	無鉛レギュラーガソリン	
燃料タンク容量	30ℓ (2WD車) 31ℓ (4WD車)	

※1：プラグギャップ（電極のすき間）が基準値をこえた場合は交換してください。交換時期の目安は40,000kmです。

■バッテリー

容量/タイプ	24AH (5) /28B17R※2	
	28AH (5) /38B19R※3	
	32AH (5) /44B19R※4	

※2：2WD車 (C、助手席リフトアップシート車)
※3：2WD車 (G、PASTEL)
4WD車 (C、G、PASTEL、助手席リフトアップシート車)
※4：DIVA

■ウォッシャー液

タンク容量	1.5ℓ

■電球

ヘッドライト(ロービーム)	12V-35W※5
ヘッドライト(ハイビーム)	12V-60/55W※6
フォグライト	12V-35W※6
前面方向指示器/前面非常点滅表示灯	12V-21W
車幅灯	12V-5W
側面方向指示器/側面非常点滅表示灯	12V-5W
制動灯/尾灯	12V-21/5W
後面方向指示器/後面非常点滅表示灯	12V-21W
後退灯	12V-16W
ハイマウントストップランプ	12V-21W※7 LED※8
番号灯	12V-5W
室内灯	12V-8W

※5：ディスチャージヘッドライト
※6：ハロゲンバルブ
※7：C
※8：G、PASTEL、DIVA

■エアクリーナーエレメント

タイプ	湿式

■デファレンシャルオイル 4WD車のみ

指定液	Honda純正ウルトラHGO-III
規定量	0.46ℓ (交換時)

■ブレーキフルード

フルード	Honda純正ウルトラブレーキフルード DOT3/DOT4

■トランスミッションフルード

フルード	Honda純正ウルトラATF-Z1	
規定量	交換時	1.9ℓ (2WD車)
		2.4ℓ (4WD車)

■推奨エンジンオイル

Honda純正エンジンオイル	ウルトラGreen※9	
	ウルトラLEO SM	API SM/GF4級 SAE 0W-20
規定量	オイル交換時	2.6ℓ
	オイル、オイルフィルター同時交換時	2.9ℓ

※9：最も省燃費性に優れたオイルです。

■冷却水

指定液	Honda純正ウルトラeクーラント
規定濃度	50%
規定量	3.2ℓ (交換時：リザーブタンク0.35ℓ含む)

■タイヤ

サイズ	155/65R13 73S※10	
	165/55R14 72V※11	
空気圧	前輪 210[2.1] / 後輪 200[2.0]※10	
(kPa[kgf/cm^2])	前輪 230[2.3] / 後輪 200[2.0]※11	
リムサイズ	スチールホイール	13×4.00B※10
	スチールホイール	14×4 1/2J※11
	アルミホイール	14×4 1/2J※11

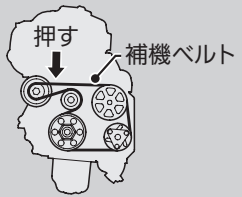
※10：C、G、PASTEL
※11：DIVA

仕様：ライフ（ターボ）

■仕様

名称	ライフ
排気量	658 cm^3
車体形状	4ドアハッチバック
乗車定員	4名

■調整

ベルトのたわみ量		
	補機ベルト	10.0-10.5mm
点火プラグ	NGK	IFR6C-S※1
	DENSO	SK20PR-N9S※1
電極のすき間	基準値	0.8-0.9mm
ブレーキペダル	遊び	1.0-6.5mm
	床板とのすき間	95mm以上 {約196N (20kgf) の力}
	カーペットとのすき間 (参考値)	79.3mm以上 {約196N (20kgf) の力}
パーキングブレーキ	踏みしろ	5〜6ノッチ {約294N (30kgf) の力}
燃料種類	無鉛レギュラーガソリン	
燃料タンク容量	30ℓ（2WD車） 31ℓ（4WD車）	

※1：イリジウムプラグ
• 交換時期はメンテナンスノートをご覧ください。

■バッテリー

容量/タイプ	28AH (5) /38B19R※2
	32AH (5) /44B19R※3

※2：PASTEL
※3：DIVA

■ウォッシャー液

タンク容量	1.5ℓ

■電球

ヘッドライト(ロービーム)	12V-35W※4
ヘッドライト(ハイビーム)	12V-60/55W※5
フォグライト	12V-35W※5
前面方向指示器/前面非常点滅表示灯	12V-21W
車幅灯	12V-5W
側面方向指示器/側面非常点滅表示灯	12V-5W
制動灯/尾灯	12V-21/5W
後面方向指示器/後面非常点滅表示灯	12V-21W
後退灯	12V-16W
ハイマウントストップランプ	LED
番号灯	12V-5W
室内灯	12V-8W

※4：ディスチャージヘッドライト
※5：ハロゲンバルブ

■エアクリーナーエレメント

タイプ	湿式

■デファレンシャルオイル 4WD車のみ

指定液	Honda純正ウルトラHGO-III
規定量	0.46ℓ（交換時）

■ブレーキフルード

フルード	Honda純正ウルトラブレーキフルード DOT3/DOT4

■トランスミッションフルード

フルード	Honda純正ウルトラATF-Z1	
規定量	交換時	1.9ℓ（2WD車）
		2.4ℓ（4WD車）

■推奨エンジンオイル

Honda純正エンジンオイル	ウルトラLTD SM	API SM/GF4級 SAE 5W-30
	ウルトラGOLD SM	API SM級 SAE 5W-40
	ウルトラMILD SM	API SM/GF4級 SAE 10W-30
規定量	オイル交換時	2.6ℓ
	オイル、オイルフィルター同時交換時	2.9ℓ

■冷却水

指定液	Honda純正ウルトラeクーラント
規定濃度	50%
規定量	3.5ℓ（交換時：リザーブタンク0.35ℓ含む）

■タイヤ

サイズ	155/65R13 73S※6	
	165/55R14 72V※7	
空気圧 (kPa[kgf/cm^2])	前輪 210[2.1] / 後輪 200[2.0]※6	
	前輪 230[2.3] / 後輪 200[2.0]※7	
リムサイズ	アルミホイール	13×4.00B※6
	アルミホイール	14×4 1/2J※7

※6：PASTEL
※7：DIVA

索引

数字

4WD（四輪駆動機構）.....163

A

ABS（アンチロックブレーキシステム）.....166
ABS警告灯.....54
A/C（エアコン）.....105
AM/FMチューナー付CDプレーヤー.....140
CDプレーヤーの使いかた.....146
各部の名称.....140
基本操作.....142
ラジオの使いかた.....144
AT（オートマチック
トランスミッション）.....160
AVG（平均燃費表示）.....61
AV入力端子.....131

D

D3スイッチ.....161

E

ECO（エコ）表示灯.....58
EPS警告灯.....55,226

H

Hondaインターナビシステム.....別冊
Hondaスマートキー.....68,71
Hondaスマートキーシステム警告灯.....54
Hondaスマートキー電池消耗警告.....85
Hondaスマートキー持ち去り警告.....84
エンジンスイッチ.....83
電池交換のしかた.....201

I

ISOFIX.....41

M

MIST.....87

P

PGM-FI警告灯.....53,225

S

SRSエアバッグ.....27
エアバッグシステム警告灯.....35,55

W

W（ワット）数.....235,236

ア

アームレスト.....99
アイボルト.....207,231
アクアクリーンミラー.....94
アクセサリー.....175
アクセサリーソケット.....102
安全に関する表示.....17
安全のための確認事項.....21
アンチロックブレーキシステム（ABS）.....166
ABS警告灯.....54,166
アンテナ.....117
マイクロアンテナ.....117
マニュアルアンテナ.....117

イ

一酸化炭素について.....51
イモビライザーシステム.....78
イモビライザーシステム表示灯.....57
インフォメーションディスプレイ.....60
オドメーター.....61
外気温表示.....61
トリップメーター.....61
表示の切り換えかた.....60
平均燃費表示（AVG）.....61

ウ

ウィンカースイッチ（方向指示器）.....85
ウィンドー開閉.....80
ウィンドウォッシャー
ウィンドウォッシャースイッチ.....87
ウィンドウォッシャー液の補給.....182
ウェアインジケーター.....197
運転
エンジンの始動.....157
シフト操作.....161
ブレーキ操作.....164

エ

エアコン 105
エアクリーンフィルター 106,113
エアコンの使いかた 107,109
デフロスター 108,112
モード切り換え 107,109
エアコンの使いかた 107,109
エアコンの切りかた 107,109
温度調節 107,109
外部についた霜や氷の除去のしかた .. 108,112
室内の湿度の下げかた 107,111
窓の曇りや霜の取りかた 108.112
エアバッグ 27
SRSエアバッグ 27
エアバッグシステム警告灯/表示灯 35
エアバッグのお手入れ 37
エアバッグの種類 27
サイドエアバッグ 30
サイドエアバッグ自動停止システム 32
サイドカーテンエアバッグ 33
エンジンオイル 182
エンジンオイルメンテナンス表示灯 58,173
推奨エンジンオイル 182,235,236
油圧警告灯 53,224
エンジンスイッチ 82,83
エンジンスイッチ警告ブザー 84
エンジンの始動 155,157
エンジンが始動しない 218
ジャンプスタート 220
エンジン冷却水 235,236

オ

追越合図（パッシング） 86
応急修理剤（タイヤパンク） 208
オーディオ装置 116
オーディオリモートコントロールスイッチ 149
オートマチック車の
シフト操作 161
セレクトレバーが動かない 222
セレクトレバーの操作 161
オーバーヒート 223
お子さまの安全 38
大きなお子さまの安全 49
お子さまの安全を守るために 38
ジュニアシート 50
助手席にお子さまを乗せる場合 50
乳児のチャイルドシート 39
乳幼児の安全 39
幼児のチャイルドシート 40
オドメーター 61

カ

外気温表示 61
鍵（かぎ） 68
カスタマイズ機能 62
ガソリン 169,235,236
カップホルダー 101

キ

キー
Hondaスマートキー 68,71
キーが 0 から I に回らない 15
キーが I から 0 に回らない 15
キー閉じ込み防止装置 74
キーナンバータグ 70
キーの種類と機能 68
キーレスエントリー 70,72
キーレスエントリーでドアが開かない 16
キーレスエントリー発信器 70
後席ドアが開かない 15
電池交換のしかた 201
内蔵キー 69
キー閉じ込み防止装置 74
キーナンバータグ 70
キーレスエントリー 70,72
電池交換のしかた 201
給油 169
給油のしかた 169
指定燃料 169
燃料計 59
燃料残量警告灯 54

ク

空気圧 196,235,236
グラブレール 3
クリープ現象 160
車の改造 175
グローブボックス 101

ケ

計器 52
警告灯 53
ABS警告灯 54
EPS警告灯 55,226
Hondaスマートキーシステム警告灯 54
Hondaスマート
パーキングアシストシステム警告灯 55
PGM-FI警告灯 53,225
エアバッグシステム警告灯 55
高水温警告灯 55
シートベルト非着用警告灯 54
充電警告灯 53,224
ドア/テールゲート開閉警告灯 21,55
トランスミッション警告表示 54
燃料残量警告灯 54
ブレーキ警告灯 53,225
油圧警告灯 53,224
けん引 230

コ

交換
後退灯電球 189
後面方向指示器/
後面非常点滅表示灯電球 189
室内灯電球 192
車幅灯電球 185
制動灯/尾灯電球 189
前面方向指示器/
前面非常点滅表示灯電球 185
側面方向指示器電球/
側面非常点滅表示灯電球 188
ハイマウントストップランプ電球 190
番号灯電球 191
フォグライト電球 186
ヘッドライト電球 183
ワイパーブレードラバー 193
工具 207
高水温警告灯 55
コンビニフック 104

サ

サービス診断記録装置 17
データの開示について 18
サイドエアバッグ 30
サイドエアバッグ自動停止表示灯 36,56
サイドエアバッグ自動停止システム 32
サイドカーテンエアバッグ 33
サンバイザー 3

シ

シートの調節 95
アームレスト 99
フロントシート 95
ヘッドレスト 98
リヤシート 97
シートベルト 22
シートベルトの着用 24
シートベルトの点検 26
シートベルト非着用警告灯 23,54
シートベルトプリテンショナー 23
シートベルトリマインダー 23
妊娠中のかたのシートベルトの
着用のしかた 25
時刻の設定 65
室内装備品 101
室内灯 100
シフト操作 161
ジャッキ 207,216
**ジャッキハンドル
（ホイールナットレンチ）** 207,216
ジャッキハンドルバー 207,216
車外の清掃 204
車内の清掃 203
車幅灯 185
ジャンプスタート 220
充電警告灯 53,224
仕様 235,236

ス

スイッチ操作
エンジンスイッチ 82,83
フォグライトスイッチ 86
ヘッドライトレベリングダイヤル 89
方向指示器（ウィンカースイッチ） 85
ライトスイッチ 86
リヤデフロスタースイッチ 90
ワイパー/ウォッシャー 87
ステアリング 9,91
スノータイヤ 199

スパークプラグ.....235,236
スピードメーター.....7,59

セ

清掃.....203
制動灯.....189
セキュリティシステム.....78
イモビライザーシステム.....78
セキュリティアラームシステム.....78
セレクトポジション.....161
セレクトポジション表示灯.....162
セレクトレバー
セレクトレバーが動かない.....222
セレクトレバーの操作.....161

ソ

側面方向指示器/
側面非常点滅表示灯電球.....188

タ

タイヤ.....196
ウェアインジケーター.....197
指定空気圧.....196,235,236
タイヤの点検.....196
タイヤのローテーション.....198
タイヤパンク応急修理キット.....208
冬期のタイヤ.....199
パンク.....208
タイヤチェーン.....200
タコメーター.....59

チ

チェーン.....200
チャイルドシート.....38
ジュニアシート.....50
乳児のチャイルドシート.....39
幼児のチャイルドシート.....40
チャイルドプルーフ.....75
駐停車操作.....167

テ

低水温表示灯.....7,56
デフロスター.....108,112
リヤデフロスタースイッチ.....90
テールゲートの開閉.....76
ドア/テールゲート開閉警告灯.....21,55
テールゲートが開かないとき.....233
点火プラグ.....235,236
電池交換.....201

ト

ドアの施錠と解錠.....68
Hondaスマートキー.....68
キー閉じ込み防止装置.....74
キーナンバータグ.....70
キーの種類と機能.....68
キーレスエントリー.....70,72
キーレスエントリーでドアが開かない.....16
キーレスエントリー発信器.....70
後席ドアが開かない.....15
車外でのドアの施錠/解錠.....72
車内での施錠/解錠.....75
チャイルドプルーフ.....75
ドア/テールゲート開閉警告灯.....7,55
ドアミラー.....92
冬期のタイヤ.....199
スノータイヤ.....199
タイヤチェーン.....200
時計.....65
トップテザーアンカレッジ.....48
トップテザーストラップ.....48
トラブルシューティング
運転席ドアを開けるとブザーが鳴る.....16
エンジンが始動しない.....218
オーバーヒートした.....223
キーが 0 から I に回らない.....15
キーが I から 0 に回らない.....15
キーレスエントリーでドアが開かない.....16
警告灯が点灯/点滅した.....224
けん引してもらいたい.....230
後席ドアが開かない.....15
ジャンプスタートしたい.....220
セレクトレバーが動かない.....222
走行するとブザーが鳴る.....16
ハイオクガソリンは使える?.....16
パンクした.....208
ヒューズが切れた.....227
ブレーキを踏むと振動する.....15
トランスミッション警告表示.....54
トランスミッションフルード.....235,236
トリップメーター.....61

ナ

内蔵キー 68,219

ネ

燃料 169,235,236
燃料計 59
燃料残量警告灯 54

ハ

パーキングブレーキ 164
排気ガスの危険性 51
ハイビーム 8,86
電球の交換 183
ハイビーム表示灯 56
ハザードスイッチ ..... 表紙ウラ
発炎筒 207
バックモニター＋AM/FMチューナー付CDプレーヤー 118
CDプレーヤーの使いかた 127
各部の名称 118
基本操作 120
その他の設定 134
ポータブルオーディオやビデオ機器などの接続 131
ラジオの使いかた 123
パッシング 86
バッテリー
ジャンプスタート 220
充電警告灯 53,224
容量 235,236
バニティミラー 3
パワーウィンドーの開閉 80
パンク 208
ハンドル 91
ハンドル位置調節レバー 91
ハンドルロック 82,83
汎用型ISOFIXチャイルドシート 43

ヒ

ヒーター・マニュアル式エアコン 109
ヒーテッドドアミラー 93
非常点滅表示灯スイッチ ..... 表紙ウラ
尾灯 189
ヒューズ 227
ヒューズの設置場所 227,228
ヒューズの点検と交換 229
表示灯 56
Hondaスマートパーキングアシストシステム作動表示灯 57
イモビライザーシステム表示灯 57
エコ（ECO）表示灯 58
エンジンオイルメンテナンス表示灯 58
サイドエアバッグ自動停止表示灯 36,56
セキュリティアラームシステム作動表示灯 57
セレクトポジション表示 162
低水温表示灯 56
ハイビーム表示灯 56
フォグライト点灯表示灯 56
方向指示器表示灯 56
ライト点灯表示灯 7,56

フ

ブースターケーブル 220
フォグライト
電球の交換 186
フォグライトスイッチ 86
フォグライト点灯表示灯 56
ブザー
運転席ドアを開けるとブザーが鳴る 16
走行するとブザーが鳴る 16
フューエルリッドが解錠できないとき 232
フューエルリッドの開けかた 169
ブレーキシステム 164
ABS（アンチロックブレーキシステム） 166
パーキングブレーキ 164
フットブレーキ 165
ブレーキ警告灯 53,225
ブレーキを踏むと振動する 15
ブレーキフルード 235,236
ブレーキ警告灯 53,225
フロントシート 95
フロントシートアームレスト 99
フロントシートヘッドレスト 95,98

へ

平均燃費表示 61
ヘッドライト 8,86
追越合図（パッシング） 8,86
電球の交換（ロー/ハイビーム） 183
ハイビーム 8,86
ハイビーム表示灯 7,56
ヘッドライトレベリングダイヤル 89
ライト点灯表示灯 7,56
ロービーム 8,86
ヘッドレスト
フロントシート 95, 98
リヤシート 99

ホ

ホーンスイッチ 1
ホイールナットレンチ（ジャッキハンドル） 207,216
方向指示器（ウィンカースイッチ） 85
方向指示器表示灯 56
ボンネット内のメンテナンス 179
ウィンドウォッシャー液の補給 182
推奨エンジンオイル 182,235,236
ボンネット内のメンテナンス項目 179
ボンネットを開ける 181
冷却水の点検と補給 223

マ

マイクロアンテナ 117
マニュアルアンテナ 117

ミ

ミラー 92
ドアミラー 92
バニティミラー 3
ルームミラー 92

メ

メーター 59
インフォメーションディスプレイ 60
スピードメーター 59
タコメーター 59
燃料計 59
メンテナンス 176
キーレスエントリー発信器/Hondaスマートキー 201
清掃 203
タイヤの点検と整備 196
バッテリーの点検と整備 200
ボンネット内のメンテナンス 179
メンテナンスに関する注意事項 178
メンテナンスを安全に行うために 178
ライト類の点検と整備 183
ワイパーブレードラバーの点検と整備 193

モ

モード切り換え（エアコン） 107,109

ユ

ユーティリティボックス 103
油圧警告灯 53,224

ヨ

四輪駆動機構（4WD） 163

ラ

ライトスイッチ 86
追越合図（パッシング） 86
ハイビーム 86
ハイビーム表示灯 56
ライト点灯表示灯 56
ロービーム 86
ライト類の点検と整備 183
後退灯電球 189
後面方向指示器/後面非常点滅表示灯電球 189
室内灯電球 192
車幅灯電球 185
制動灯/尾灯電球 189
前面方向指示器/前面非常点滅表示灯電球 185
側面方向指示器電球/側面非常点滅表示灯電球 188
ハイマウントストップランプ電球 190
番号灯電球 191
フォグライト電球 186
ヘッドライト電球 183
ラジエーター 223

リ

リザーブタンク 223
リムサイズ 235,236

リヤカメラシステム 150
リヤデフロスタースイッチ 90

ル

ルームミラー 92

レ

冷却水 223,235,236
　オーバーヒート 223
　ラジエーターに補給 223
　リザーブタンクに補給 223

ロ

ロービーム 86
　電球の交換 183
ロアアンカレッジ 47

ワ

ワイパー/ウォッシャー 87
ワイパーブレードラバー 193

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず、Honda 販売店にお気軽にご相談ください。
下記アドレスより最新の Honda 販売店を検索することが可能です。
Honda ホームページ　http://www.honda.co.jp/
（Honda ホームページにある検索ボックスに『販売店』と入力してください）

携帯電話からは、携帯電話用 Honda ホームページをご覧ください。
http://dream.honda.co.jp/dealerlocator/

※：QR コード読み取り機能付きの携帯電話をお持ちの場合は、右の QR コードをご利用ください。
ご利用にあたっては、お持ちの携帯電話取扱説明書をご確認ください。
QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社　お客様相談センター

フリーダイヤル　0120-112010（イイフレアイオ）

受付時間　9:00～12:00　13:00～17:00
〒351-0188　埼玉県和光市本町8－1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

① 車検証記載事項：車両型式、車台番号、エンジン型式、車両番号、登録年月日
② 車種名、タイプ名、走行距離　③ ご購入年月日　④ 販売店名

HONDA
The Power of Dreams

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、Honda 販売店で点検整備を受けてください。
最新のHonda販売店情報は、携帯電話からも検索できます。
（検索方法は巻末をご覧ください）

Honda ホームページにある検索ボックスに入力してください。



http://www.honda.co.jp/manual/
クルマ、およびインターナビシステム取扱説明書の最新情報をお伝えしています。

30SZH611
00X30-SZH-6110

Ⓨ Ⓝ 3000.2010.08.A
ⓒ2009 本田技研工業株式会社